

AOS データ株式会社

AOSBOX AI Plus

操作マニュアル

Ver.1.17 版

改定履歴

Ver.1.14 版 2023-05-15

Ver.1.11 版

Ver.1.10 版

Ver.1.09 版

Ver.1.08 版

Ver.1.07 版

Ver.1.05 版

Ver.1.04 版

Ver.1.03 版

Ver.1.02 版

Ver.1.01 版

Ver.1.00 版 リリースバージョン

目次

<u>1</u>	<u>はじめに</u>	<u>6</u>		
1-1	動作環境について	6		
1-1-1	動作環境	6		
1-1-2	本文書に含まれる機能の説明について	6		
1-2	ご利用開始の前に	7		
1-2-1	注意事項	7		
1-2-2	おまかせバックアップ対象ファイル	7		
1-2-3	「通常のストレージ」と「コールドストレージ」の 違い	12		
1-2-4	利用規約	13		
1-2-5	サポートサイト	13		
<u>2</u>	<u>初期設定の流れ</u>	<u>14</u>		
2-1	管理者	14		
2-2	ユーザー	14		
<u>3</u>	<u>新規登録の手続き</u>	<u>15</u>		
3-1	新規登録の手続き	15		
<u>4</u>	<u>インストールと初期設定</u>	<u>16</u>		
4-1	インストール	16		
4-2	初期設定	18		
<u>5</u>	<u>アプリ</u>	<u>21</u>		
5-1	アプリと Web 管理画面の違い	21		
5-2	AOSBOX アプリのホーム画面の説明	23		
5-2-1	バックアップ待機中	23		
5-2-2	バックアップ実行中	25		
5-3	バックアップデータの選択	27		
5-3-1	おまかせバックアップ	28		
5-3-2	選んでバックアップ	29		
5-3-3	コールドストレージ	30		
5-3-4	ファイルフィルター	32		
5-3-4-1	フィルターを追加	32		
5-4	OCR	34		
5-4-1	OCR ファイルの設定方法	34		
5-4-1-1	AOSBOX アプリから行う	34		
5-4-1-2	Web 管理画面から行う	35		
5-5	設定	36		
5-5-1	スケジュール	36		
5-5-2	リソース最適化	38		
5-5-3	接続	39		
5-5-4	デュアルバックアップ	40		
5-5-4-1	デュアルバックアップの機能について	40		
5-5-4-2	デュアルバックアップの設定	41		
5-5-5	高度な設定	44		
5-5-6	環境設定	45		
5-5-6-1	自動除外	45		
5-5-6-2	全般	46		
5-6	復元	48		
<u>6</u>	<u>Web 管理画面</u>	<u>49</u>		
6-1	ホーム	49		

6-2	メニューバー.....	51
6-3	マイファイル.....	53
6-3-1	マイファイルの概要.....	53
6-3-1-1	マイファイルのホーム画面.....	54
6-3-2	マイファイルの機能.....	55
6-3-2-1	ファイルの検索について.....	56
6-3-3	バックアップファイルメニュー説明.....	58
6-3-4	ボタン説明.....	60
6-3-5	右クリック時説明.....	61
6-3-6	共有.....	62
6-3-6-1	共有を開始（ユーザー/メールアドレス） 2	62
6-3-6-2	共有を開始（リンク作成）.....	64
6-3-6-3	共有ファイルにアクセスする.....	65
6-3-6-4	共有を終了.....	66
6-3-7	クラウドドライブ.....	67
6-3-7-1	クラウドドライブ画面で表示されるボタ ン	67
6-3-7-2	クラウドドライブへのアップロード.....	67
6-3-7-3	バックアップ済のファイルをクラウドドラ イブにコピー	68
6-3-8	OCRを試行.....	68
6-3-9	詳細.....	70
6-3-9-1	タグを追加.....	71
6-3-9-2	A.I.タグの表示.....	71
6-3-10	世代.....	72
6-3-10-1	古い世代ファイルのダウンロード.....	72
6-3-11	顔認識.....	73
6-3-11-1	名前の指定.....	73
6-3-11-2	メニュー.....	74
6-3-12	A.I.タグ.....	75

6-3-13	プレビュー.....	76
6-3-13-1	ボタン（プレビュー）.....	77
6-3-13-2	メニュー（プレビュー）.....	77
6-3-13-3	ビデオ.....	78
6-3-13-4	文書ファイル・OCR プレビュー.....	79

7 復元.....80

7-1	復元方法.....	80
7-2	アプリからの復元.....	81
7-3	Web 管理画面から復元.....	86
7-4	リモート復元.....	89

8 ユーザー/サーバー.....92

8-1	ユーザー/サーバー画面について.....	92
8-2	ユーザー.....	94
8-2-1	ユーザーに対する操作.....	95
8-2-1-1	〔詳細〕 ボタン（ユーザー）.....	95
8-2-1-2	〔動作〕 ボタン（ユーザー）.....	96
8-2-2	ユーザーの種類.....	98
8-2-3	ユーザーの追加.....	98
8-2-3-1	メールで招待.....	98
8-2-3-2	手動で追加.....	100
8-2-3-3	CSV ファイルで一括追加.....	101
8-2-4	ユーザー情報.....	103
8-2-4-1	〔動作〕 ボタン（パソコン）.....	104
8-2-4-2	〔動作〕 ボタン（サーバー）.....	104
8-2-4-3	〔動作〕 ボタン（クラウドドライブ） 104	
8-2-4-4	〔動作〕 ボタン（サービス）.....	104
8-2-5	ラベル.....	106
8-2-5-1	ラベルの追加.....	107
8-2-5-2	ラベルの管理.....	108

8-2-5-3	ラベルの編集	108
8-2-5-4	ラベルをユーザーに割り当てる	109
8-3	パソコン	110
8-3-1	〔詳細〕 ボタン（パソコン）	111
8-3-2	〔動作〕 ボタン（パソコン）	112
8-4	サーバー	113
8-4-1	〔詳細〕 ボタン（サーバー）	114
8-4-2	〔動作〕 ボタン（サーバー）	115
8-4-3	サーバーの追加・インストール	116
8-5	AD 展開	119
8-6	ポリシーを変更	120
8-7	リモートバックアップ	122

9 ポリシー 123

9-1	ポリシー	123
9-2	ポリシーの作成	124
9-2-1	通常のストレージのデータ	125
9-2-2	コールドストレージのデータ	126
9-2-3	OCR データ	127
9-2-4	拡張子	128
9-2-5	デュアルバックアップ	129
9-2-6	変数を挿入/フィルター	130
9-2-6-1	変数を挿入	130
9-2-6-2	フィルター追加	131
9-2-7	設定	133
9-2-7-1	全般設定	133
9-2-7-2	バックアップのスケジュール	134
9-2-7-3	ネットワーク帯域調整	136
9-2-8	権限	137
9-3	ポリシーの割り当て	138

10 監査 139

10-1	監査オプション	139
10-2	監査画面	139

11 レポート 140

11-1	レポート機能	140
11-2	スマートレポート	141
11-2-1	スマートレポートを定期的に送信する	142
11-2-1-1	スケジュールを登録する	142
11-2-1-2	スケジュールを管理する	142
11-2-2	〔詳細〕 ボタン、〔動作〕 ボタン	143
11-3	確認事項	144
11-4	帯域の使用	144
11-5	状況一覧	145
11-6	展開	145
11-7	端末のビルド情報	146
11-8	バックアップに失敗したファイル	147
11-8-1	今後の振る舞いの選択	148
11-9	レポート設定	149
11-9-1	使用状況のレポート	149
11-9-2	警告レポート	150
11-9-3	大規模な復元発生時の警告	151
11-9-4	バックアップ警告メール	152

12 設定 154

12-1	保持設定	154
12-2	保持設定（詳細）	155
12-2-1	保持設定の追加	155
12-2-2	保持設定の操作	156

12-3	クライアントストレージ警告の設定	157
------	------------------------	-----

13 アカウント設定.....158

13-1	名前・メールアドレスの更新	158
13-1-1	アカウントの削除	158
13-2	パスワードの変更	158
13-3	ライセンス	159
13-4	二段階認証	160
13-4-1	二段階認証を設定する	160
13-4-2	ログイン時にセキュリティコードを入力する	162
13-5	接続 IP 制限	163
13-5-1	接続 IP 制限を設定する	164
13-5-1-1	特定の IP アドレスを持つ接続からのみアクセスを許可する	164
13-5-1-2	指定された IP アドレスを持つ接続からのアクセスを制限する	165
13-5-2	接続 IP 制限を解除しすべての接続を許可する	168
13-6	自動ログアウト	169

14 管理者権限の設定.....170

14-1	ユーザーと管理者の違い	170
14-2	管理者権限の設定	171
14-3	管理者権限を編集	172

15 アプリのアンインストール.....175

15-1	アンインストール	175
------	----------------	-----

16 付録.....177

16-1	よくある質問	177
------	--------------	-----

16-2	困ったときは	180
------	--------------	-----

16-2-1	パソコン/サーバーの入れ替え時の対処	180
--------	--------------------------	-----

16-2-1-1	古い端末でバックアップしていたデータを新しい端末に復元する	180
16-2-1-2	古い端末をアーカイブまたは削除する	181
16-2-1-3	新しい端末でのインストールを完了する	183

16-2-2	残りのストレージ容量が少なくなった場合	184
--------	---------------------------	-----

16-2-2-1	保持設定を変更する	184
16-2-2-2	必要のないバックアップデータを削除	185
16-2-2-3	不要なファイルの世代を削除	186
16-2-2-4	不要なパソコン/サーバーの削除	187

16-2-3	ストレージ間の移行について	191
--------	---------------------	-----

16-2-3-1	ファイルの復元（必要な場合）	191
16-2-3-2	現在の端末を削除する	191
16-2-3-3	アプリを一度アンインストール（設定は残さず削除）する	193
16-2-3-4	再インストールおよびバックアップ構成を行う	194

1

はじめに

1-1 動作環境について

1-1-1 動作環境

- Windows 11(64bit 版対応)／Windows 10(各 32/64bit 版対応)（日本語版）
Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016（日本語版）
※Windows Insider Preview（開発中バージョン）上での動作はサポートされません。
※Windows 11 は Microsoft(R)より 64bit 版のみ提供になっております。
※Windows Server の場合、デスクトップエクスペリエンスとしてセットアップされている必要があります。
※Windows Storage Server 搭載製品および、NAS 製品を PC 経由でバックアップをご検討の場合は、トリアル版などを使用して、運用に近い条件（容量/ファイル数）で十分な検証をお願いいたします。
- 128kbps 以上（推奨 512kbps 以上）のインターネット接続環境
※SSL/TLS1.2 プロトコルによる通信が必須となります。それらの接続を有効にしてください。
- 1024 x 768 以上の画面解像度
- ブラウザー：Microsoft Edge, Mozilla Firefox, Google Chrome
SSL/TLS1.2 プロトコルに対応した最新版のブラウザをご利用ください。

1-1-2 本文書に含まれる機能の説明について

本文書は AOSBOX AI Plus のマニュアルとなります。本文書では、特に明記がない限り、以下「AOSBOX」と示します。

本文書に含まれる機能の説明は、アップデートにより予告なく仕様が変更される可能性があります。

最新の情報については、オンラインヘルプをご覧ください。

<http://helpintelligent.aosbox.com/>

1-2 ご利用開始の前に

1-2-1 注意事項

- POINT.1** AOSBOX アプリは、他エディションの AOSBOX アプリと同時にインストールして両方のストレージにバックアップすることはできません。
- POINT.2** 1 ユーザーあたり 3 台までのパソコンをバックアップできます。
- POINT.3** オンラインのクラウド上にファイルをアップロードするため、ネットワーク回線にある程度の負荷がかかることが予測されます。
- POINT.4** 初回のバックアップはバックアップする容量によって、24 時間以上時間を要することがあります。
- POINT.5** バックアップしたファイルをクラウド上から削除すると、バックアップ対象から除外されます。
- POINT.6** AOSBOX の契約を解除すると、バックアップデータは削除されます。再契約しても、以前のバックアップデータの復元等はできません。
- POINT.7** サーバーのメンテナンスなどで復元が行えないタイミングが発生する可能性があります。利用規約でご同意いただいた範囲外は保証できませんので、ご了承ください。
- POINT.8** Windows OS や AOSBOX アプリは常に最新版をご利用ください。
- POINT.9** A.I.機能により付与された情報（A.I.タグおよび顔認識）は、ユーザー自身で変更・修正をすることはできません。

1-2-2 おまかせバックアップ対象ファイル

おまかせバックアップは、あらかじめカテゴライズされた項目からバックアップしたい項目を選択することで、ファイルの絶対的な場所を意識しなくてもバックアップができます。

設定方法の詳細については「[5-3-1 おまかせバックアップ（28 ページ）](#)」をご覧ください。

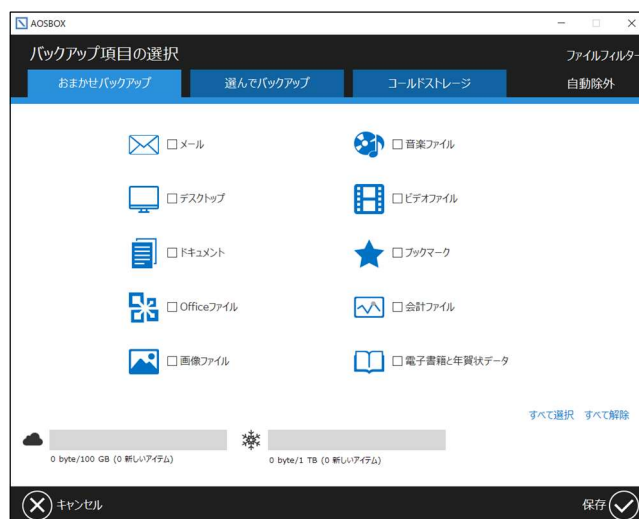


図 1-1

■ メール

Outlook 2003 以上

Outlook 既定のフォルダーにある*.pst ファイル



■ 補足

以前に Outlook Express、Windows メール、および Windows Live メールを使用していた場合、メールカテゴリは下記のファイルもバックアップします（ただし、Microsoft ストア版のメールアプリのデータはバックアップされません）。

Windows (Live) メール 既定のフォルダーにある*.eml ファイル、*.contact ファイル、および stationary files、community files、.oeaccount、rules フォルダー内のファイル

なお、これらのメールアプリケーションは Microsoft によるサポートは終了しております。保管用としてバックアップすることをおすすめします。

■ デスクトップ

デスクトップ上にあるショートカットを除くすべてのファイル・フォルダー

■ マイドキュメント

マイドキュメントフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー

■ Office ファイル

デスクトップ、ドキュメントフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

Microsoft Office 系:

```
*.doc;*.docx;*.dot;*.dotx;*.docm;*.dotm;*.psw;*.vot;
*.xls;*.xlt;*.xla;*.xlsx;*.xlsm;*.xltm;*.xlsm;*.xlb;*.xlam;*.dif;*.slk;*.pxl;*.vos;
*.ppt;*.pps;*.pot;*.pptx;*.pptm;*.potx;*.potm;*.ppam;*.ppsx;*.ppsm;*.ppa;
*.mdb;*.mdw;*.mda;*.adb;*.ade;*.accdb;*.accde;*.accdt;*.accdr;*.dbf;
*.vsd;*.vss;*.vst;*.vdx;*.vsx;*.vtx;
*.pub;
*.mpp;*.mpd;*.mpt;*.mpw;*.mpx
```

OpenDocument 形式:

```
*.odt;*.ott;*.odp;*.otp;*.ods;*.ots;*.odg;*.otg;*.odb;*.odf;
```

テキストファイル:

```
*.txt;*.fodt;*.fods;*.fodg;*.rtf;*.wri;
```

その他:

```
*.abw;*.stw;*.vor;*.sdw;*.sxw;*.sxi;*.sti;*.sdd;*.sxd;*.sda;*.sxc;*.stc;*.sxm;*.lwp;*.prz;*.wk1;*.wk3;*.wk4;
```

```
*.apr;*.wpd;*.shw;*.qpw;*.vop;*.odj;*.pdx;*.std;
```

- 画像ファイル
ユーザーのピクチャフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー
- 音楽ファイル
ユーザーのミュージックフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー
- ビデオファイル
ユーザーのビデオフォルダーにあるすべてのファイル・フォルダー



補足

- お使いのコンピュータで OneDrive へのバックアップを有効にしている場合、バックアップ対象となるフォルダーを含むカテゴリ（デスクトップ、マイドキュメント、Office ファイル、および画像ファイル）を選択すると、OneDrive 内のこれらのファイルもバックアップ対象となります。
- デスクトップ、マイドキュメント、Office ファイル、画像ファイル、音楽ファイル、およびビデオファイルの各カテゴリは、コンピュータで定義されている値が参照されるため、既定の場所でないフォルダーがバックアップされる環境があります。通常はユーザー配下のフォルダーとなります。

- ブックマーク
Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera のブックマーク（お気に入り）



補足

- Microsoft Edge のブックマークは対象外となります。
- Internet Explorer のお気に入りもバックアップしますが、Internet Explorer は Microsoft によるサポートは終了しております。保管用としてバックアップすることをおすすめします。

- 財務・会計ファイル
デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

C:\Program Data

C:\ACCP

C:\OBCWIN

C:\MSSQL7

Microsoft Money:

```
*.mny
```

弥生販売:

```
*.db4;*.db5;*.db6;*.db7;*.db8;*.db9;*.hb2;*.hb3;*.hb4;*.hb5;*.hb11;*.hb12;*.hb13;*.hb14;*.hb15;*.hb16;*.he2;*.he3;*.he4;*.he5;*.he11;*.he12;*.he13;*.he14;*.he15;*.he16;
```

Quicken:

[.qbw][.qel][.qsd][.qph]

Quickbooks:

[.qbb]

TurboTax:

[.tax]

TaxCut:

[.t01][.t02][.t03][.t04][.t05][.t06][.t07][.t08][.t09]

PeachTree:

[.ptb]

その他:

[.qdf][.ypr][.kyr][.ypb][.acc][.saccp][.jbi][.jbf][.ldf][.mdf][.hb1][.hb2][.hb3][.hb4][.hb5]
 [.hb6][.hb7][.hb8][.hb9][.hb10][.hb11][.hb12][.hb13][.hb14][.hb15][.hb16][.he1][.he2]
 [.he3][.he4][.he5][.he6][.he7][.he8][.he9][.he10][.he11][.he12][.he13][.he14][.he15]
 [.he16][.klb1][.klb2][.klb3][.klb4][.klb5][.klb6][.klb7][.klb8][.klb9][.klb10][.klb11][.klb12]
 [.klb13][.klb14][.klb15][.klb16][.hlx1][.hlx2][.hlx3][.hlx4][.hlx5][.hlx6][.hlx7][.hlx8][.hlx9]
 [.hlx10][.hlx11][.hlx12][.hlx13][.hlx14][.hlx15][.hlx16][.ad1][.ad2][.ad3][.ad4][.ad5][.ad6]
 [.ad7][.ad8][.ad9][.ad10][.ad11][.ad12][.ad13][.ad14][.ad15][.ad16][.ab1][.ab2][.ab3]
 [.ab4][.ab5][.ab6][.ab7][.ab8][.ab9][.ab10][.ab11][.ab12][.ab13][.ab14][.ab15][.ab16]
 [.kd1][.kd2][.kd3][.kd4][.kd5][.kd6][.kd7][.kd8][.kd9][.kd10][.kd11][.kd12][.kd13][.kd14]
 [.kd15][.kd16][.kd17][.kd18][.kb1][.kb2][.kb3][.kb4][.kb5][.kb6][.kb7][.kb8][.kb9][.kb10]
 [.kb11][.kb12][.kb13][.kb14][.kb15][.kb16][.kt1][.kt2][.kt3][.kt4][.kt5][.kt6][.kt7][.kt8]
 [.kt9][.kt10][.kt11][.kt12][.kt13][.kt14][.kt15][.kt16][.dd1][.dd2][.dd3][.dd4][.dd5][.dd6]
 [.dd7][.dd8][.dd9][.dd10][.dd11][.dd12][.dd13][.dd14][.dd15][.dd16][.db1][.db2][.db3]
 [.db4][.db5][.db6][.db7][.db8][.db9][.db10][.db11][.db12][.db13][.db14][.db15][.db16]
 [.lb1][.lb2][.lb3][.lb4][.lb5][.lb6][.lb7][.lb8][.lb9][.lb10][.lb11][.lb12][.lb13][.lb14][.lb15]
 [.lb16][.lx1][.lx2][.lx3][.lx4][.lx5][.lx6][.lx7][.lx8][.lx9][.lx10][.lx11][.lx12][.lx13][.lx14]
 [.lx15][.lx16]

- 電子書籍と PDF と年賀状ソフト
 デスクトップ、ドキュメントフォルダーおよび以下のフォルダーにある次の拡張子を持つファイル

C:¥Program Data

C:¥JUST

[.azw][.tpz][.azw1][.chm][.lit][.pdb][.pdf][.mobi][.prc][.tr][.tr2][.tr3][.fb2][.opf][.aeh]
[.lrf][.lrx][.epub][.pdg][.pkg][.dnl][.djvu][.kml][.arg][.bfl][.bkk][.brn][.ceb][.ebk][.ebo]
[.ebx][.etd][.f4b][.hsb][.imp][.mbp][.mep][.nat][.oeb][.rb][.scb][.skn][.stk][.swb][.tcr]
[.tk3][.ubk][.vbk][.xeb][.ybk][.zvr]

筆まめ:

[.fwa][.fwb]

筆王:

[.fzd][.pdn]

筆ぐるめ:

[.fga][.fgl][.idx][.fgt]

楽々 はがき:

[.jsr][.jyd]

はがきスタジオ:

[.hsa][.hsd]

1-2-3 「通常のストレージ」と「コールドストレージ」の違い

ストレージの種類には、「通常のストレージ」と「コールドストレージ」があります。

バックアップしたファイルを復元・ダウンロードする際、「通常のストレージ」にファイルをバックアップした場合は即時に復元・ダウンロードが可能です。一方、「コールドストレージ」にファイルをバックアップした場合は復元待機時間として 3～5 時間以上を要します。

「コールドストレージ」は、めったにアクセスされないデータに最適な低コストのストレージです。

表 1-1

	通常のストレージ	コールドストレージ
バックアップ所要時間	即時	即時
復元待機時間	なし	3～5 時間以上
ブロックレベル バックアップ	✓	✓
写真のプレビュー	✓	✓
クライアントで復元	✓	✓
クラウドドライブにアップロード	✓	--
ストレージサービスのバックアップ	✓	--
ファイル内容検索と OCR	✓	--
ビデオと音楽のストリーミング再生	✓	✓※圧縮されたデータのみ可
ファイル共有	✓	✓※圧縮されたデータのみ可



ちょっとメモ

コールドストレージのみのご契約の場合、上記表の通り下記の機能をご利用になれません。

- クラウドドライブ
- ストレージサービスのバックアップ
- ファイル内容検索と OCR

1-2-4 利用規約

AOSBOX AI Plus の利用規約は下記の Web サイトをご覧ください。

<https://www.aosbox.com/eula/aosboxaiplus/>

1-2-5 サポートサイト

よくある質問・お問い合わせに関しては弊社のサポートサイトをご覧ください。

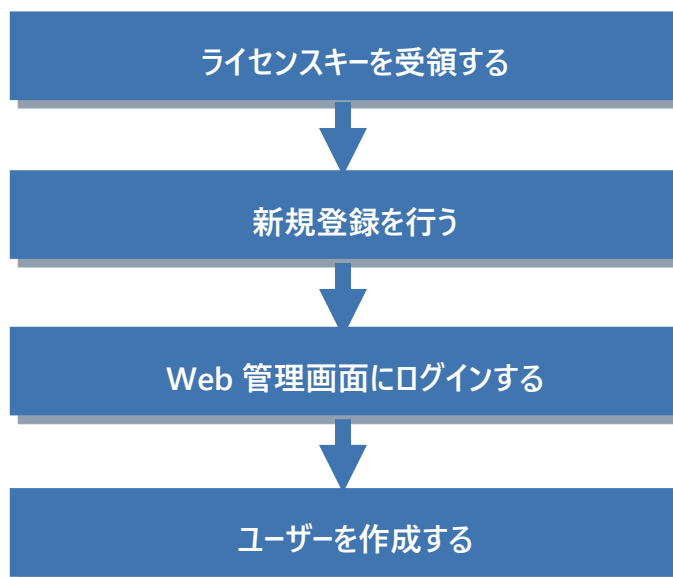
よくある質問は当マニュアルの「16 付録（177 ページ）」もご覧ください。

<http://aosbox.com/support/>

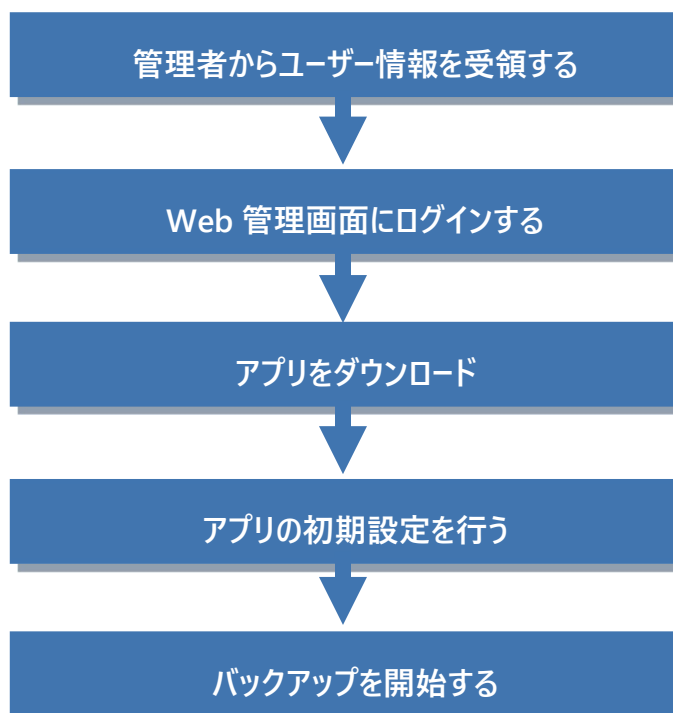
2

初期設定の流れ

2-1 管理者



2-2 ユーザー



3

新規登録の手続き

3-1 新規登録の手続き

AOSBOX ご利用の申請時に発行したメールから新規登録画面へアクセスします。

必要な項目を入力し、利用規約とプライバシーポリシーに同意の上で「登録」をクリックします。



補足

ライセンスキーや新規登録画面の URL は、販売元より提供されるライセンス証書やメールなどに記載されています。

ボットプログラム等による不正な登録を防止するため、reCAPTCHA 認証を敷いております。「私はロボットではありません」をチェックし、指示に従って画像を選択して認証を行ってください。

図 3-1

4

インストールと初期設定

4-1 インストール

以下の手順に従って、AOSBOX アプリをインストールします。

- 1 Web 管理画面にログインし、画面右上の「AOSBOX セットアップ」をクリックします。
Web 管理画面は、販売元より提供されるライセンス証書やメールなどに記載されている URL からアクセス可能です。
- 2 Windows ロゴの下部にある「ダウンロード」をクリックします。



図 4-1



インストール時のご注意

インストールには、インターネットへの接続が必要となります。インストールするパソコンのインターネット接続をご確認の上、作業を開始してください。

- 3 ダウンロードしたセットアップファイルをダブルクリックします。
「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されることがありますが「はい」をクリックします。

4 「AOSBOX セットアップ」ダイアログが表示されます。「次へ(N)」をクリックします。

(3)

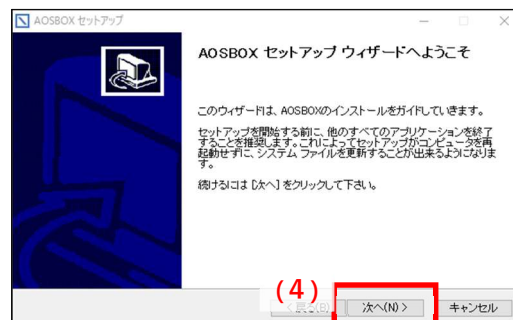
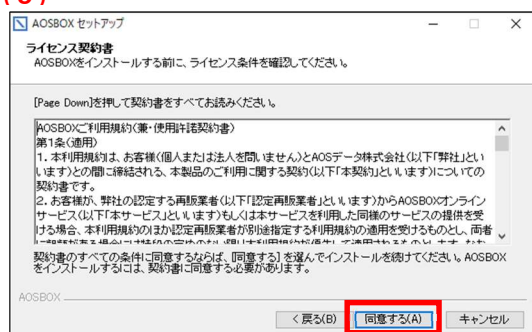


図 4-2

5 「ライセンス契約書」が表示されますので、内容をご確認いただいた上で「同意する(A)」をクリックします。

6 インストール先のフォルダーを選択し「次へ(N)」をクリックします。

(5)



(6)

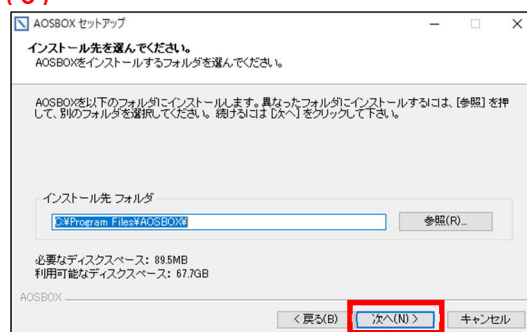


図 4-3

7 インストール先のユーザーを選択し「次へ(N)」をクリックします。

8 インストールが開始します。しばらくするとインストールが終了します。

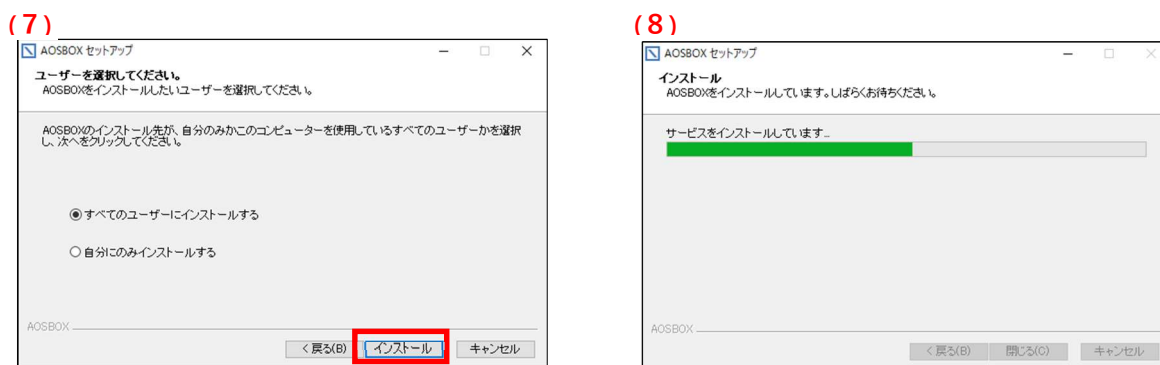


図 4-4

続いて、初期設定の手順をご説明します。

4-2 初期設定

下記の手順に従って、AOSBOX の初期設定を行います。

- 1 「ログイン」画面が表示されます。登録したメールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。
 - 2 「バックアップデータの選択」画面が表示されます。対象カテゴリーにチェックを入れ、画面右下の「次へ」をクリックします。
- 詳しい設定方法については「[5-3 バックアップデータの選択 \(27 ページ\)](#)」をご覧ください。

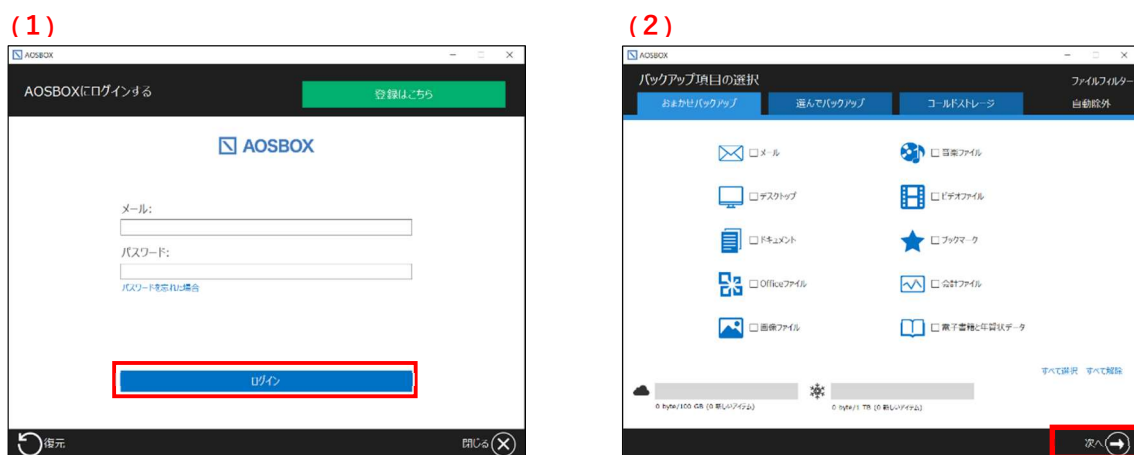


図 4-5

- 3 「OCR（スキャン済みの書類）」画面が表示されます。OCR を使用してバックアップしたいファイルを「> >」で追加します。

OCR は「ファイル・フォルダー」「言語」の設定が可能です。

詳しい機能と設定方法については「5-4OCR（34 ページ）」をご覧ください。

- 4 画面右下の「次へ→」をクリックします。

- 5 「バックアップ設定」画面が表示されます。設定後、画面右下の「次へ→」をクリックします。

- バックアップのスケジュール

ファイルをバックアップする間隔、または時刻を設定します。

- 帯域調整

このオプションを有効にすると、AOSBOX が使用できるアップロード帯域（ネットワーク速度）が制限されます。このオプションでは AOSBOX がパソコン/サーバーの使用できるすべてのネットワーク帯域を使用できる可能性は与えられませんが、他のツールやプログラムがアップロード帯域を使用したりする場合に有効です。

- デュアルバックアップ

デュアルバックアップは、ローカルサーバー、外部またはネットワークドライブにすべてのバックアップファイルのコピーを作成することにより、二重にバックアップし、より強固なバックアップを実現します。また、復元はデュアルバックアップ先のデータが優先され、復元の時間短縮とネットワーク帯域使用を軽減することも可能です。

それぞれの設定の詳細については、「5-5-1 スケジュール（36 ページ）」、「5-5-2 リソース最適化（38 ページ）」のネットワーク帯域調整の頁、「5-5-4-2 デュアルバックアップの設定（41 ページ）」をご覧ください。

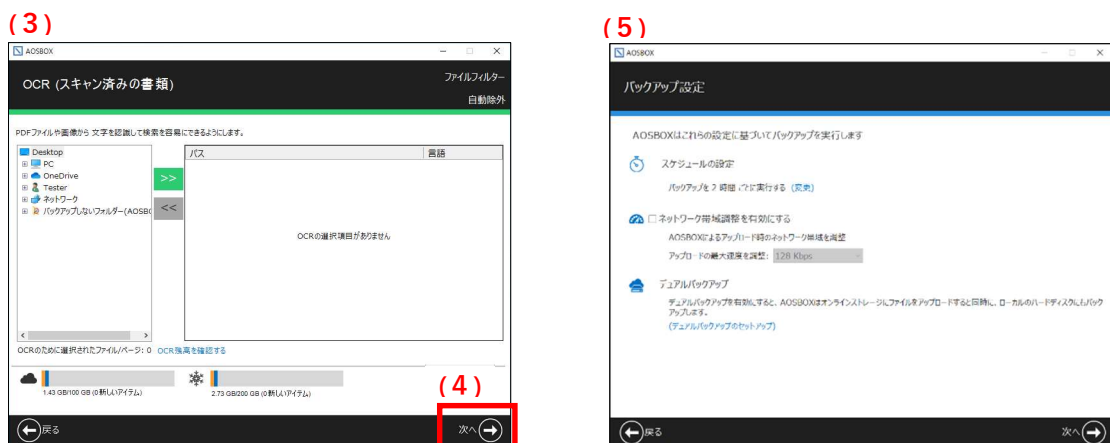
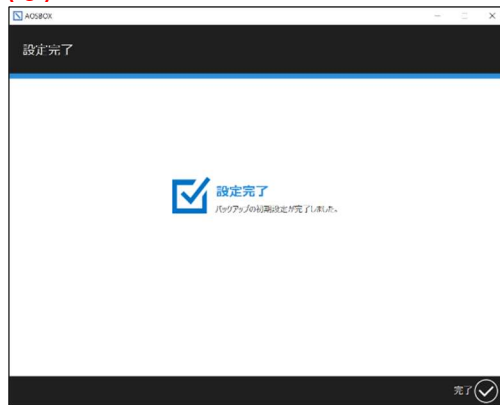


図 4-6

- 6 初期設定が完了しました。画面右下の「完了✓」をクリックします。

- 7 AOSBOX アプリウィンドウが表示されます。自動でバックアップを開始します。

(6)



(7)



図 4-7

5-1 アプリと Web 管理画面の違い

AOSBOX アプリと Web 管理画面のできることの違いを説明します。どちらもバックアップデータの復元は可能ですが、主な違いとして、アプリではバックアップの設定、Web ではバックアップデータのプレビューが可能です。



補足

管理者がポリシーを設定されている場合は、アプリの「バックアップデータの選択」、「OCR」、「設定」はお使いになれません。

表 5-1

操作	アプリ画面	Web 管理画面
バックアップしたファイル・フォルダーを復元する	○	○
バックアップしたファイルをプレビューする	×	○
世代管理しているファイルを復元する	○	○
世代管理しているファイルをプレビューする	×	○
削除したファイル・フォルダーを復元する	○	○
削除したファイルをプレビューする	×	○
バックアップしたいカテゴリや、ファイル・フォルダーを選択する	○	○
バックアップしたファイル・フォルダーを共有する	×	○
バックアップから除外したいファイル・フォルダーを選択する	○	○
OCR を使用するファイルの設定を行う	○	○
バックアップに関わる様々な設定を行う	○	○
ファイル・フォルダーを元の場所に復元する	○	○
アカウントの設定を変更する	×	○
バックアップしたファイル・フォルダーを別のパソコンからダウンロードする	×	○

アプリ画面



Web 管理画面

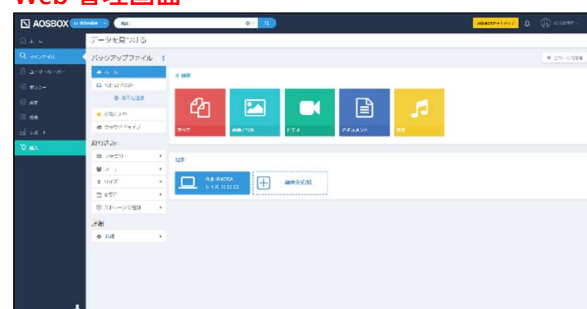


図 5-1

5-2 AOSBOX アプリのホーム画面の説明

5-2-1 バックアップ待機中



図 5-2

バックアップ待機中の各詳細状況の表示を説明します。

(1) 次回のバックアップ

次回のバックアップ: 23 時間 後 [今すぐ実行](#)

図 5-3

次回のバックアップが始まる予定時間を表示します。バックアップするファイル（待機中ファイル）がなければ、バックアップは実行しません。待機中ファイルがある場合は「今すぐ実行」が表示されます。「今すぐ実行」をクリックするとバックアップを実行します。

(2) 前回のバックアップ

前回のバックアップ: 32 分 前

図 5-4

前回のバックアップが完了してからの経過時間を表示します。1 時間以内は分単位で、24 時間以内の場合は時間単位で、24 時間以上は日数単位で表示します。

(3) バックアップした総ファイル

バックアップした総ファイル: 49 ファイル (2.87 GB)

図 5-5

バックアップ済のファイルの数と容量を表示します。

(4) 待機中

待機中: 3 ファイル

図 5-6

次回バックアップされる予定のファイルの数を表示します。待機中ファイルがない場合は次回のバックアップの時間になっても、バックアップは実行しません。また、別のプログラムによりロックされているファイルや、頻繁に更新されているファイル等は、バックアップされずに次回のタイミングまで待機状態になっている場合があります。「XX ファイル」をクリックすると次回バックアップするファイルの一覧を表示します。

(5) ストレージ容量



図 5-7

契約容量の内、通常ストレージとコールドストレージのそれぞれのバックアップで使用しているバックアップスペースの容量を表示します。黄色で表示されているのは他のユーザーが使用中の容量です。



注意

プランによって使用できないストレージは表示されません。

5-2-2 バックアップ実行中

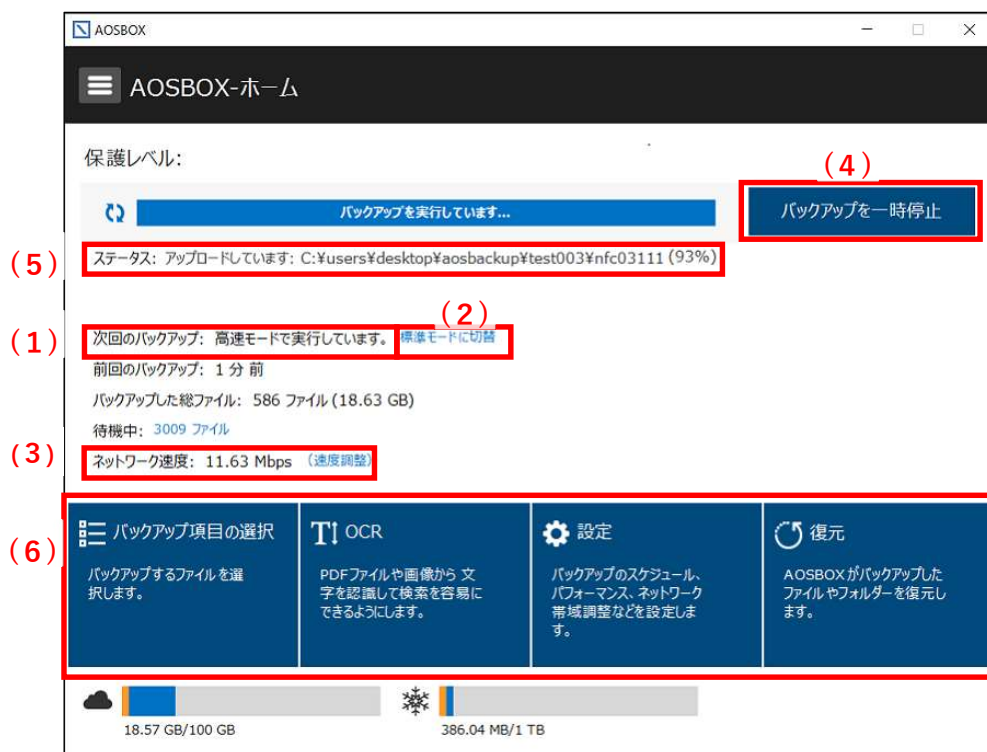


図 5-8

バックアップ実行中の各詳細状況の表示、基本メニューボタンを説明します。

(1) 次回のバックアップ



図 5-9

バックアップモードを表示します。標準モードと高速モードがあります。バックアップを優先させる場合は「高速モード」で、他の作業を優先させる場合は「標準モード」でご利用ください。

(2) 高速モードに切替/標準モードに切替



図 5-10

標準モードと高速モードに切り替えることができます。標準モードの場合、「高速モードに切替」をクリックすると、高速モードになり表示が「標準モードに切替」に変わります。



補足

標準モードで使用中に、パソコンがアイドル状態（何も操作されていない）になると、自動的に高速モードに移行します。何らかの操作が行われたときに標準モードに戻ります。なお、手動で高速モードを選択した場合は常に高速モードとなります。

（３）ネットワーク速度

ネットワーク速度: 11.87 Mbps (速度調整)

図 5-11

バックアップに利用しているネットワークの速度を表示します。
「速度調整」をクリックすることで、ネットワークの使用帯域を調整することもできます。

（４）バックアップを一時停止する

バックアップを一時停止

図 5-12

バックアップを一時停止する時にクリックします。バックアップ実行中の時でも実行していない時でも、クリックして、次のバックアップを一時停止することが可能です。

（５）ステータス

ステータス: アップロードしています: C:\Users\¥Desktop¥AOSbackup¥test002¥0002 (91).png (100%)

図 5-13

バックアップ実行中のファイルの状態を表示します。

（６）設定パネル

バックアップ項目の選択 バックアップするファイルを選択します。	OCR PDFファイルや画像から文字を認識して検索を容易にできるようにします。	設定 バックアップのスケジュール、パフォーマンス、ネットワーク帯域調整などを設定します。	復元 AOSBOXがバックアップしたファイルやフォルダーを復元します。
---	---	--	---

図 5-14

上記パネルをクリックすると各設定画面に移動します。

バックアップデータの選択：バックアップするカテゴリーやファイル・フォルダーを選択します。
詳細は「[5-3 バックアップデータの選択（27 ページ）](#)」をご覧ください。

OCR：OCR ファイルを選択します。
詳細は「[5-4 OCR（34 ページ）](#)」をご覧ください。

設定：バックアップスケジュールや、バックアップの環境を設定します。
詳細は「[5-5 設定（36 ページ）](#)」をご覧ください。

復元：バックアップしたデータを復元します。
詳細は「[5-6 復元（48 ページ）](#)」をご覧ください。

5-3 バックアップデータの選択

ホーム画面で「バックアップデータの選択」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。

「おまかせバックアップ」、「選んでバックアップ」、および「コールドストレージ」から、バックアップするファイルやフォルダーを選択します。



注意

「コールドストレージ」は、ご契約の状態によって表示されます。

- 両方のストレージをご契約の場合、「コールドストレージ」が表示され、ここで指定した項目は、コールドストレージにバックアップされます。
- 通常のストレージのみをご契約の場合、「コールドストレージ」は表示されず、コールドストレージにバックアップすることはできません。
- コールドストレージのみをご契約の場合、「コールドストレージ」は表示されませんが、「おまかせバックアップ」、および「選んでバックアップ」で選択したファイルやフォルダーは、すべてコールドストレージにバックアップされます。

5-3-1 おまかせバックアップ

「おまかせバックアップ」は、マイドキュメントや写真、音楽などのカテゴリごとにまとめてバックアップしたい場合に使用します。



図 5-15

(1) バックアップカテゴリ

バックアップするカテゴリを選択します。カテゴリ毎のバックアップするファイルの仕様は「[1-2-2 おまかせバックアップ対象ファイル \(7 ページ\)](#)」をご覧ください。

(2) ストレージ容量

図 5-16

バックアップ可能な総容量の中で、既にバックアップで使用している容量を青色、上記画面で新たにチェックを入れた対象をバックアップするために必要な容量を水色で表示します。黄色の部分、他のユーザーで使用している容量です。

(3) 保存

バックアップしたい項目へのチェックが入れ終わったら「保存」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。



補足

(4) ファイルフィルターは「[5-3-4 ファイルフィルター \(32 ページ\)](#)」、(5) 除外設定は「[5-5-6 環境設定 \(45 ページ\)](#)」をご覧ください。

5-3-2 選んでバックアップ

「選んでバックアップ」は、任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップしたい場合に使用します。



図 5-17

(1) ツリーウィンドウ

ツリーウィンドウに表示されているフォルダーを展開して、バックアップしたいファイルが格納されているフォルダーを選択します。

(2) リストウィンドウ

リストウィンドウに表示されたファイル/フォルダーのうち、バックアップしたい項目にチェックを入れます。

(3) 保存

バックアップしたい項目にチェックが入れ終わりましたら「保存」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。



補足

(4) ファイルフィルターは「[5-3-4 ファイルフィルター \(32 ページ\)](#)」、(5) 除外設定は「[5-5-6 環境設定 \(45 ページ\)](#)」をご覧ください。

(6) 「更新」をクリックすると、ツリーウィンドウとリストウィンドウの内容が最新の状態になります。

ツリーウィンドウ、リストウィンドウで任意のフォルダーにチェックを入れると、そのフォルダーに格納されているすべてのファイル・フォルダーにチェックが入ります。

5-3-3 コールドストレージ

「コールドストレージ」は、任意の項目を選択してコールドストレージにバックアップしたい場合に使用します。

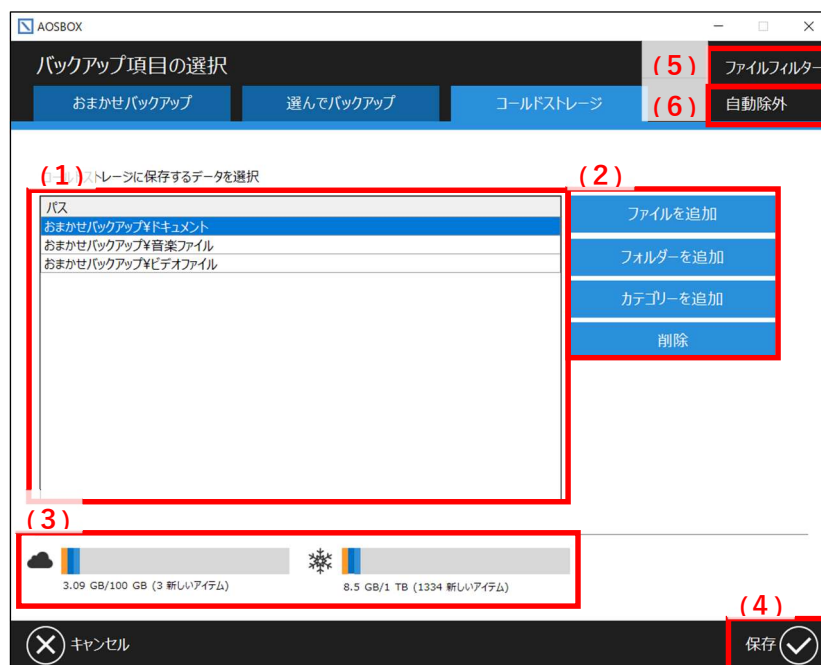


図 5-18

- (1) **ファイル・フォルダー表示領域**
追加したファイル・フォルダーが表示されています。
- (2) **ファイル選択ボタン**
ここでバックアップしたいファイル・フォルダーおよびカテゴリの追加、削除を行います。
- (3) **ストレージ容量**



図 5-19

バックアップスペース中のバックアップで使用している容量と、上記で追加したファイル・フォルダーをバックアップするために必要な容量を表示します。
左記の場合、元々使用している容量を青色、追加のバックアップに必要な容量を水色で表しています。黄色の部分、他のユーザーで使用している容量です。

- (4) **保存**
バックアップしたい項目の追加が終わりましたら「保存」をクリックします。
設定に応じてバックアップが始まります。

**補足**

(5) ファイルフィルターは「[5-3-4 ファイルフィルター \(32 ページ\)](#)」、(6) 除外設定は「[5-5-6 環境設定 \(45 ページ\)](#)」をご覧ください。

**注意**

コールドストレージの場合、復元開始後に実際に復元可能になるまで 3～5 時間以上の待機時間が発生します。

バックアップについては、待機時間は発生せず通常ストレージと同様にアップロードされます。

5-3-4 ファイルフィルター

バックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部の特定ファイルのみバックアップしたい場合や、一部除外したいファイルがある場合にこの機能を使用します。

「追加」：条件設定画面に移ります。

「編集」：設定した条件を編集します。

「削除」：設定した条件を削除します

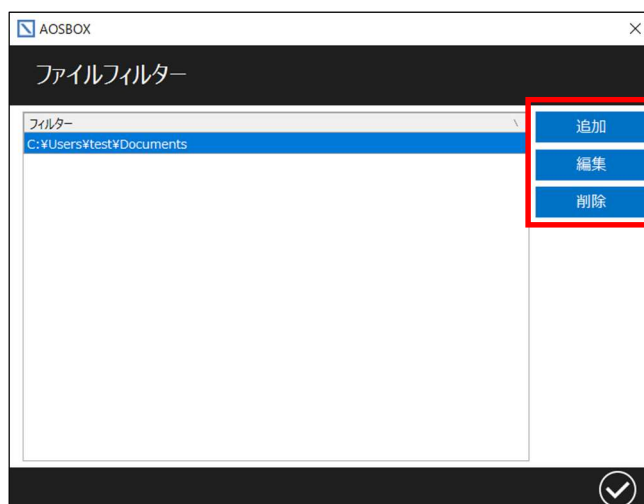


図 5-20

5-3-4-1 フィルターを追加

フィルターを追加する場合の手順は以下の通りです。

1 最初に以下のどちらかの項目を選択します。

- 「全ての場所」
ファイル・フォルダーの場所に関わらずバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。
- 「指定したパス」
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

2 以下の項目を設定します。

「拡張子や条件式でフィルターを行う」

- 「次のファイル拡張子や条件式だけをバックアップする」
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。
- 「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「指定サイズより大きいファイルはバックアップしない」

ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

「指定日付より以前ファイルはバックアップしない」

更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

3

「✓」をクリックします。



図 5-21



補足

フィルター設定する場合は、いずれかのバックアップで、ファイルをバックアップ対象にしている必要があります。



注意

正規表現でフィルターを設定する際は、「正規表現を使用」にチェックを入れてください。なお、これにチェックを入れた場合は拡張子のワイルドカードやセミコロンなどはすべて無効になり、正規表現の書式に沿ってフィルターが行われるようになります。

正規表現の使用例については、オンラインヘルプ (<https://helpintelligent.aosbox.com/?p=7981>) をご覧ください。

5-4 OCR

OCR(Optical Character Recognition)とは、画像などの文字情報のないファイル形式から、文字だけを抽出しコンピューターが扱えるような文字コードに変換する機能を指します。

AOSBOX では、画像または PDF 形式のファイルから文字を抽出し、Web 管理画面の検索窓から画像内の文字を検索できるようにします。



図 5-22

5-4-1 OCR ファイルの設定方法

5-4-1-1 AOSBOX アプリから行う

- 1 AOSBOX アプリを起動してホーム画面で「OCR」をクリックし、以下のウィンドウを表示します。
- 2 OCR を行うファイル・フォルダーを、左のツリーから選択します。
- 3 「>>」をクリックして OCR 対象として追加します。

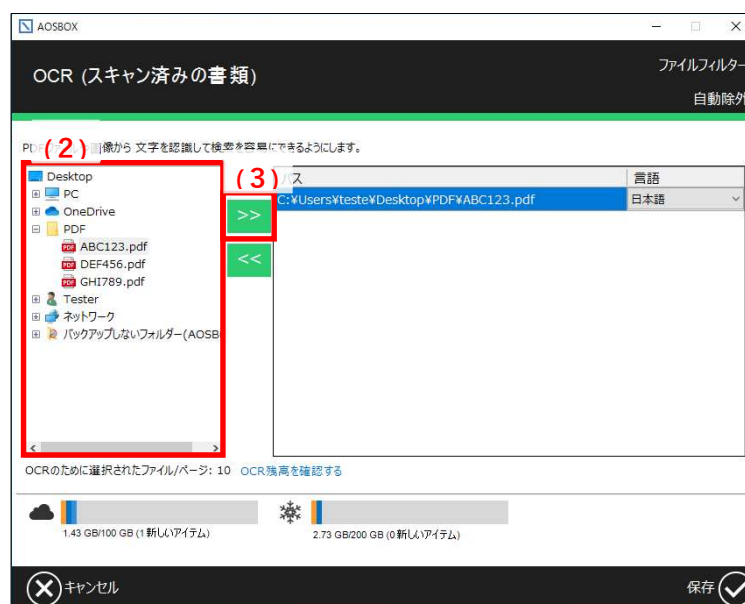


図 5-23

4 右のパス表示から、対象のファイル・フォルダーの OCR 言語を選択します。

5 「保存✓」をクリックします。

この設定を適用させると、バックアップ時に対象ファイルを OCR します。

また、Web 管理画面の検索窓から画像内の文字を検索できるようになります。

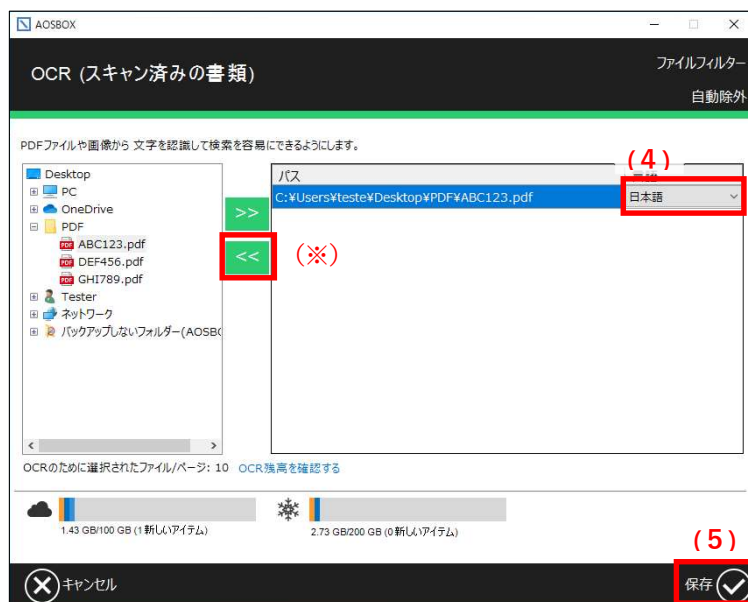


図 5-24

補足

OCR として使用できるファイルタイプは、JPG(JPEG)、TIF(TIFF)、および PDF 形式のみとなります。
言語の設定は初回のみ有効です。保存する前に言語の指定をよくご確認ください。

OCR 対象のファイル・フォルダーを OCR 対象から除外する場合は、
同じ画面で、OCR 対象となっている右のパスに表示されたファイル・フォルダーを選択し、「<< (※)」をクリックし、設定を保存します。

注意

OCR として選択したファイルのサイズ分、通常のストレージを使用します。

5-4-1-2 Web 管理画面から行う

Web 管理画面のマイファイルから、JPG(JPEG)、TIF(TIFF)、および PDF 形式のファイルを選択し、右クリックメニューから OCR を行う方法もあります。

詳細については「[6-3-8OCR を試行 \(68 ページ\)](#)」をご覧ください。

5-5 設定

ホーム画面で「設定」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。

5-5-1 スケジュール

最初に「スケジュール」の設定画面について説明します。ここでは、バックアップスケジュールの設定を行います。

「等間隔でバックアップする」

設定した時間間隔でバックアップを実行します。

「バックアップデータ整合性チェックの実行間隔」

バックアップ対象になっているファイル・フォルダーの中で、バックアップ漏れがないかをスキャンするタイミングを設定します。

「スケジュールを設定する」

設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

「バックアップ終了後に実行する処理」

スケジュールによるバックアップが完了した後、コンピューターが実行する処理を選択します。

「ユーザーに警告せず実行中アプリケーションを強制的に閉じる」

バックアップ終了後の処理を実行するときに開かれているアプリケーションがある場合に、それらを警告なく終了します。

バックアップスケジュールは、等間隔もしくは定められた時刻のどちらかを選択できます。等間隔でバックアップする時は、「等間隔でバックアップする」にチェックを入れ、定められた時刻を設定する時は「スケジュールを設定する」にチェックを入れ、日時の入力を行ってください。

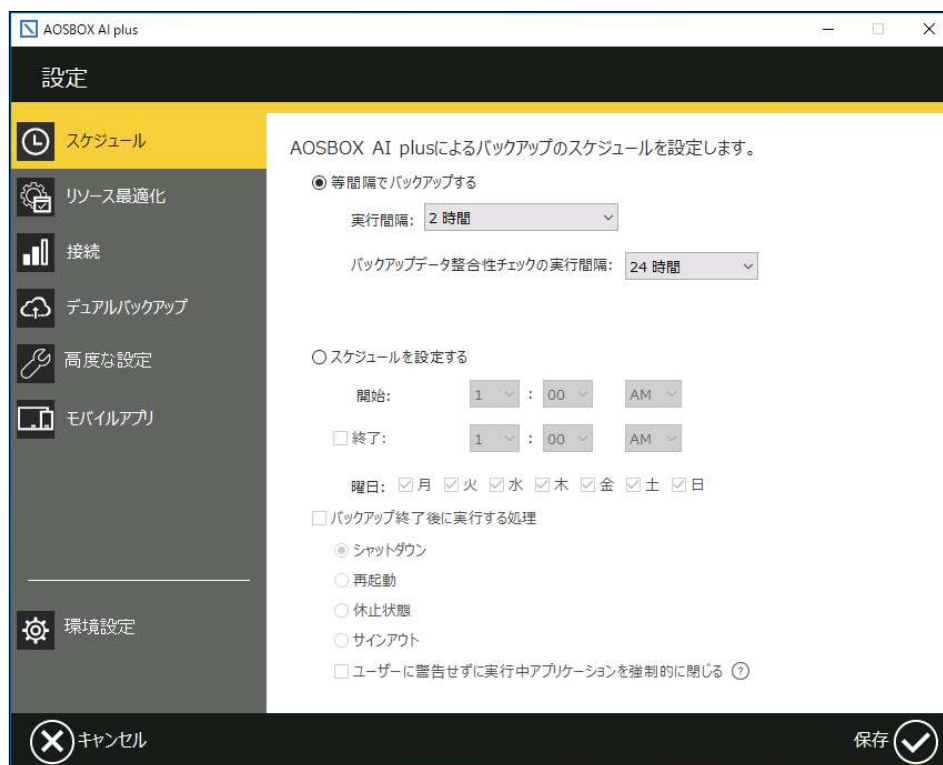


図 5-25

補足

定められた時刻を設定する際、「終了時刻」にチェックを入れると、バックアップを停止する時刻を設定できます。日をまたぐ設定も可能です。

- 午後 10 時 00 分から翌日の午前 6 時 00 分までバックアップを行うように設定できます。
- 日をまたぐ設定を行うと、次の日がバックアップする曜日でなくてもその時間まではバックアップが継続されます。
(例：金曜日のみ、23 時から翌 1 時までをスケジュールとして設定した場合、翌 1 時まではバックアップしない土曜日であってもバックアップが行われます)

バックアップ終了後に実行する処理について

- 「等間隔でバックアップする」を選択している場合、この処理は実行されません。
- コンピューターが休止状態をサポートしていない場合、「休止状態」を選択してバックアップを完了しても、休止状態には移行しません。
- バックアップ処理が終了した時点で、指定された処理を実行します。終了時刻を指定した場合、待機中ファイルが存在していても終了時刻に実行されることになります。

5-5-2 リソース最適化

次に「リソース最適化」の設定画面について説明します。ここでは、ネットワーク帯域の設定やアプリの動作設定を行います。

「マルチスレッドでアップロードする（高速バックアップ）」

アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。すべてのネットワーク帯域を消費するため、通常はチェックを外しておいてください。

「ネットワーク帯域調整を有効にする」

このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「帯域調整をスケジュールする」

このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になる様に設定することができます。

「プレゼンテーションモードを有効にする」

プレゼンテーション、フルスクリーンでゲームプレイなどの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「バッテリーモードを有効にする」

バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。（※このオプションは、ノートパソコンやタブレットの様なバッテリー駆動が可能なモデルで表示されます）



図 5-26

5-5-3 接続

次に「接続」の設定画面について説明します。ここでは、ネットワーク接続の設定を行います。

「インターネットの接続方法を選択します」

バックアップを行うタイミングを「有線 LAN」「無線 LAN」「モバイルネットワーク」の接続方法の中から選択して、制限することができます。

さらに「無線 LAN」では、WiFi セーフリストを設定して接続先を限定することができます。

「従量制課金接続でのバックアップを有効にする」

Windows 10/11 で有効なオプションです。

チェックを入れると、使用中のインターネット接続が Windows から従量制課金接続として認識されている場合でもバックアップを行います。

※モバイルネットワークは、既定では従量制課金接続として扱われます。

「プロキシ設定」

お使いの OS のインターネットのプロパティ設定画面が起動します。

お使いのネットワークでプロキシサーバーの指定がある場合はここで指定します。（パソコンのインターネットオプションと同じ値が適用されます）

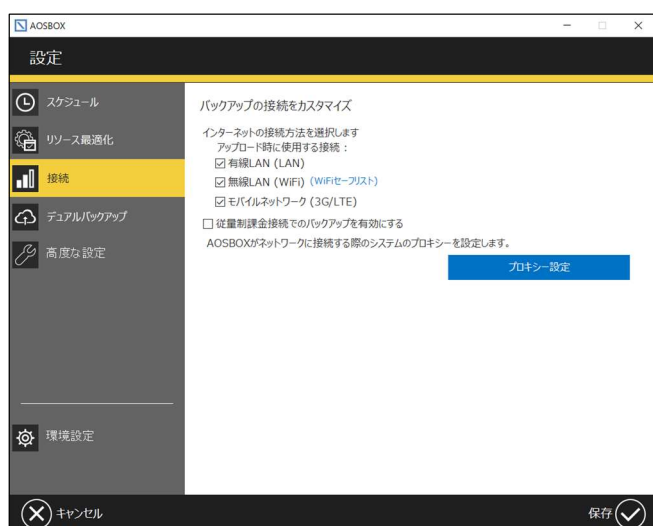


図 5-27

5-5-4 デュアルバックアップ

次に「デュアルバックアップ」の設定画面について説明します。

5-5-4-1 デュアルバックアップの機能について

デュアルバックアップは、オンラインストレージにバックアップを行うと同時に、指定した外付けハードディスクやネットワークドライブなどにバックアップを行います。

バックアップを二重にすることで、より強力なデータ保護が行われ、また迅速な復元速度が実現できます。

ファイルを復元する際、AOSBOX はオンラインストレージにアクセスするより前に、最初にデュアルバックアップ内からチェックを行います。復元にかかる時間と、ネットワーク負荷を軽減できます。



補足

デュアルバックアップの特徴について

- バックアップを二重にすることによって、堅牢性を高めます。
- 復元にかかる時間を短縮します。特にコールドストレージにバックアップしているファイルに対して、より効果的です。
- デュアルバックアップは、オンラインストレージの他にローカルストレージ（外付けハードディスクやネットワークドライブ）にバックアップしたファイルのコピーを保存します。
- デュアルバックアップのサイズは制限できます。ローカルストレージのすべての領域を占有することはありません。制限に達した際は、古いファイルはローカルストレージから順に削除されていきます（オンラインにバックアップしたファイルは削除されません）。

デュアルバックアップが開始されるタイミングについて

デュアルバックアップは、アプリの設定画面で有効になっている場合にバックアップのスケジュールに沿って行われます。



注意

- デュアルバックアップを用いてもクラウド上へのバックアップは実施されるため、インターネット回線が必須になります。外付けハードディスクやネットワークドライブのみにバックアップを行うことはできません。
- デュアルバックアップ先に保管されるファイルは、最新の世代のみとなります。世代管理しているファイルの古い世代を復元する際は、クラウドストレージへのアクセスが発生します。

5-5-4-2 デュアルバックアップの設定

ここでは、デュアルバックアップに関する設定を行います。

「デュアルバックアップを有効にする」

このチェックを入れると、デュアルバックアップが有効になります。
「参照」をクリックしてドライブにバックアップする場所を指定してください。

「ネットワークロケーション認証」

デュアルバックアップ先としてネットワーク共有フォルダーを指定する場合、アクセス認証が必要であれば、ここでユーザー名とパスワードを指定します。

※ネットワーク共有フォルダーがアクセス認証を必要としない場合は、この設定は必ず空欄にしてください。

「デュアルバックアップのサイズを制限する」

このチェックを入れると、ドライブにバックアップするサイズを制限することができます。

最小 100GB から指定する事ができます。

制限に達した際は、古いファイルから順にローカルストレージ削除されていきます（オンラインにバックアップしたファイルは削除されません）。

「デュアルバックアップにフィルターを適用」

[「デュアルバックアップのフィルター（42 ページ）」](#)をご覧ください。

「デュアルバックアップに以前バックアップしたファイルを再コピー」

「今すぐ実行」をクリックするとデュアルバックアップを開始する以前に AOSBOX のオンラインストレージへバックアップしていたデータを、デュアルバックアップ先にコピーすることができます。

※これは、初期設定時には表示されません。



図 5-28

デュアルバックアップのフィルター

デュアルバックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部の特定ファイルのみバックアップしたい場合や、一部除外したいファイルがある場合にこの機能を使用します。

「追加」：条件設定画面に移ります。

「編集」：設定した条件を編集します。

「削除」：設定した条件を削除します。

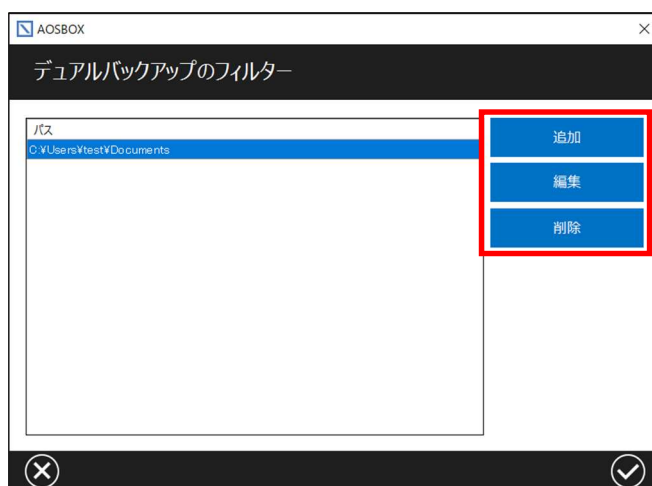


図 5-29

フィルターを追加

デュアルバックアップのファイルフィルターを追加する場合の手順は以下の通りです。

1 最初に以下のどちらかの項目を選択します。

- 「全ての場所」
ファイル・フォルダーの場所に関わらずバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合に選択します。
- 「指定したパス」
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合に選択します。

2 以下のどちらかの項目を選択します。

- 「次のファイル拡張子や条件式だけをバックアップする」
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。
- 「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

3 「✓」をクリックします。



図 5-30

**注意**

正規表現でフィルターを設定する際は、「正規表現を使用」にチェックを入れてください。なお、これにチェックを入れた場合は拡張子のワイルドカードやセミコロンなどはすべて無効になり、正規表現の書式に沿ってフィルターが行われるようになります。

正規表現の使用例については、オンラインヘルプ (<https://helpintelligent.aosbox.com/?p=7981>) をご覧ください。

5-5-5 高度な設定

次に「高度な設定」の設定画面について説明します。ここでは、各種詳細な設定を行います。

「選んでバックアップにおいて隠しファイルを表示する」

「5-3-2 選んでバックアップ (29 ページ)」で隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「パソコン起動時に AOSBOX を実行する」

パソコンの起動と同時に AOSBOX アプリも起動します。通常はチェックを入れておいてください。また、バックアップ開始のタイミングを指定して遅らせることができます。

「VSS 対象の拡張子」

拡張子を指定することで、該当の拡張子を持つファイルに、ボリュームシャドウコピー(VSS)を使用してのバックアップを強制します。

※開いていたり、ロックされているファイルは、ここで指定されていなくても VSS を使用してバックアップが行われます。

「ブロックレベル対象の拡張子」

ファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間と容量を軽減することができます。

※ブロックレベルバックアップはサイズが 5MB を超えるファイルのみに適用されます。

「NTFS ジャンクションポイントを参照する」

ジャンクションと呼ばれる特殊なフォルダーの接続先の不整合を防止するために使用します。通常はチェックを外すことはありません。管理上の不都合が発生する場合にのみチェックを外してください。

「空のフォルダーをバックアップしない」

バックアップ対象となっているフォルダー内にファイルが存在しない場合、フォルダーはアップロードされなくなります。



図 5-31

5-5-6 環境設定

次に「環境設定」の設定画面について説明します。ここでは、バックアップ対象の除外や、ログファイル取得についての設定を行います。

5-5-6-1 自動除外

「隠しファイルをバックアップする」

隠しファイルをバックアップ対象にする場合にチェックを入れます。

「自動除外を有効にする」

バックアップしたくないフォルダーのパスを指定して、バックアップ対象から除外する場合にチェックを入れます。



図 5-32

「追加」をクリックすると下記のウィンドウが表示されます。「フォルダーを追加」や「ファイルを追加」をクリックして選択するか、「除外対象」ボックスに除外したいファイル・フォルダーのパスを直接入力して「追加」をクリックします。必要であれば「説明」ボックスにわかりやすい説明を記入します。



図 5-33

**注意**

自動除外の対象になっているフォルダーは、「5-3-2 選んでバックアップ（29 ページ）」にて明示的にバックアップとして指定した場合はバックアップされます。明示的ではない（例えば、自動除外として指定した上位のフォルダーを「選んでバックアップ」で指定する）場合はバックアップされません。

5-5-6-2 全般

「詳細ログを取得する」

AOSBOX の詳細なログを取得する場合にチェックを入れます。「ログの保存場所を開く」をクリックすると、ログファイルの保存場所を参照できます。

「キャッシュドライブを変更」

AOSBOX のキャッシュファイルを保存するドライブを変更できます。変更する際は、空き容量が 2GB 以上で NTFS フォーマットの内蔵ドライブを選択してください。

※外付けドライブをキャッシュドライブにすることはできません。

「パスコードロックを有効化」

クライアントアプリをパスコードでロックします。パスコードでロックされると、次回以降クライアントアプリを表示しようとするときにパスコードが要求されるようになります。



図 5-34



補足

パスコードについて

- パスコードを指定すると、ユーザーが AOSBOX クライアントの表示、およびアンインストールを試みるたびに、AOSBOX クライアントはパスコードを要求します。

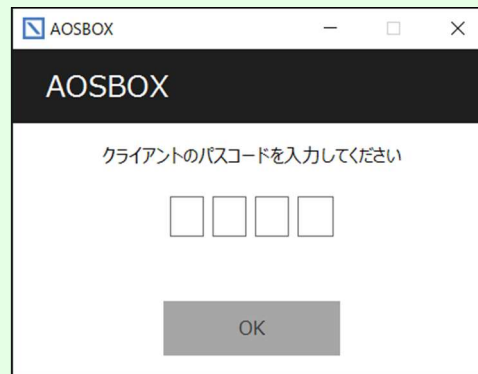


図 5-35

- 正しいパスコードを入力すると、15 分間有効な状態が続きます。
- パスコードは 4 回まで再試行可能です。5 回パスコードの入力ミスが続いた場合、15 分間クライアントの表示、およびアンインストールがロックされます。

5-6 復元

ホーム画面で「復元」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。

- (1) バックアップしているパソコンの名前を表示しています。
- (2) 表示している内容を最新の情報に更新します。
- (3) 下のウィンドウに表示しているファイルの保存場所（フォルダー）を表示しています。各フォルダー名をクリックすることにより、フォルダー内容を参照することができます。
- (4) バックアップしているファイル・フォルダーの一覧を表示しています。
- (5) 復元するファイル・フォルダーの一覧を表示しています。
- (6) (4) で選択したファイル・フォルダーを (5) に追加します。ここに追加された項目が復元されるようになります。
- (7) (5) に追加されたファイル・フォルダーを復元対象から外します。
- (8) チェックを入れると、パソコンから削除されたファイル・フォルダーを表示します
- (9) 別のアカウント（例：別のパソコンでバックアップしたデータ）から復元したい場合に、使用するボタンです。「[7-2 アプリからの復元（81 ページ）](#)」をご覧ください。
- (10) このウィンドウを閉じます。
- (11) 復元の詳細手順へ進みます。「[7-2 アプリからの復元（81 ページ）](#)」をご覧ください。

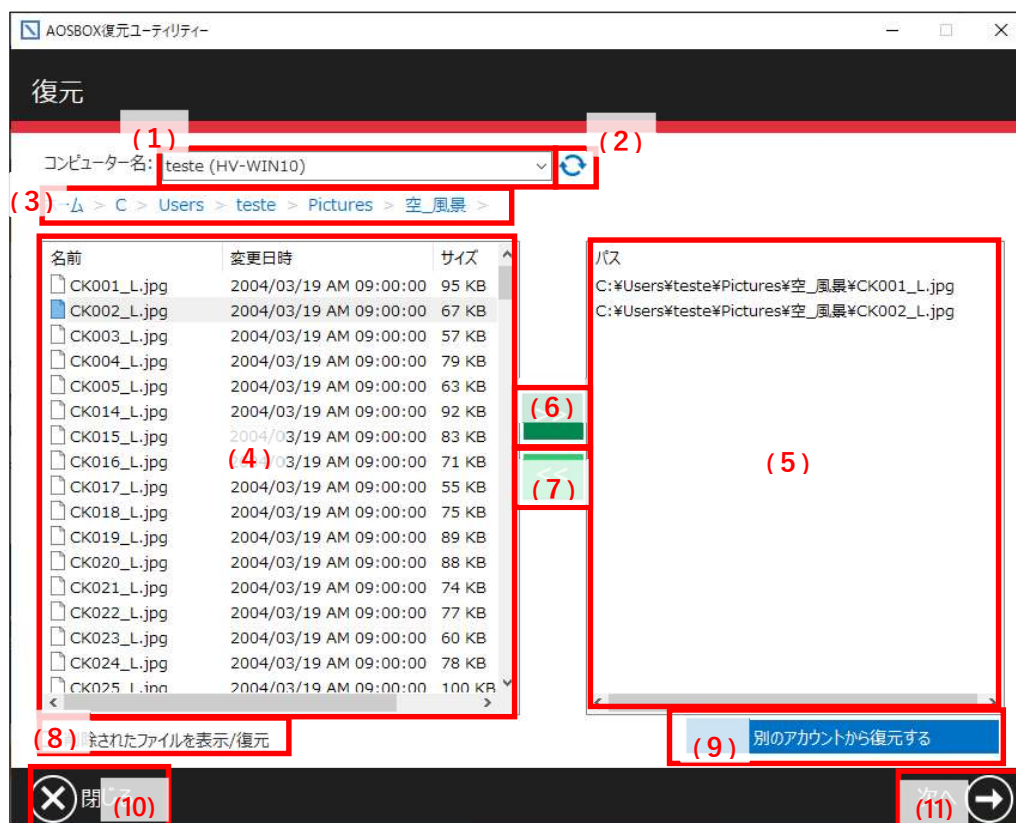


図 5-36

6

Web 管理画面

6-1 ホーム

この画面では、バックアップしている端末やストレージ使用量等、AOSBOX を使用するにあたって基本的な情報を表示しています。

- (1) それぞれの機能の画面に移動します。「6-2 メニューバー (51 ページ)」をご覧ください。
- (2) バックアップファイルを検索することができます。検索の詳しい内容については「6-3-2-1 ファイルの検索について (56 ページ)」をご覧ください。
- (3) AOSBOX アプリをダウンロードします。
「4 インストールと初期設定 (16 ページ)」をご覧ください。
- (4) 通知情報を表示しています。
- (5) 現在ログインしているアカウントを表示しています。ここからアカウント設定、管理者権限の変更、ログアウトが可能です。
「13 アカウント設定 (158 ページ)」・「14 管理者権限の設定 (170 ページ)」をご覧ください。
- (6) アカウントのバックアップ状況の概要を表示しています。各数値からスマートレポートを見ることも可能です。スマートレポートについては「11-2 スマートレポート (141 ページ)」をご覧ください。

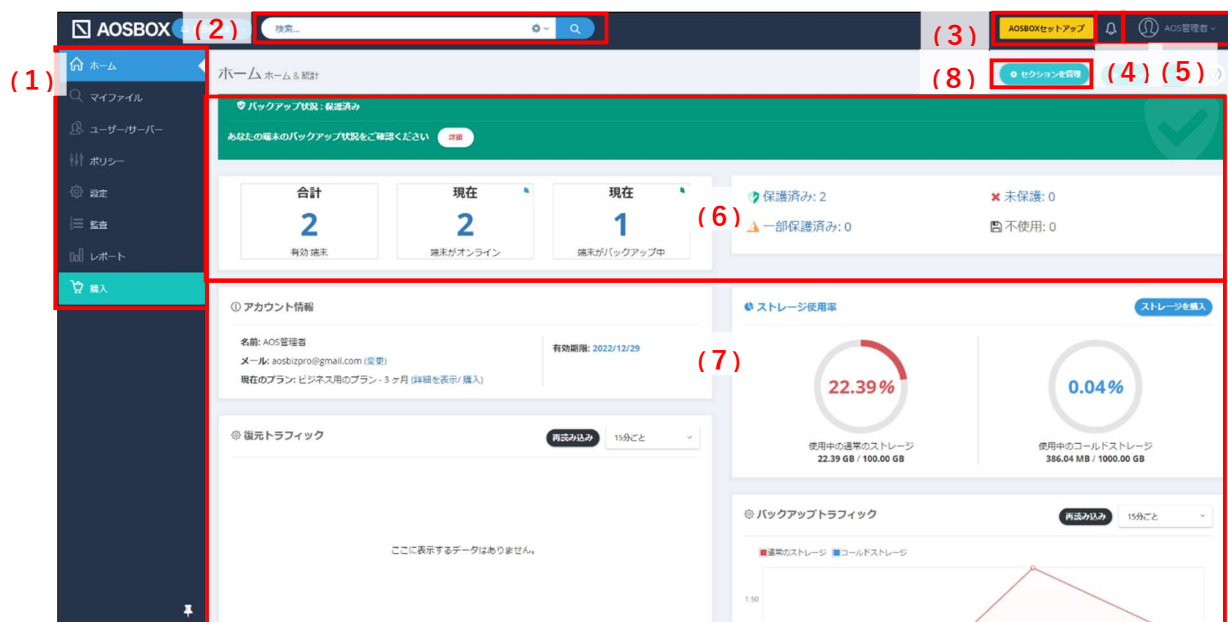


図 6-1

- (7) 各種状況や統計を表示しています。このエリアの表示内容は、(8) 「セクションの管理」ボタンを押して変更することができます。



図 6-2

**補足**

Web 管理画面はレスポンシブデザインになっており、ブラウザのウィンドウサイズによってレイアウトが変更されます。

**注意**

アカウントの設定・権限・ポリシーによっては一部の情報は表示されません。

6-2 メニューバー

AOSBOX の Web 上における主な機能のメニューバーが左のアイコンで表示されています。



図 6-3

表 6-1

 ホーム	(1) ホーム画面に移動します。 「 6-1 ホーム (49 ページ) 」をご覧ください。
 マイファイル	(2) マイファイル画面に移動します。 バックアップを行ったファイルの閲覧などが可能です。 「 6-3 マイファイル (53 ページ) 」をご覧ください。
 ユーザー/サーバー	(3) ユーザー/サーバー画面に移動します。 ユーザー・サーバー・パソコンの一覧や設定などが可能です。 「 8 ユーザー/サーバー (92 ページ) 」をご覧ください。
 ポリシー	(4) ポリシー画面に移動します。 バックアップポリシーの一覧や設定などが可能です。 「 9 ポリシー (123 ページ) 」をご覧ください。
 設定	(5) 設定画面に移動します。 アカウント内全てに適用される設定を変更することが可能です。 「 12 設定 (154 ページ) 」をご覧ください。
 監査	(6) 監査画面に移動します。 バックアップ状況やファイル操作などを確認することができます。 「 10 監査 (139 ページ) 」をご覧ください。

 レポート	(7) レポートの各機能の画面に移動します。 AOSBOX における使用状況などを確認することができます。 「11 レポート (140 ページ)」をご覧ください。
 購入	(8) 購入に関するお問い合わせ内容入力ページに移動します。 容量の追加購入などは本ページより弊社窓口までお問い合わせください。

6-3 マイファイル

6-3-1 マイファイルの概要

Web 管理画面の「マイファイル」タブを選択すると、以下画面が表示されます。

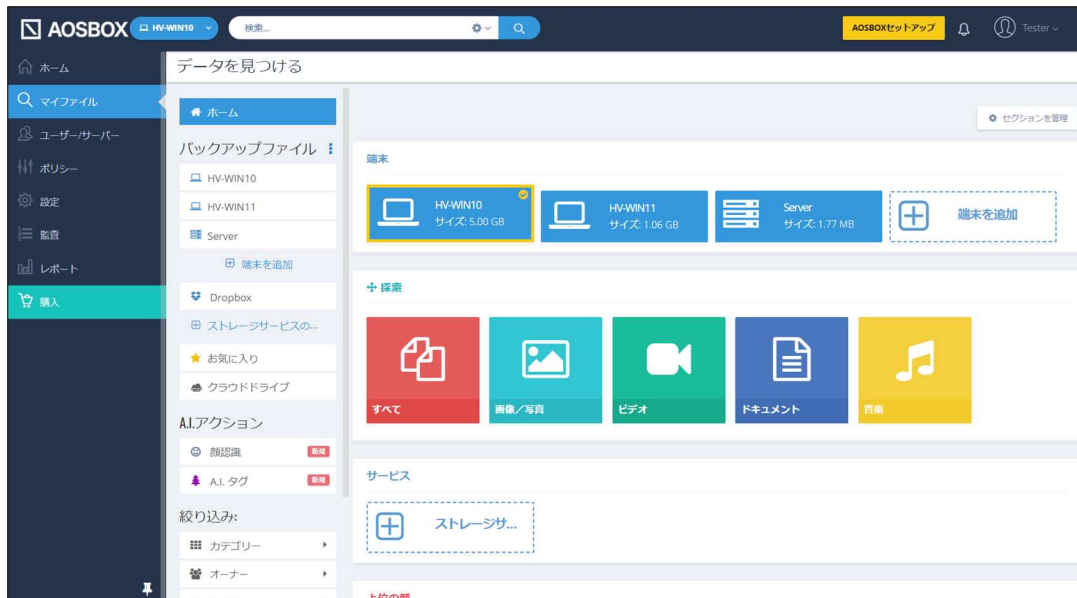


図 6-4

マイファイル画面では以下の内容を実施できます。

- バックアップしたファイル・フォルダーの一覧を表示する
- ファイル・フォルダーの一覧表示の条件を絞り込む
- バックアップしたファイル内容のプレビュー表示・ストリーミング再生を行う
- クラウドドライブにドラッグ & ドロップでファイルを直接アップロードする
- バックアップしたファイル・フォルダーをダウンロードする
- バックアップしたファイル・フォルダーを共有する
- 外部ストレージサービスに接続しファイルをバックアップする
- 自動的に分類された顔写真データを確認する
- 画像ファイルに自動的に付与されたタグを確認する

6-3-1-1 マイファイルのホーム画面

マイファイル画面の「ホーム」では、選択した端末（パソコンやサーバー）のファイルで絞り込みが可能です。

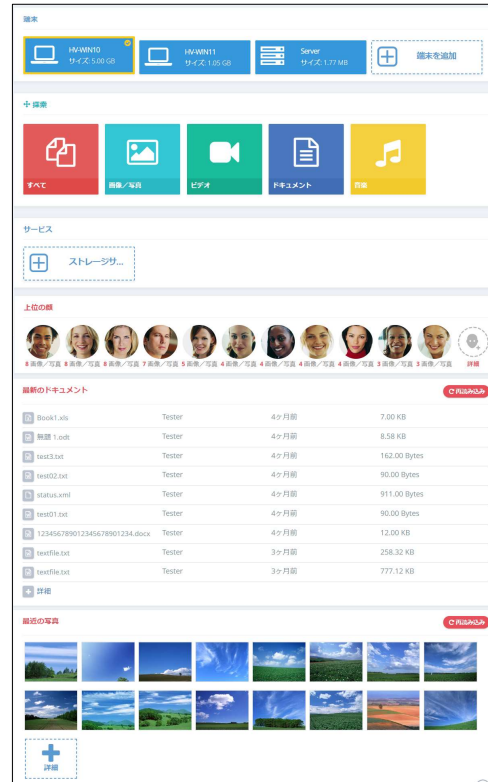


図 6-5

端末を選択し、その下にある「探索」エリアの各カテゴリーをクリックすると、そのカテゴリーに該当するファイルのみを閲覧できます。

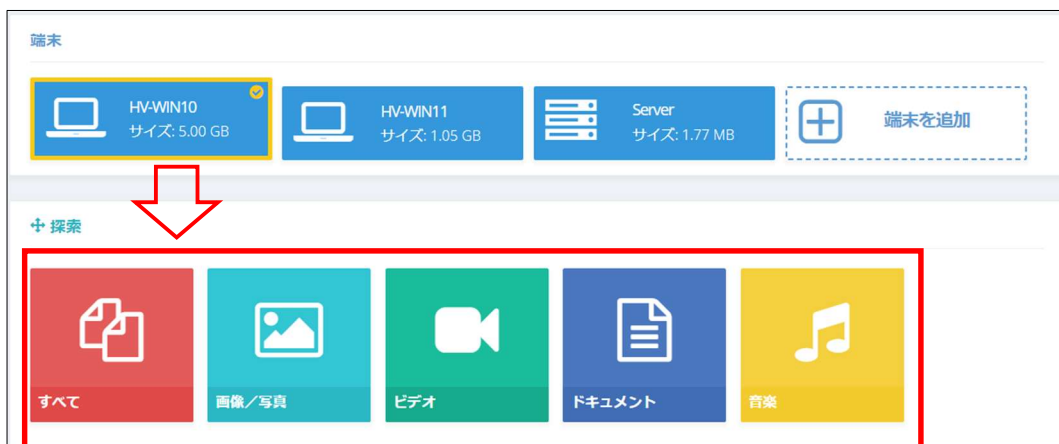


図 6-6

6-3-2 マイファイルの機能

この画面では、ログインしているユーザーがバックアップしているファイル・フォルダーの詳細を表示します。
また、この画面上でファイル・フォルダーのダウンロードを行うことができます。

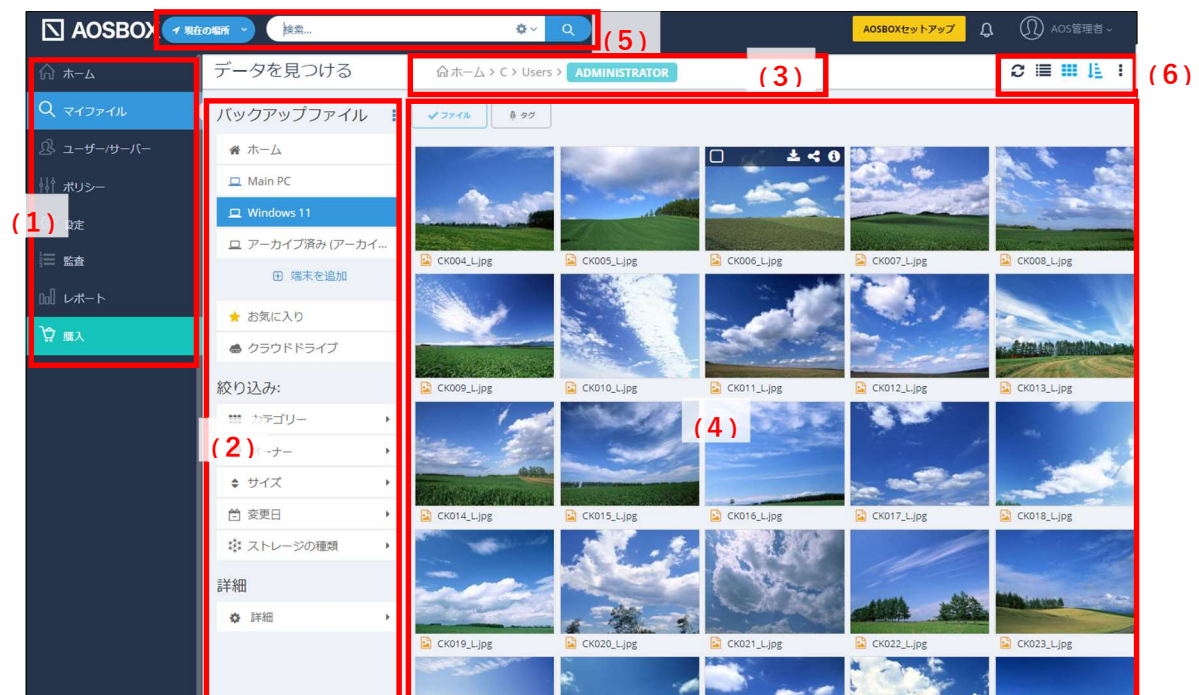


図 6-7

- (1) メインメニュータブ
それぞれの機能の画面に移動します。「6-2 メニューバー (51 ページ)」をご覧ください。
- (2) バックアップファイルメニュー
機能の詳細については「6-3-3 バックアップファイルメニュー説明 (58 ページ)」をご覧ください。
- (3) パス（フォルダーの位置）の表示
現在参照しているパスを表示します。
- (4) ファイルビュー
現在参照しているフォルダーや検索結果のファイル一覧を表示します。
- (5) 検索バー
バックアップファイルを検索することができます。検索の詳細い内容については「6-3-2-1 ファイルの検索について (56 ページ)」をご覧ください。
- (6) 操作ボタン
機能の詳細については「6-3-4 ボタン説明 (60 ページ)」をご覧ください。

6-3-2-1 ファイルの検索について

AOSBOX のファイル検索では、「ファイル名」、「タグ」、「顔認識で付与された名前」、および「ファイル内容」から、検索キーワードの部分一致にマッチするファイルを検索します。

検索されたファイル一覧の上部にあるボタンから、検索の種類を変更できます。



図 6-8

- **ファイル**
検索キーワードに部分一致するファイル名を持つファイルを一覧に表示します。
- **タグ**
検索キーワードに部分一致する、手動で付与したタグ、および A.I.タグを持つファイルを一覧に表示します。
タグの手動付与については「[6-3-9-1 タグを追加（71 ページ）](#)」、A.I.タグについては「[6-3-12 A.I.タグ（75 ページ）](#)」をご覧ください。
- **顔認識**
検索キーワードに部分一致する名前（ニックネーム）を持つ顔が含まれているファイルを、一覧に表示します。
名前を持つ顔が含まれているファイルが該当します。「[6-3-11-1 名前の指定（73 ページ）](#)」をご覧ください。
- **ファイル内容**
検索キーワードが含まれる文書ファイルを一覧に表示します。
「[4-1 インストールと初期設定（15 ページ）](#)」「[5-4OCR（テキスト読み取り）（32 ページ）](#)」で OCR の設定を行ったファイルも、ここから見つけることができます。

検索欄左のプルダウンから「自分の端末」、「すべての場所」、「既定の端末」または「現在の場所」を選択して任意のファイル・フォルダーを検索します。「既定の端末」が最初に選択されています。

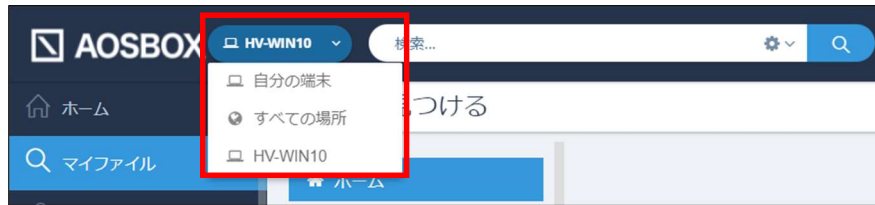


図 6-9



補足

「現在の場所」は特定のフォルダーを表示している時に選択できます。



図 6-10

また、検索する項目をあらかじめ「カテゴリー」、「ファイルサイズ」、「変更日」、およびコンピューターから削除済みかどうかで絞り込むこともできます。

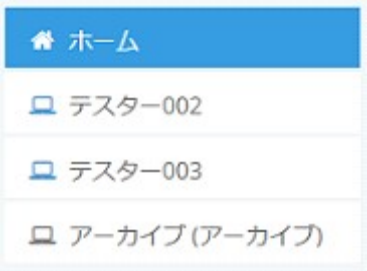


図 6-11

6-3-3 バックアップファイルメニュー説明

項目別に以下をご覧ください。

表 6-2

	メニューが表示されます。メニューから下記の操作を行うことができます。 - ユーザー/サーバーの追加 詳しくは「8 ユーザー/サーバー（92 ページ）」をご覧ください。 - ユーザーの変更 （管理者のみ）別のユーザーのバックアップデータを参照します。 - サービスを管理 接続済み外部ストレージサービスを管理します。
	- ホームを選択すると、ユーザーの全端末からバックアップされたファイルの概要を表示します。 - 端末を選択すると、その端末からバックアップされたファイル・フォルダーを表示します。
	AOSBOX アプリをダウンロードすることができます。 「4 インストールと初期設定（16 ページ）」をご覧ください。
	バックアップされた外部ストレージサービスのファイル・フォルダーを表示します。 下記の「ストレージサービスの追加」より接続することによって、そのストレージ内にあるファイルをインポートします。インポートされたファイルは、AOSBOX 内で管理され、あとでデータの検索や絞り込みを行うことが可能になります。
	クラウドストレージサービスと接続することができます。詳しくはオンラインヘルプ https://helpintelligent.aosbox.com/?p=10548 をご覧ください。
	お気に入りに登録したファイル・フォルダーを表示します。
	AOSBOX のクラウドドライブにあるファイル・フォルダーを表示します。「6-3-7 クラウドドライブ（67 ページ）」をご覧ください。
	顔認識機能を表示します。「6-3-11 顔認識（73 ページ）」をご覧ください。
	A.I.タグ機能を表示します。「6-3-12A.I.タグ（75 ページ）」をご覧ください。

絞り込み:

- 📊 カテゴリー ▶
- 👤 オーナー ▶
- 📏 サイズ ▶
- 📅 変更日 ▶
- 📁 ストレージの種類 ▶

表示されているファイルの絞り込みを行います。

「カテゴリー」で選択した項目によっては、絞り込み可能な項目が増えることがあります。

データ管理

- ⚙️ 詳細 ▼
- 🔗 共有されている項目
- 🔧 共有している項目の...
- ❄️ コールドストレージ
- 🗑️ ごみ箱

詳細機能より行えるのは以下の通りです。

- 共有されている項目：他のユーザーから共有されたファイル・フォルダーを表示します。
- 共有している項目の管理：他のユーザーに共有したファイル・フォルダーの管理が行えます。
- コールドストレージ：復元待機中、または復元可能なコールドストレージのファイルを表示します。
- ごみ箱：ごみ箱に移動したファイル・フォルダーを表示します。

6-3-4 ボタン説明

項目別に以下をご覧ください。

表 6-3

下記のボタンは、ファイルを選択時に表示されます。	
	現在選択しているファイル・フォルダーをごみ箱に移動します。
	現在選択しているファイル・フォルダーを共有します。 「 6-3-6 共有（62 ページ） 」をご覧ください。
	現在選択しているファイル・フォルダーをダウンロードします。
下記のボタンは常時表示されます。	
	画面の再読み込み（更新）を行います。
	ファイル・フォルダーの表示形式（リスト表示/グリッド表示）を変更します。
	ファイル・フォルダーの表示順を変更します。※左記のボタンは一例です。
	クリックすることで追加メニューを表示します。 i 詳細 🔍 削除されたファイルも含む 🔍 削除されたファイルのみ... 📄 キーボードショートカット ・ 詳細：ファイル・フォルダーの詳細情報を表示します。 ・ 削除されたファイルも含む：バックアップ後にパソコン上から削除したファイル・フォルダーの表示/非表示を行います（削除されていないファイル・フォルダーも表示されます）。 ・ 削除されたファイルのみを表示：バックアップ後にパソコン上から削除したファイル・フォルダーのみの表示をする/しないを選択します。 ・ キーボードショートカット：使用可能なキーボードショートカットの一覧を表示します。

6-3-5 右クリック時説明

ファイル・フォルダー上で右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

項目別に以下をご覧ください。

表 6-4

 プレビュー	現在選択しているファイルのプレビュー画面を表示します。 「 6-3-13 プレビュー（76 ページ） 」をご覧ください。
 共有	現在選択しているファイル・フォルダーを共有設定にします。 「 6-3-6 共有（62 ページ） 」をご覧ください。
 共有可能リンクの取得	現在選択しているファイル・フォルダーのリンクを取得します。 「 6-3-6-2 共有を開始（リンク作成）（64 ページ） 」をご覧ください。
 タグを追加	現在選択しているファイル・フォルダーのタグを追加します。
 クラウドドライブにコピー	現在選択しているファイル・フォルダーをクラウドドライブにコピーします。 「 6-3-7 クラウドドライブ（67 ページ） 」をご覧ください。
 お気に入り登録	現在選択しているファイル・フォルダーをお気に入りに登録します。
 世代を表示	現在選択しているファイルの世代を表示します。 「 6-3-10 世代（72 ページ） 」をご覧ください。
 ダウンロード	現在選択しているファイル・フォルダーをダウンロードします。
 削除	現在選択しているファイル・フォルダーをごみ箱に移動します。
 リモート復元	現在選択しているファイル・フォルダーをリモート復元します。 「 7-4 リモート復元（89 ページ） 」をご覧ください。
 OCRを試行	現在選択しているファイルに対して OCR を行います。JPG/TIF 画像、または PDF ファイルを選択している場合にのみ表示されます。 「 6-3-8 OCR を試行（68 ページ） 」をご覧ください。
 詳細	現在選択しているファイル・フォルダーの詳細を表示します。 「 6-3-9 詳細（70 ページ） 」をご覧ください。

6-3-6 共有

共有機能を用いて、AOSBOX でバックアップを行っているファイル・フォルダーの内容を、第三者に共有することが可能です。



注意

コールドストレージ内のファイルの共有は、ビデオ、音楽、および画像に限られ、圧縮されたデータとして共有します。

6-3-6-1 共有を開始（ユーザー/メールアドレス）

ファイル共有の手順について「ユーザー/メールアドレス」の共有方法を例にご説明します。

- 共有するファイル/フォルダーを右クリックし共有を選択するか、共有するファイル/フォルダーをマークし、ファイル/フォルダー一覧上部にある共有アイコンをクリックします。



図 6-12

- 「共有」ウィンドウが表示され、次の共有方法を選択し、共有設定を追加することができます。

共有方法

- ユーザー/メールアドレス
データを共有するユーザーの名前を、AOSBOX アカウントの下にユーザーとして既に追加されている場合はそれを入力するか、またはデータを共有する方のメールアドレスを入力します。AOSBOX は、選択したユーザーにメールを送信します。メールには共有名と AOSBOX ページにつながるリンクが含まれ、受信者は共有ファイル/フォルダーを表示することができます。

メールアドレス、またはユーザー名を入力すると、同時に送るメッセージの欄が表示されます。任意でメッセージを指定します。

- リンク作成
リンクをコピーして、ファイル/フォルダーを共有したい方に送信します。
「[6-3-6-2 共有を開始（リンク作成）（64 ページ）](#)」をご覧ください。

詳細設定

- パスワードを設定する
共有ファイルにアクセスするためのパスワードを設定します。共有ファイルの表示およびダウンロードの際にパスワードの入力が必要になります。
- ダウンロードされたことを通知する
ファイルがダウンロードされるたびに、その時間のタイムスタンプ（日付と時刻）と共に、アカウントがリンクされているメールアドレス宛にメールが送信されます。
- 有効期限の選択
有効期限を指定し、この日以後は共有をしないようにします。
※期限切れとなる日を指定します。アクセス可能なのは、ここで指定する日付の前の日までとなります。
- ファイルのダウンロードを許可しない（表示のみ）
有効にすると共有されたファイルはダウンロードできず、Web 上からの閲覧・ストリーミング再生のみが可能となります。

3 「共有」をクリックすると、選択した相手のメールアドレス宛に共有ファイル・フォルダーにアクセスするためのリンクを含むメールが送信されます。

図 6-13

6-3-6-2 共有を開始（リンク作成）

共有リンクの作成を行うには、次の二通りの方法があります。

- 共有するファイル/フォルダーを右クリックし共有を選択するか、共有するファイル/フォルダーをマークし、ファイル/フォルダー一覧上部にある共有アイコンをクリックします。その後、共有ウィンドウで「リンク作成」をクリックします。
- 共有するファイル/フォルダーを右クリックし「共有可能リンクを取得」をクリックすると、選択したファイル/フォルダーのリンクが生成されます。

このリンクをメールやチャット、SNS などを通して共有相手に送信します。共有相手は、このリンクをクリックすることで共有ファイルを開いたり、ダウンロードすることができます。

「高度な設定を表示」をクリックすると、ユーザー/メールアドレスで共有する場合と同様に、パスワードや有効期限を設定してセキュリティを高めることができます。設定項目の詳細については、「[6-3-6-1 共有を開始（ユーザー/メールアドレス）](#)（62 ページ）」の詳細設定をご覧ください。



図 6-14

6-3-6-3 共有ファイルにアクセスする

ファイルの共有先ユーザー（共有の相手）は、下記に示す方法で共有されたファイルにアクセスすることができます：

方法 1：送信されたメールから

共有元のユーザーが「ユーザー/メールアドレス」タブから、ユーザーまたはメールアドレスを指定して共有を行った場合は、該当のユーザーまたはメールアドレス宛に共有ファイルにアクセスするためのリンクを含むメールが送信されます。

リンクをクリックすることで、共有されたファイルにアクセスすることができます。

方法 2：Web 管理画面から

共有元のユーザーが「ユーザー/メールアドレス」タブから、ユーザーを指定して共有を行った場合は、Web 管理画面に共有先のユーザーでログインし、「マイファイル」タブ内の「共有されている項目」からアクセスすることができます。

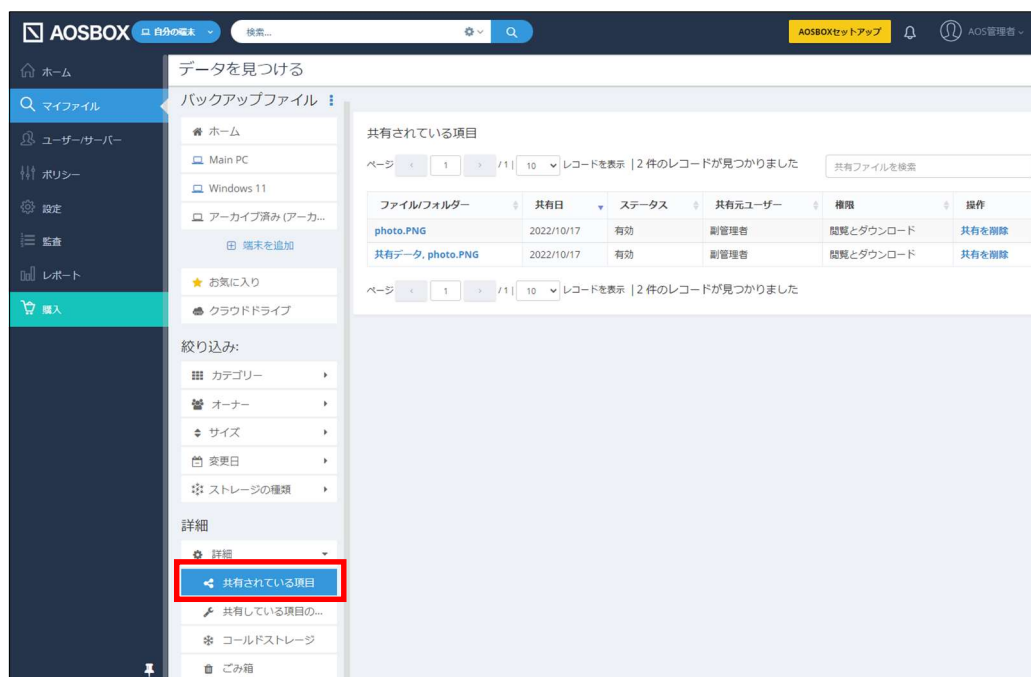


図 6-15

方法 3：URL を直接開く

共有元のユーザーが「リンクを作成」タブから共有リンクを生成した場合、共有元のユーザーがそのリンクを、SNS 等を経由して共有先のユーザーに知らせることで、共有先のユーザーが共有されたファイルにアクセスできるようになります。

6-3-6-4 共有を終了

共有する必要のなくなったファイルは、セキュリティ保持のために共有を終了することを推奨します。

共有を終了するには、Web 管理画面に共有先のユーザーでログインし、「マイファイル」タブ内の「共有している項目の管理」から該当の共有項目のごみ箱アイコンをクリックします。

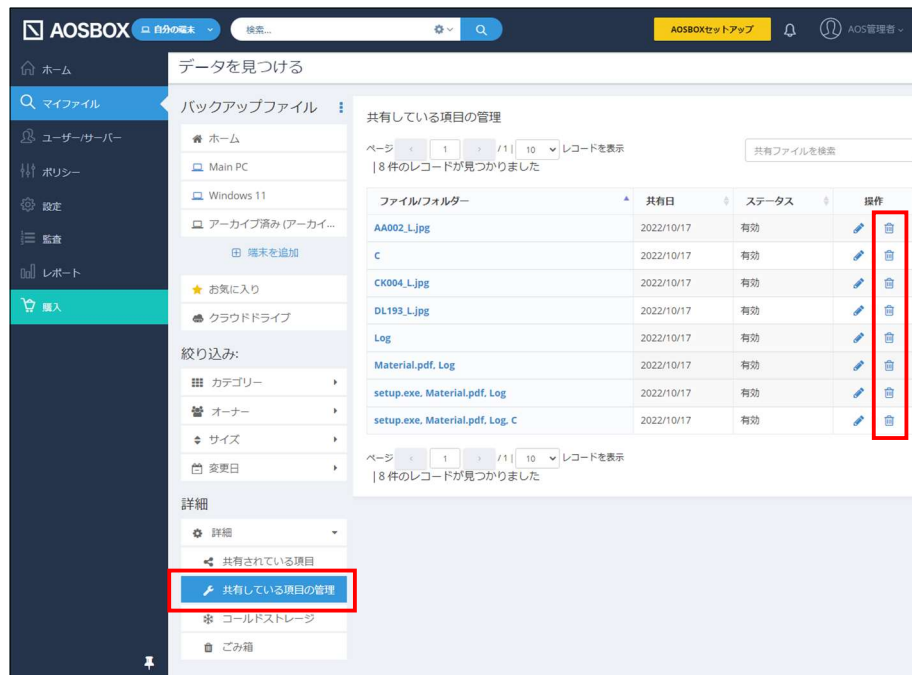


図 6-16



補足

ステータスが「共有終了」となっている共有項目は、指定した有効期限が切れたものとなります。

6-3-7 クラウドドライブ

AOSBOX のクラウドドライブ（以下、クラウドドライブ）は、Web ブラウザーにファイルやフォルダーをドラッグ & ドロップすることで、オンラインストレージに直接アップロードすることができる場所です。また、バックアップ済みのファイルやフォルダーを整頓する用途でクラウドドライブにコピーすることもできます。



クラウドドライブの使用は、通常のストレージをご契約の方に限られます。

6-3-7-1 クラウドドライブ画面で表示されるボタン

クラウドドライブでは、クラウドドライブのみで表示される上部ボタンが 2 種類あります。

表 6-5

	クラウドドライブにファイルをアップロードします。
	クラウドドライブにフォルダーを新規作成します。

6-3-7-2 クラウドドライブへのアップロード

クラウドドライブを利用して、AOSBOX アプリをパソコンにインストールしていなくても、Web ブラウザーで直接ファイルをアップロードできます。

- 1 マイファイル画面内のファイルが一覧で表示されている状態にします。
- 2
 - (1) 右側ペインのファイル一覧に、Windows エクスプローラーなどからファイルやフォルダーを
 - (2) ドラッグ & ドロップします。
 または、右側ペインのクラウドドライブのファイル一覧上部のアップロードボタンをクリックし、目的のファイルを参照し、「開く」をクリックします。



ブラウザーによっては、ドラッグ & ドロップしてアップロードすることをサポートしていないことがあります。[「1-1-1 動作環境（6 ページ）」](#)で示されているブラウザー Mozilla Firefox/Google Chrome/Microsoft Edge のいずれかを使用してください。これらのブラウザーでは、ファイルやフォルダーをそのままドラッグ & ドロップしてアップロードすることができます。

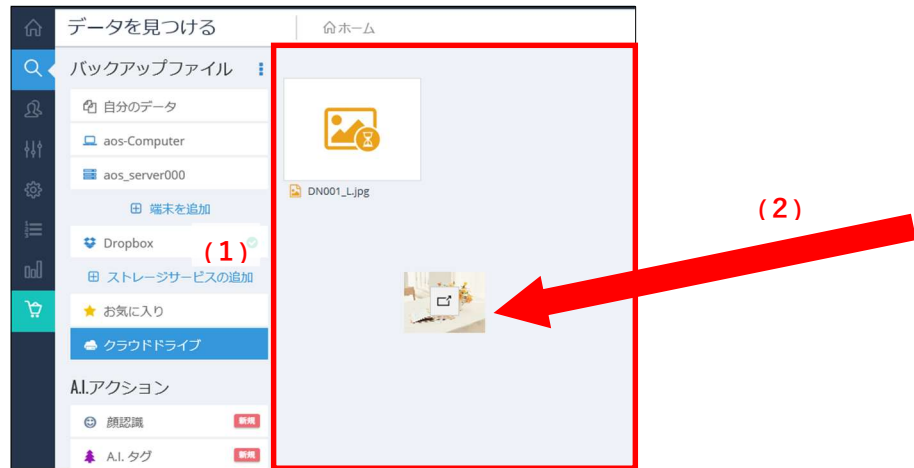


図 6-17

6-3-7-3 バックアップ済のファイルをクラウドドライブにコピー

また、通常のストレージにバックアップ済みのデータをクラウドドライブにコピーすることも可能です。

- 1 ファイル/フォルダーがある端末名をクリックして、そのファイルの場所を参照します。
- 2 「クラウドドライブ」に、目的のファイルやフォルダーをドラッグ＆ドロップします。

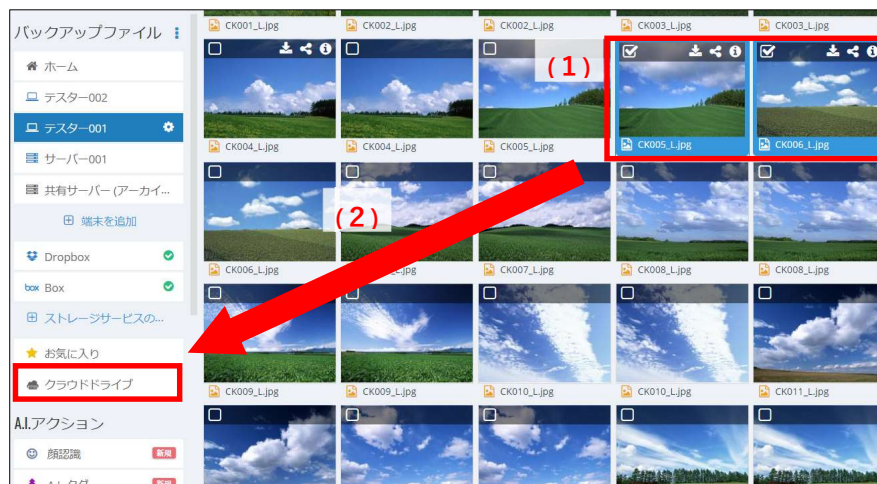


図 6-18

6-3-8 OCR を試行

通常のファイルとしてバックアップ済みのファイルや、クラウドドライブにアップロードしたファイルに対して、直接 OCR を行うことができます。

1 OCR を行うファイルを右クリックして **OCR を試行** を選択します。

2 言語を選択します。

3 はい をクリックします。

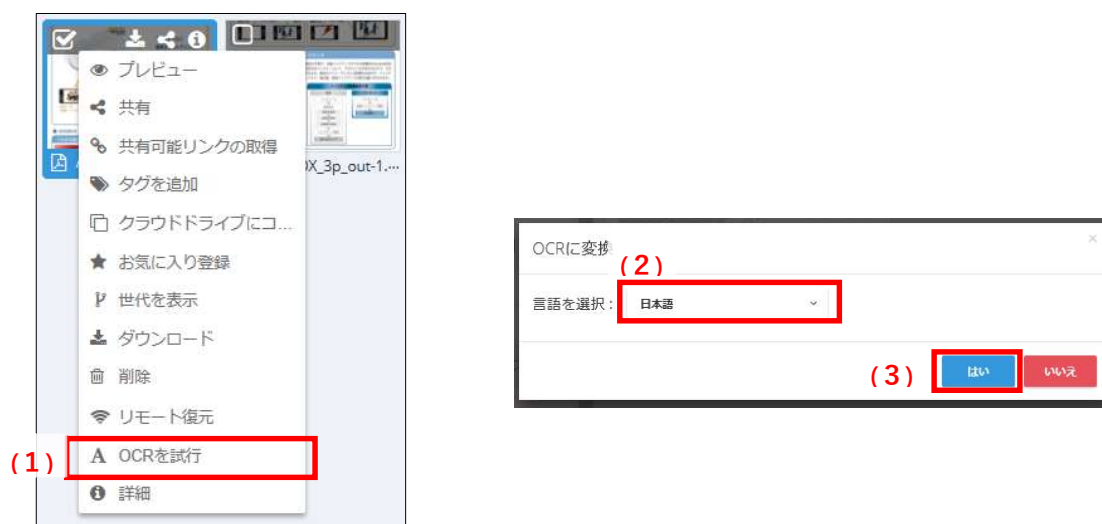


図 6-19

OCR が施行されたファイルは[OCR]のマークが追加され、プレビューの際に OCR を行ったファイルとして扱うことができます。詳しくは「[6-3-13-4 文書ファイル・OCR プレビュー（79 ページ）](#)」をご覧ください。



図 6-20

6-3-9 詳細

特定のファイルに関する詳細な情報を表示するには、該当のファイルを選択し詳細アイコンをクリックします。

選択したファイルに関する詳細な情報がページの右側に表示されます。

なお、この表示の中央のボタンよりダウンロード・共有・削除も可能です(1)。



図 6-21

ボタン（詳細表示）説明

表 6-6

	現在選択しているファイル・フォルダーをダウンロードします。
	現在選択しているファイル・フォルダーを共有します。 「 6-3-6 共有（62 ページ） 」をご覧ください。
	現在選択しているファイル・フォルダーをごみ箱に移動します。

6-3-9-1 タグを追加

ファイルを任意のカテゴリーに振り分けて管理する場合、タグを使用することによって、管理し易くなります。
割り振ったタグは、検索欄からの絞り込みが可能になります。

- **タグを追加**
[+タグを追加] フォームにタグとして追加したい文言を入力し、キーボードの「Enter」キーを押下することで該当のファイルにタグを追加できます。
- **タグの削除**
追加後のタグの [×] ボタンを押下することで削除が可能です。
- **タグの編集**
編集ボタンでタグの編集ができるようになります。
※タグ中にあるテキスト編集はできません。その場合は、タグの削除・追加を行ってください。

6-3-9-2 A.I.タグの表示

A.I.タグ機能によって付与された A.I.タグを、ここで確認することができます。

A.I.タグ機能については、「[6-3-12 A.I.タグ（75 ページ）](#)」をご覧ください。

6-3-10 世代

AOSBOX は、ファイルを増分的にバックアップしますので、バックアップした後それらのファイルが変更され、次のバックアップが行われると、そのファイルは新しい世代としてバックアップされます。

世代の保持設定により、古い世代のファイルの保持数・保持期間を設定することができ、設定保持数以上になるか、保持期間が過ぎると古い世代のファイルは AOSBOX ストレージ上では削除されます。

世代の保持設定の詳細は「[12-1 保持設定（154 ページ）](#)」をご覧ください。

6-3-10-1 古い世代ファイルのダウンロード

マイファイル画面ではファイルの古い世代をダウンロードすることができます。

- 1 [検索]を使用して復元するファイル/フォルダーを検索するか、復元するファイル/フォルダーがある端末名をクリックして、その場所を参照します。
- 2 そのファイルを右クリックしてメニューから「世代の表示」をクリックします。
もしくは、そのファイルの詳細ボタンをクリックし、画面の右側にある「世代」をクリックします。
- 3 ダウンロードしたい世代の「ダウンロード」をクリックします。



図 6-22

6-3-11 顔認識

AOSBOX では、アップロードされた写真を解析し、写真に写っている顔（人物）を認識します。この機能は人物ごとの写真の管理を容易化できます。

「マイファイル」タブの「顔認識」をクリックすると、右側に認識された顔の一覧がサムネイルで表示されます。

顔のサムネイルをクリックすると、その人物が写っている画像が一覧表示されます。一緒に写っているとされる人物の一覧が上部に表示されます。



図 6-23



補足

顔認識は、下記の特性を持つ写真をいずれかのストレージ（通常のストレージ、コールドストレージ、およびクラウドドライブ）にアップロードしたときに自動的に行われます。

- 解像度が 1024 x 1024 ピクセル以上
- 写真ファイルのサイズが 120KB 以上
- 顔と認識できる領域が 200 ピクセル以上

6-3-11-1 名前の指定

顔のサムネイルをマウスオーバーすると「（１）鉛筆アイコン」が表示されるので、クリックすると名前（ニックネーム）を指定できます。

名前を指定しなくても、顔が写っている写真の絞り込みなどは可能ですが、名前を指定すると検索欄から名前で検索できるようになります。

6-3-11-2 メニュー

上部のメニューから、顔のサムネール一覧の動作を選択可能です。

- (2) グループ化：2 つ以上の顔を選択してグループ化する。
- (3) グループを解除：グループ化を解除する。
- (4) 顔を非表示：選択した写真を非表示にする。
- (5) 顔を再表示：非表示にした写真を再表示する（「非表示の顔の表示」を有効にしないと操作不可）
- (6) 非表示の顔を表示：非表示にした写真を半透明で表示する。

複数の顔を選択するには、顔のサムネールをマウスオーバーし、(7) 左上の□をクリックすると、チェックが入ります。



図 6-24

6-3-12 A.I.タグ

AOSBOX のアカウントに写真をアップロードするたびに、AOSBOX はそれら分析し、その中のオブジェクトを理解し、検索可能なコンテンツとしてそれらを追加します。目的の写真を見つけるためにフレーズを探し、一度にすべての写真を見ることができません。

「マイファイル」タブの「A.I.タグ」をクリックすると、A.I.タグの一覧が表示されます。

A.I.タグボックスでは、AOSBOX の自動的に検出されたすべてのタグが見つかります。これらのタグを検索して、関連付けられた画像を取得することができます。

- (1) Top タブ：登録されているタグ名称が一覧で表示されます。
- (2) すべてタブ：登録されているタグが一覧で表示され、タグの「名前」「関連度」を確認できます。
- (3) タグを検索：検索したいタグ名を入力することで、タグの検索ができます。

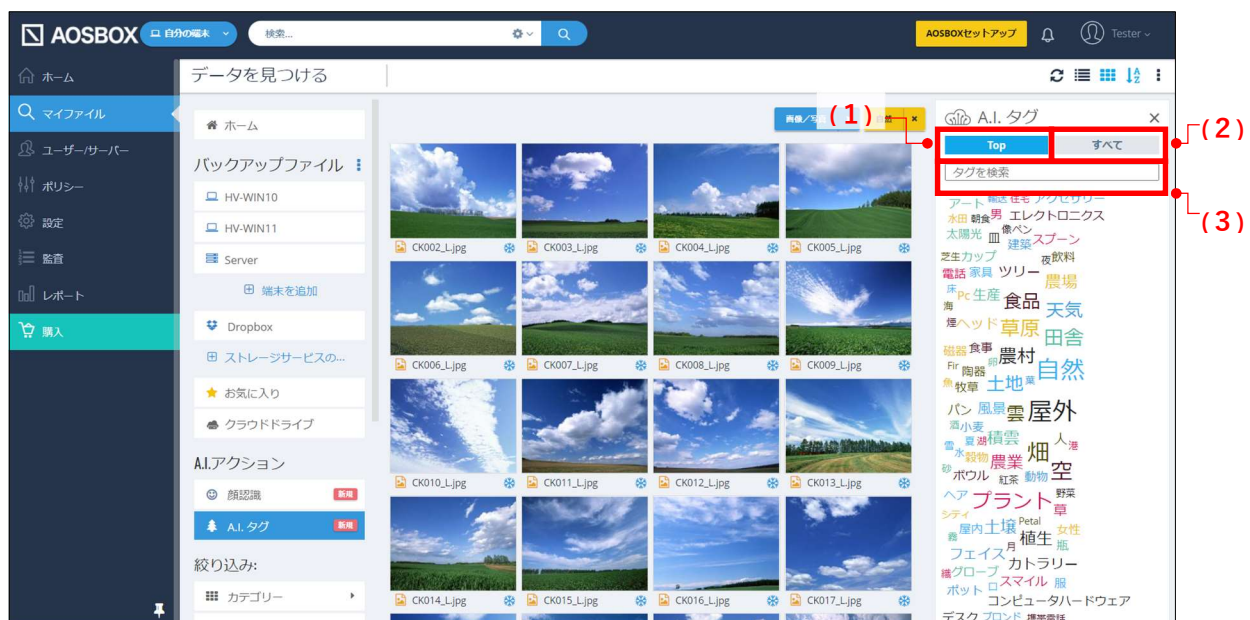


図 6-25



補足

A.I.タグは、下記の特性を持つ写真をいずれかのストレージ（通常のストレージ、コールドストレージ、およびクラウドドライブ）にアップロードしたときに自動的に付与されます。

- 解像度が 1024 x 1024 ピクセル以上
- 写真ファイルのサイズが 120KB 以上

6-3-13 プレビュー

ファイルビューよりファイルをクリックするとプレビュー画面が表示されます。

バックアップファイルのファイルの内容を、ファイルをダウンロードしなくても Web 管理画面上で確認できる機能です。

- (1) 戻るボタン：ファイルビューに戻ります。
- (2) ボタン（プレビュー）：ボタンに対応する操作が行えます。
「6-3-13-1 ボタン（プレビュー）（77 ページ）」をご覧ください。
- (3) メニュー（プレビュー）：メニュー内容に対応する操作が行えます。
「6-3-13-2 メニュー（プレビュー）（77 ページ）」をご覧ください。
- (4) 前のファイルボタン：前のファイルのプレビューを表示します
- (5) 次のファイルボタン：次のファイルのプレビューを表示します。
- (6) 背景色切替ボタン：背景色を白・黒に変更します。プレビューが見えづらい場合に使用します。
- (7) 拡大/縮小ボタン：プレビュー内容の拡大/縮小を行います
- (8) ファイル一覧プレビューのオン/オフ：下部のファイル一覧の表示・非表示を変更します。
- (9) ファイル一覧プレビュー：ファイルビューで表示されたファイルが一覧で表示されます。



図 6-26

6-3-13-1 ボタン（プレビュー）

プレビュー画面の上部にはボタンが表示されます。ボタンの機能は下記の通りです。

表 6-7

	現在プレビューしているファイルをダウンロードします。
	現在プレビューしているファイルを共有します。 「 6-3-6 共有（62 ページ） 」をご覧ください。
	現在プレビューしているファイルをお気に入りに登録します。

6-3-13-2 メニュー（プレビュー）

右上の  ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

表 6-8

 クラウドドライブにコピー	現在プレビューしているファイルをクラウドドライブにコピーします。 「 6-3-7 クラウドドライブ（67 ページ） 」をご覧ください。
 タグを追加	現在プレビューしているファイルのタグを追加します。
 削除	現在プレビューしているファイルをゴミ箱に移動します。
 リモート復元	現在プレビューしているファイルをリモート復元します。 「 7-4 リモート復元（89 ページ） 」をご覧ください。
 詳細	現在プレビューしているファイルの詳細をプレビュー画面上に表示します。



注意

ファイル形式によっては、一部メニュー項目は表示されません。

6-3-13-3 ビデオ

プレビュー画面では、バックアップを行ったビデオファイルを再生することができます。

- (1) 画質ボタン：画質を変更できます。
- (2) ビデオ再生機能：ビデオの再生等を行います。

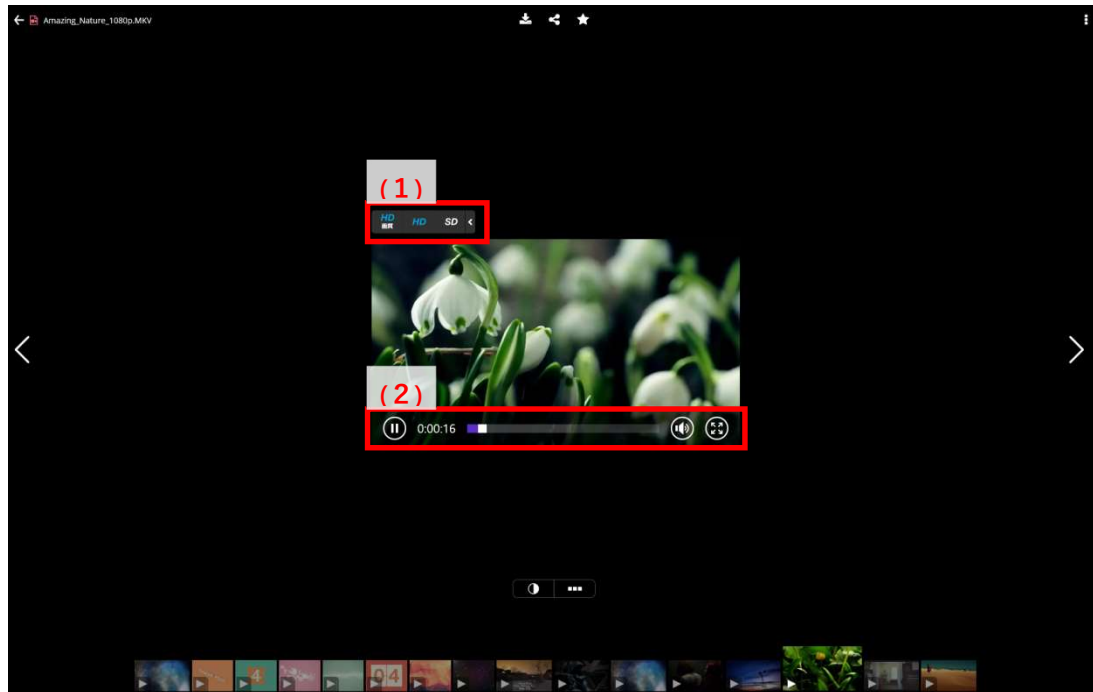


図 6-27



補足

ご契約のプランによっては、画質ボタンは表示されません。
ビデオ再生機能は、ブラウザによって表示が異なります。

6-3-13-4 文書ファイル・OCR プレビュー

文書ファイルや、OCR を行ったファイルをプレビューする場合は、下記のボタンが追加されます。

表 6-9

文章ファイルをプレビューした場合に表示されるボタン	
	(1) 中を見る ファイルの内容を表示します。 文書ファイルの内容を確認したい場合にクリックします。
	(2) 検索結果 ファイル検索時、文書ファイルの内容や OCR の結果から見つかった検索ワードをハイライトで表示します。 ※「6-3-2-1 ファイルの検索について (56 ページ)」にて「ファイル内容」を選択したときに表示されているファイルをプレビューした場合に有効です。
OCR を行ったファイルをプレビューした場合に表示されるボタン	
	(3) テキストファイルにエクスポート OCR の全文抽出結果をテキストファイルにて出力（ダウンロード）します。



図 6-28

7-1 復元方法

AOSBOX ではバックアップデータの復元方法として、下記の方法がございます。

「アプリから復元を行う方法」

アプリ上からバックアップされているデータを、パソコンに復元します。
元のフォルダーに復元したり、大容量のファイルを一括で復元に向いています。
詳細は[「7-2 アプリからの復元（81 ページ）」](#)をご覧ください。

「Web 管理画面からダウンロードし復元を行う方法」

Web 管理画面からバックアップされているデータを、直接ダウンロードします。
特定のファイルのみを復元したい場合に向いています。
詳細は[「7-3 Web 管理画面から復元（86 ページ）」](#)をご覧ください。

「Web 管理画面からリモート復元を行う方法」

Web 管理画面からの操作でバックアップされているデータを、アプリを介して直接パソコンに復元します。
詳細は[「7-4 リモート復元（89 ページ）」](#)をご覧ください。

7-2 アプリからの復元

アプリからバックアップデータを復元する方法を説明します。



注意

コールドストレージの場合、復元開始後に実際に復元可能になるまで 3～5 時間以上の待機時間が発生します。

また、ファイルそれぞれに個別の待機時間があります関係で、複数のファイルを同時に復元する際にすべて同時に復元可能にならないことがあります。この場合は、それらのファイルが復元可能になるまでそのまま待機してください。

- 1 AOSBOX アプリを起動してホーム画面で「復元」をクリックし、復元ユーティリティのウィンドウを表示します。
- 2 復元したいデータがある端末を、プルダウンメニューから選択します。
- 3 フォルダアイコンをクリックして、復元したいデータがあるフォルダを表示して、対象のファイル・フォルダを選択します。
- 4 「>>」をクリックして復元対象にファイル・フォルダを追加します。
- 5 「次へ→」をクリックします。

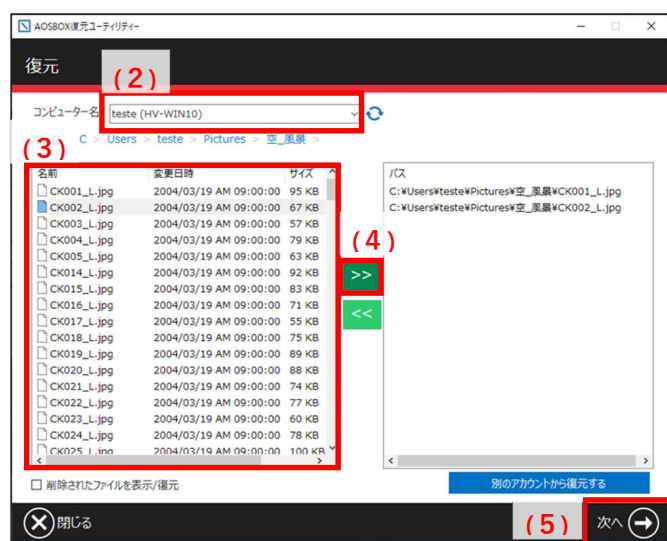


図 7-1



補足

「(世代の表示)」をクリックすると、復元したい世代を選択することもできます。
世代を選択した場合は、右図の「✓」をクリックします。

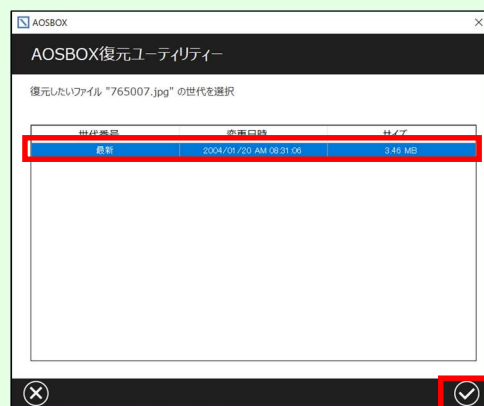
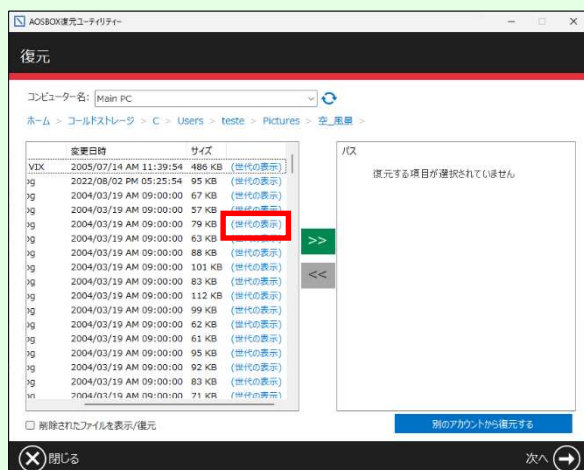


図 7-2

「別のアカウントから復元する」をクリックして、現在のパソコンに登録しているアカウントとは別のアカウントから復元を行うことも可能です。

復元したいデータがあるアカウントの情報を入力します。以降の手順は通常の復元と同じです。

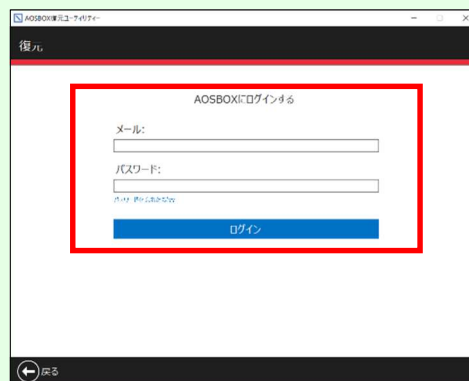
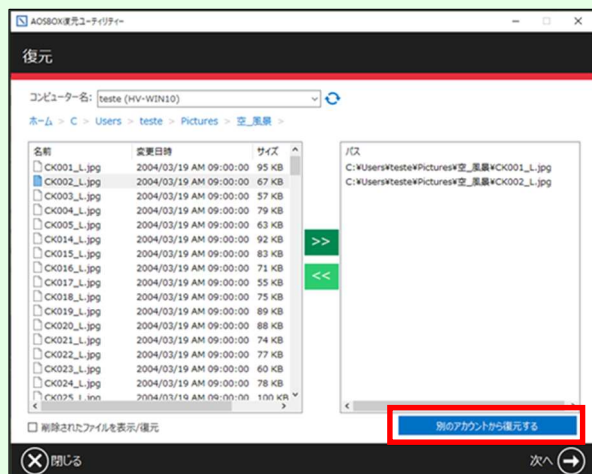


図 7-3

復元対象のファイル・フォルダーを復元対象から除外する場合は、同じ画面で、復元対象となっている右のパスに表示されたファイル・フォルダーを選択し、「<」をクリックして、復元対象から外します。

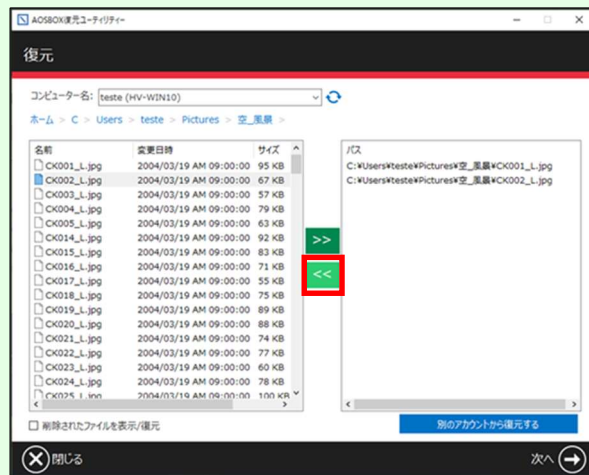


図 7-4

パソコンから削除されているファイルを復元するには、「削除されたファイルを表示/復元」にチェックを入れます。この設定は、すべてのフォルダーに適用されます。

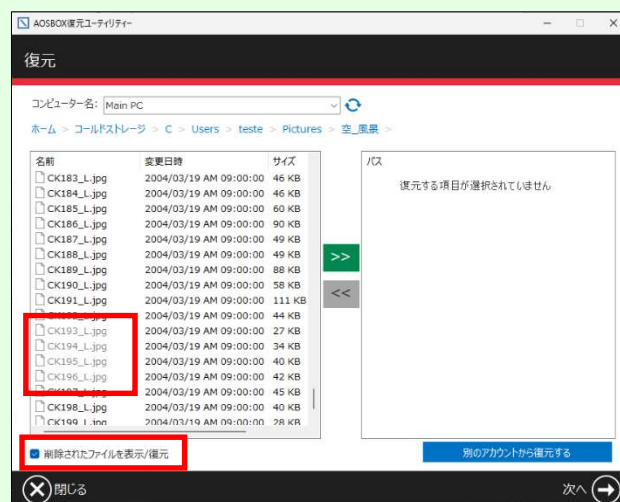


図 7-5

6

ファイル・フォルダーを復元する場所を選択します。

別の場所に復元する場合は、「参照」をクリックして保存場所を指定します。

必要に応じて、下記オプションを選択します。

- マルチスレッドでダウンロードする

ダウンロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。通常はチェックを外しておいてください。

(※コールドストレージの待機時間は短縮されません)

- デュアルバックアップの場所

デュアルバックアップを設定している場合、ここにデュアルバックアップ先の場所が表示されます。この場所が利用可能である場合は、ファイルはここから復元されます。

- 復元する日付の範囲

チェックを入れて開始日と終了日を設定すると、復元するファイルの日付範囲を限定することができます。希望に応じて「最終更新日を使用する」、または「バックアップ日を使用する」を選択してください。

7

「既存ファイルの置き換え指定」をクリックすると、復元先でファイル・フォルダーが重複した場合の処理を選択できます。

- 「バックアップしたファイルの日付が新しい場合のみ、ファイルを置換する」

復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルを比較して、復元しようとしているファイルの方が新しい場合のみ、新しいファイルでパソコン上のファイルを上書きします。

- 「すべてのファイルを置換しない」

復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルが重複した場合、そのファイルは復元しません。

- 「すべてのファイルを置換する（ファイルは上書きされます）」

復元しようとしているファイルとパソコン上のファイルが重複した場合、ファイルの新旧にかかわらずクラウドでバックアップしていたファイルでパソコン上のファイルを上書きします。

8

「次へ→」をクリックすると、復元を開始します。

図 7-6



注意

コールドストレージからの復元の場合、下記の画面が表示されます。

ダウンロードが開始可能になるまで、3～5 時間以上の時間を要します。パソコンの電源は入れたままにしておいてください。ファイルそれぞれに個別の待機時間があります関係で、複数のファイルを同時に復元する際にすべて同時に復元可能にならないことがあります。この場合は、それらのファイルが復元可能になるまでそのまま待機してください。

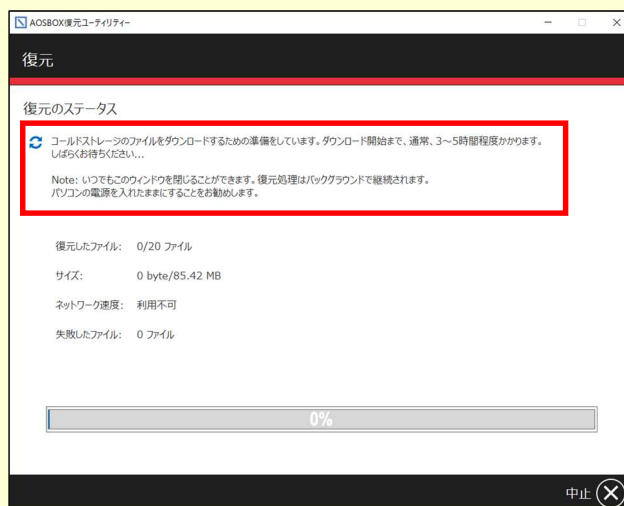


図 7-7

9

復元が完了すると、「復元が完了しました。」と表示されます。

「完了✓」をクリックして、ホーム画面に戻ります。

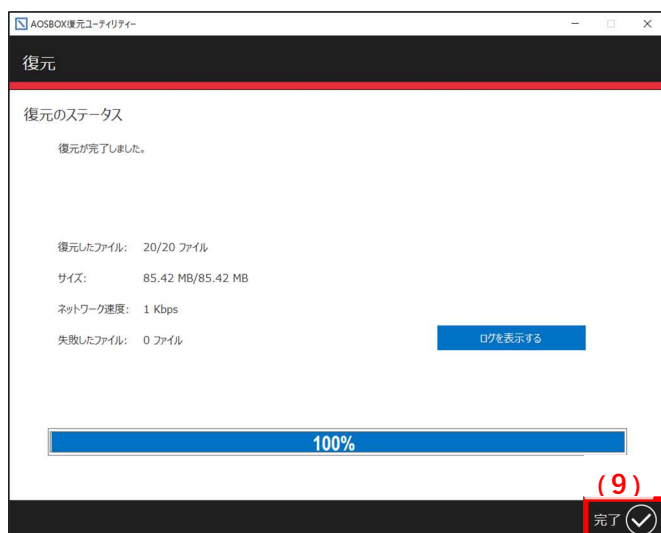


図 7-8

7-3 Web 管理画面から復元

Web 管理画面から、特定のファイルやフォルダーを復元（ダウンロード）します。



注意

コールドストレージから元のデータを復元する場合、復元開始後に実際に復元可能になるまで 3～5 時間以上の待機時間が発生します。

1 Web 管理画面のマイファイルへ移動します。

2 復元したいデータがある端末名を選択します。

3 復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーを右クリックします。

4 「ダウンロード」をクリックします。

通常のストレージから復元する場合、ブラウザ標準のダウンロードメッセージが表示されますので、そこから復元したファイルを見ることができます。これで復元は完了です。

コールドストレージから復元する場合、次の手順に進みます。



図 7-9

5 ダウンロードするファイルデータを選択します。

プレビュー可能なメディアファイル（写真、音楽、およびビデオ）の場合、圧縮済みデータを復元するか、元のデータを復元するかを選択できます。

圧縮済みデータを復元することを選択した場合、ブラウザ標準のダウンロードメッセージが表示されますので、そこから復元したファイルを見ることができます。これで復元は完了です。

元のデータを復元することを選択、またはメディアファイル以外の場合、復元待機時間が発生します。次の手順に進みます。



図 7-10

6 復元待機時間経過後に送信されるメール内のリンクをクリックします。



図 7-11

7 復元したいファイル・フォルダーを右クリックします。

8 「ダウンロード」をクリックします。

ブラウザ標準のダウンロードメッセージが表示されますので、そこから復元したファイルを見ることができます。これで復元は完了です。

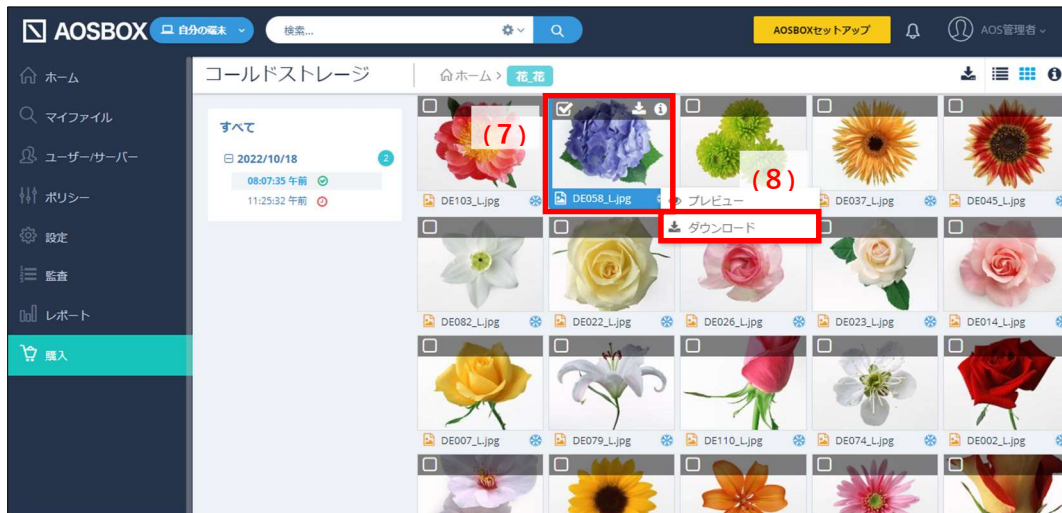


図 7-12

補足

復元準備完了後 5 日以内は、待機時間なく何度でも復元できます。

もう一度復元する際は、「マイファイル」タブ内の「コールドストレージ」からアクセスできます。

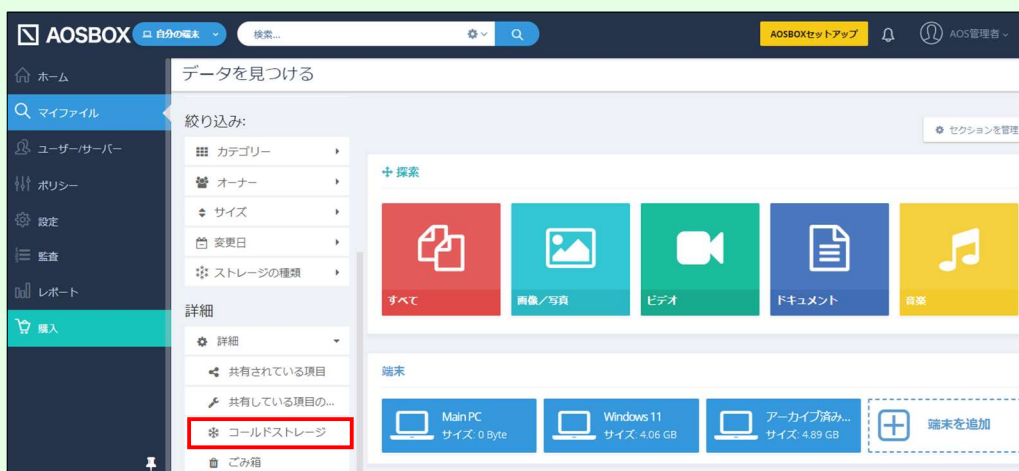


図 7-13

7-4 リモート復元

リモート復元は、Web 管理画面からの操作でバックアップされているデータを、直接パソコンに復元する機能です。
Web 管理画面よりアプリを介してバックアップデータを復元する方法を説明します。
復元先は AOSBOX アプリがインストールされているパソコンとなります。



注意

コールドストレージの場合、復元開始後に実際に復元可能になるまで 3～5 時間以上の待機時間が発生します。
また、ファイルそれぞれに個別の待機時間があります関係で、複数のファイルを同時に復元する際にすべて同時に復元可能にならないことがあります。この場合は、それらのファイルが復元可能になるまでそのまま待機してください。

- 1 Web 管理画面のマイファイルへ移動します。
- 2 復元したいデータがある端末名を選択します。
- 3 復元したいデータがあるフォルダーを表示して、対象のファイル・フォルダーを右クリックします。
- 4 「リモート復元」をクリックして、リモート復元のオプションを表示します。

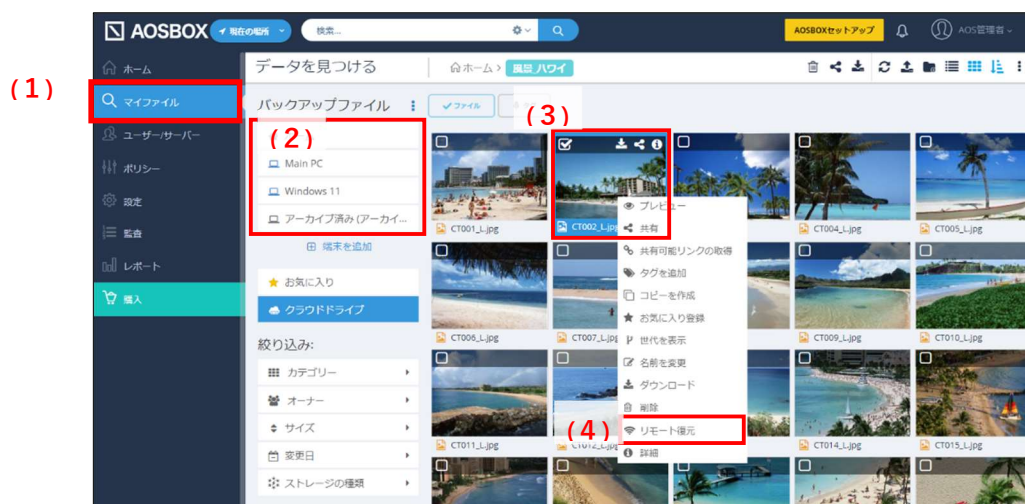


図 7-14

- 5 ユーザー・対象のパソコン・復元先を選択して「OK」をクリックすると、15 分以内に復元を開始します。

リモート復元のオプション

復元先

ユーザー: ユーザーを選択してください

対象のパソコン: パソコンを選択してください

復元先: 変数を挿入

[高度な設定を表示](#)

(5)

OK 閉じる

図 7-15



補足

「高度な設定を表示」をクリックすると、細かな復元設定が行えます。（設定できる内容は「[7-2 アプリからの復元](#)」の手順 5～6 と同一の内容となります。「[7-2 アプリからの復元（81 ページ）](#)」をご覧ください。）

リモート復元のオプション

復元先

ユーザー: ユーザーを選択してください

対象のパソコン: パソコンを選択してください

復元先: 変数を挿入

☐ マルチスレッドでダウンロードする（高速ですが、より多くのリソースを消費します）

復元する日付範囲

☐ 指定した日付範囲内のファイルを復元:

☒ 開始: ☒ 終了:

既に存在するファイルの置き換え

ファイルが既に復元場所に存在する場合の動作を指定します:

☒ 復元するファイルが新しい場合にのみファイルを上書きする

☐ すべて上書きしない

☐ すべて上書きする

Note: リモート復元は15分以内に開始されます

[詳細設定を非表示](#)

OK 閉じる

図 7-16

6 リモート復元開始のポップアップが表示されますので、「閉じる」をクリックします。

- 7 復元開始後、15 分以内に AOSBOX 復元ユーティリティが起動します。タスクトレイに表示される AOSBOX 復元ユーティリティアイコンをクリックして、さらに「開く」をクリックすると、復元結果の詳細を確認できます。



図 7-17

8-1 ユーザー/サーバー画面について

「ユーザー/サーバー」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。この画面では、「ユーザー、パソコン、サーバー」の追加、個別設定等を行います。



注意

アクセス権限について

当画面にアクセスするには、管理者のユーザーでかつアクセス権限が有効である必要があります。また、一部または全ての設定操作が行えない権限設定の場合があります。

権限設定の詳細は「[14 管理者権限の設定（170 ページ）](#)」をご覧ください。

- (1) ユーザー・サーバー・パソコンの各一覧表示を切り替えます。
詳細については各項目をご覧ください。
ユーザー一覧「[8-2 ユーザー（94 ページ）](#)」
パソコン一覧「[8-3 パソコン（110 ページ）](#)」
サーバー一覧「[8-4 サーバー（113 ページ）](#)」
- (2) クライアントアプリのインストーラーをダウンロードします。
「[4 インストールと初期設定（16 ページ）](#)」をご覧ください。
- (3) ラベルの追加が行えます。
「[8-2-5-1 ラベルの追加（107 ページ）](#)」をご覧ください。
- (4) ラベルの管理画面に移動します。
「[8-2-5-3 ラベルの編集（108 ページ）](#)」をご覧ください。
- (5) ラベルの一覧を表示します。また、ラベルの設定操作も行えます。
「[8-2-5 ラベル（106 ページ）](#)」・「[8-2-5-4 ラベルをユーザーに割り当てる（109 ページ）](#)」をご覧ください。

ユーザー/サーバーの管理

ユーザー

ユーザーの追加 ADへ接続 サーバーの追加 ポリシーを変更 詳細

ページ < 1 > / 1 | 10 レコードを表示 | 4 件のレコードが見つかりました ユーザーを検索...

名前	ラベル	ポリシー	通常のストレージの使用量/最大	コールドストレージの使用量/最大	OCRの使用量/最大	種類
Tester (あなた)	-	ユーザー定義	3.41 GB / 制限なし	5.02 GB / 制限なし	13 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索
ユーザー-20230420	-	ユーザー定義	520 MB / 制限なし	39 MB / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索
ユーザー-20230425	-	ユーザー定義	0 bytes / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップのみ
副管理者	-	ユーザー定義	491 MB / 5 GB	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索

ページ < 1 > / 1 | 10 レコードを表示 | 4 件のレコードが見つかりました

図 8-1

8-2 ユーザー

Web 管理画面の「ユーザー/サーバー」タブから、ユーザーを追加したり、管理することができます。

- (1) ユーザーの追加を行います。
「8-2-3 ユーザーの追加（98 ページ）」をご覧ください。
- (2) アクティブディレクトリーを使用してユーザーに AOSBOX アプリを配布する場合に使用します。
詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。
<http://helpintelligent.aosbox.com/?p=8922>
- (3) サーバーの追加を行います。
「8-4-3 サーバーの追加・インストール（116 ページ）」をご覧ください。
- (4) 「ポリシー」タブで作成したポリシーをユーザーごとに設定します。
「8-6 ポリシーを変更（120 ページ）」をご覧ください。
- (5) ユーザーにラベルを設定します。作成したラベルをユーザーごとに振り分けることによって管理し易くします。
「8-2-5 ラベル（106 ページ）」をご覧ください。
- (6) ユーザーに対して様々な操作を行います。
「8-3-1 [詳細] ボタン（ユーザー）（95 ページ）」をご覧ください。
- (7) 任意の文字を入力してユーザーを検索します。
- (8) 管理しているユーザーを一覧で表示します。
各ユーザーを押下すると「ユーザー情報」画面に遷移できます。
「ユーザー情報」画面の詳細は「8-2-4 ユーザー情報（103 ページ）」をご覧ください。
- (9) ユーザーに対して動作オプションを選択します。
「8-2-1-2 [動作] ボタン（ユーザー）（96 ページ）」をご覧ください。



図 8-2

8-2-1 ユーザーに対する操作

8-2-1-1 「詳細」 ボタン（ユーザー）

「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 使用を一時停止していたユーザーを使用可能にします。
- (2) ユーザーの使用を一時停止します。
- (3) ユーザー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (4) ユーザーの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (5) ユーザーのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (6) ユーザーの OCR ページ数の上限を指定します。
- (7) ユーザーに設定されているラベルを外します。
- (8) ユーザー一覧を CSV ファイルにしてダウンロードします。

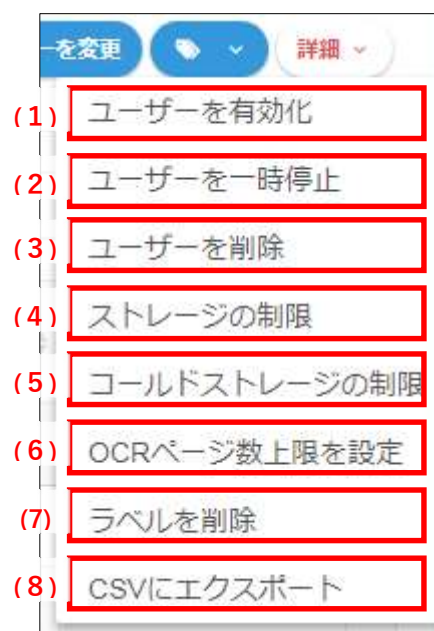


図 8-3

8-2-1-2 [動作] ボタン (ユーザー)

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

※「8-2-1-1 [詳細] ボタン (ユーザー) (95 ページ)」と重複する機能の説明は省略します。

- (1) 任意のユーザーにバックアップするパソコンを追加する場合は、
ここから AOSBOX アプリをダウンロードし、対象のパソコンにインストールします。
詳細は「4 インストールと初期設定 (16 ページ)」をご覧ください。
- (2) ファイルを検索できる範囲をユーザー・ラベルごとに設定します。
- (3) 二段階認証を有効にしている場合、二段階認証を無効にします。
二段階認証の機能の詳細は「13-4 二段階認証 (160 ページ)」をご覧ください。
- (4) ユーザーに管理者権限を付与します。
管理者権限のあるユーザーの場合、「管理者権を削除」が表示され、管理者権限を削除できます。
- (5) ユーザーのパスワードをリセットします。
- (6) ユーザーのメールアドレスを変更します。
メールアドレス・パスワードの変更を行うと AOSBOX アプリでのバックアップが停止します。再開するには AOSBOX アプリを開いてログインし直してください。
- (7) ユーザーの名前を変更します。
- (8) ユーザーの種類を、「バックアップと検索」、「バックアップのみ」、「検索のみ」から指定します。
詳細は「8-2-2 ユーザーの種類 (98 ページ)」をご覧ください。
- (9) ユーザーに割り当てたポリシーを削除します。
- (10) ユーザーに割り当てたポリシーを変更します。「8-6 ポリシーを変更 (120 ページ)」をご覧ください。

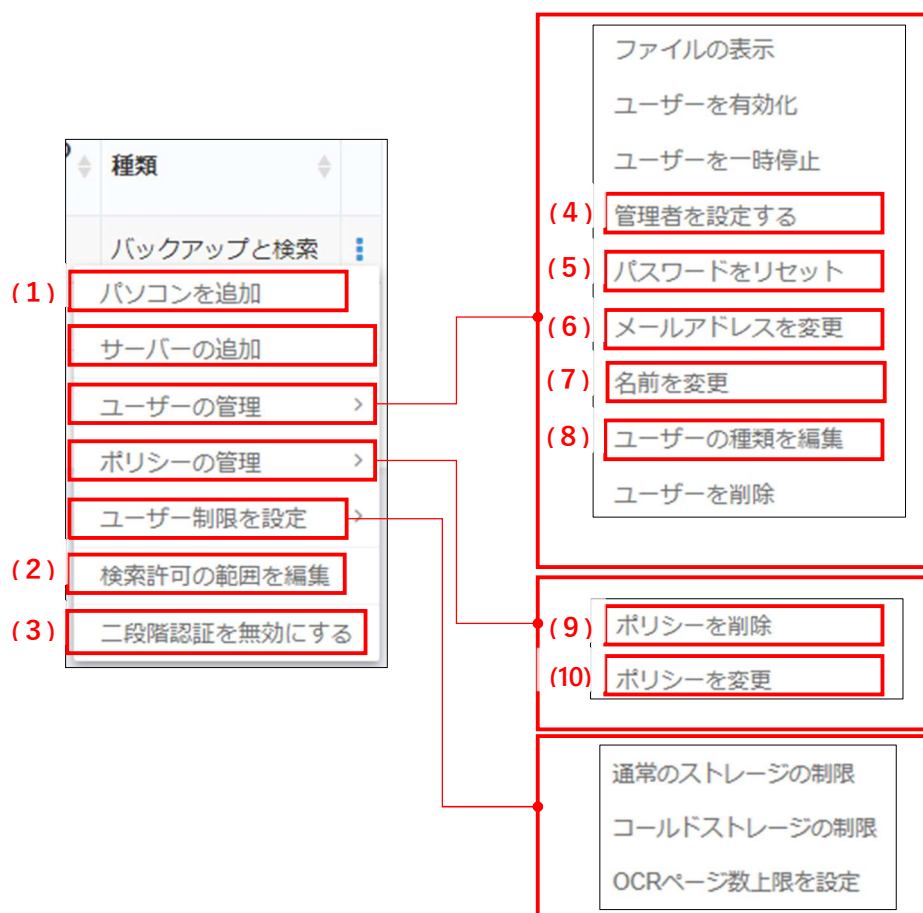


図 8-4

8-2-2 ユーザーの種類

ユーザーの種類には「バックアップと検索」、「バックアップのみ」、「検索のみ」の3種類があります。

- **バックアップと検索**：このユーザーは、クライアントアプリをインストールしてログインしてすべての機能を使用することができ、また Web 管理画面にアクセスして自身のバックアップファイルの検索・閲覧を行うことができます。
- **バックアップのみ**：このユーザーは、AOSBOX アプリをインストールしてログインすると、クライアントアプリのすべての機能を使用できますが、Web 管理画面にアクセスすることはできません。
- **検索のみ**：検索のみとなったユーザーは、AOSBOX アプリにログインすることができず、バックアップを行うことはできません。このユーザーは Web 管理画面にアクセスして他のユーザーのファイルの検索・閲覧のみを行うことができますが、既定の設定では他のユーザーのファイルへのアクセス許可がありません。最初に検索範囲の指定を行ってください。

※検索範囲の指定については、オンラインヘルプをご覧ください：

<http://helpintelligent.aosbox.com/?p=11810>

8-2-3 ユーザーの追加

ユーザーを追加するには「メールで招待」「手動で追加」「CSV ファイルで一括追加」の三つの方法があります。



図 8-5

8-2-3-1 メールで招待

- 1 ユーザーの追加ボタンから「メールで招待」をクリックします。

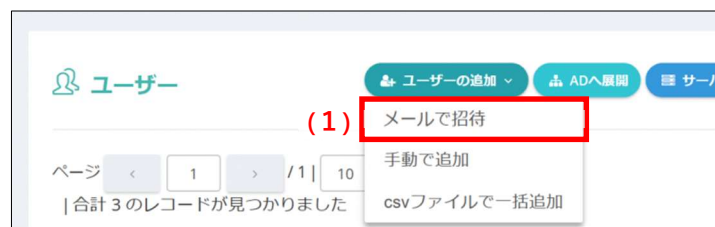


図 8-6

2 追加したいユーザーのメールアドレスを入力します。コンマ(“,”)、セミコロン(“;”)、またはスペースで区切って、複数のメールアドレスを指定します。

3 メールアドレス入力欄の右下にある ユーザーを追加 をクリックします。

メールで招待

ユーザーは、送信された招待メールのリンクから、AOSBOXの利用開始手続きを行います。詳細については [ここをクリック](#)

メール

(2)

Note: メールアドレスは、コンマ、セミコロン、またはスペースで区切ります。

表題: AOS管理者 さんは、あなたをAOSBOXに招待しました。

メッセージ(任意):

(3)

ここに、AOSBOXをセットアップする方法を指示するための文を追加します。

ユーザーを追加

残りユーザー数: 無制限

図 8-7

4 表示される[アカウントオプション]ダイアログから、必要に応じて、追加されるユーザーの種類やポリシーの割り当て、ストレージ使用量や OCR ページ数の上限を指定して「OK」をクリックしてください。

アカウントオプション

メールアドレス	種類	ポリシー	通常のストレージの制限	コールドストレージ制限	OCRページ数
Randy@aos.com	バックアップと検	ユーザー定義	制限 GB ✓ 制限なし	制限 GB ✓ 制限なし	制限 ページ数 ✓ 制限なし
smith.h@aos.com	バックアップと検	ユーザー定義	制限 GB ✓ 制限なし	制限 GB ✓ 制限なし	制限 ページ数 ✓ 制限なし

(4)

OK キャンセル

図 8-8

5 以下の招待メールが届きます。
「AOSBOX の利用を開始する」をクリックし、登録します。

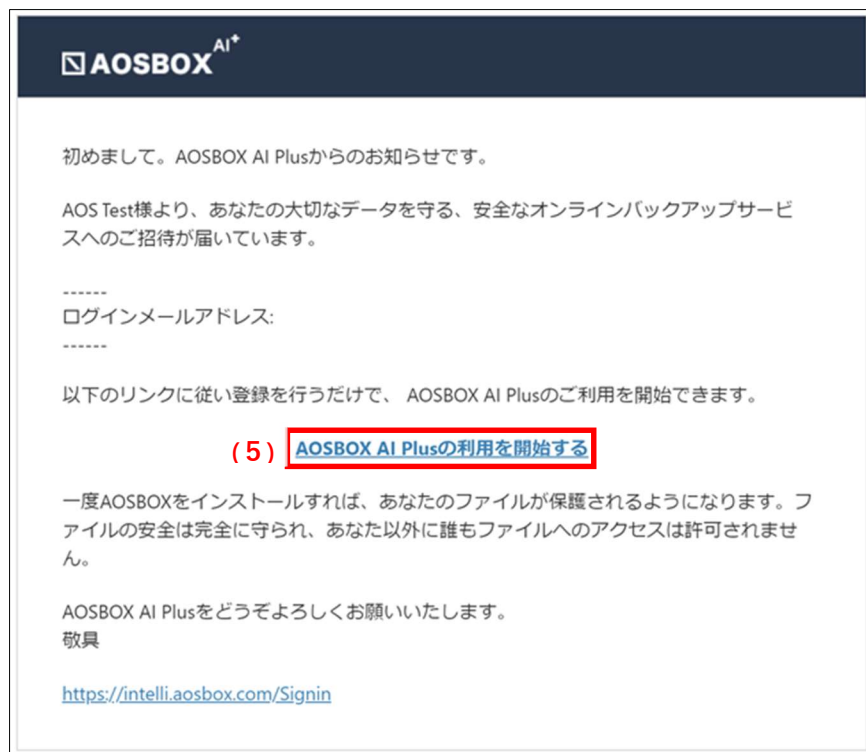


図 8-9

8-2-3-2 手動で追加

- 1 「ユーザーの追加」ボタンをクリックし、「手動で追加」オプションを選択します。

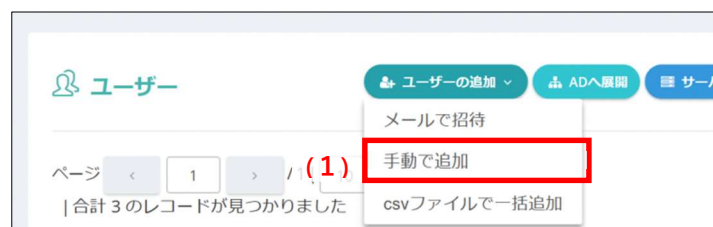


図 8-10

- 2 「手動で追加」ページが開きます。新しいユーザーの情報を入力し、「ユーザーの追加」ボタンをクリックします。

手動でユーザーを追加
 ユーザーを追加するには、下記の情報を入力してから、AOSBOXクライアントのセットアップファイルをダウンロードしてインストールしてください。

(2)

氏名:

メールアドレス:

パスワード:

パスワードの確認:

検索許可:

通常のストレージ制限: (GB)

コールドストレージ制限: (GB)

OCRページ数 (ページ)

ポリシー:

図 8-11

8-2-3-3 CSV ファイルで一括追加

複数のユーザーを一度に追加する場合は、CSV ファイルを使用する方法が最適です。

- 1 ユーザーの追加メニューから「CSV ファイルで一括追加」をクリックします。

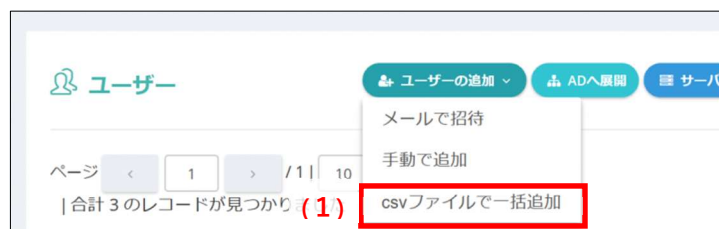


図 8-12

- 2 CSV ファイルの書式が表示されますので、それに沿った CSV ファイルを作成します。
 サンプルの CSV ファイルをダウンロードからサンプルの CSV ファイルをダウンロードして、それを編集することもできます。
- 3 作成、または編集した CSV ファイルを、表の下のエリアにドラッグ & ドロップするか、クリックして選択します。

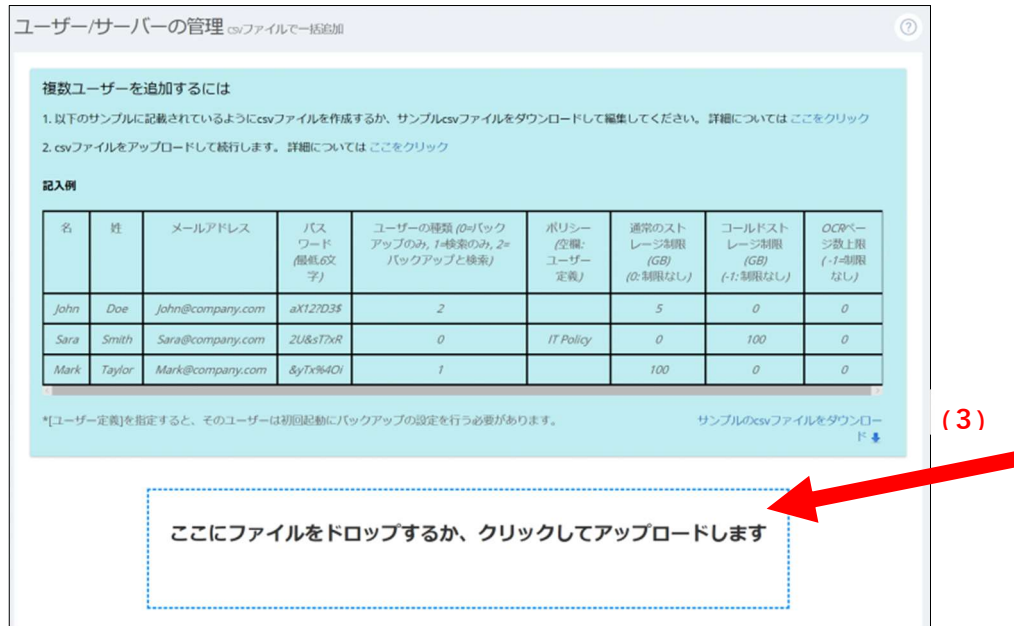


図 8-13

4 追加されるユーザーの情報を確認し、「確認してユーザーを追加」をクリックします。

別の CSV ファイルを指定したい場合は、別のファイルをアップロード をクリックして、CSV ファイルを選択しなおします。

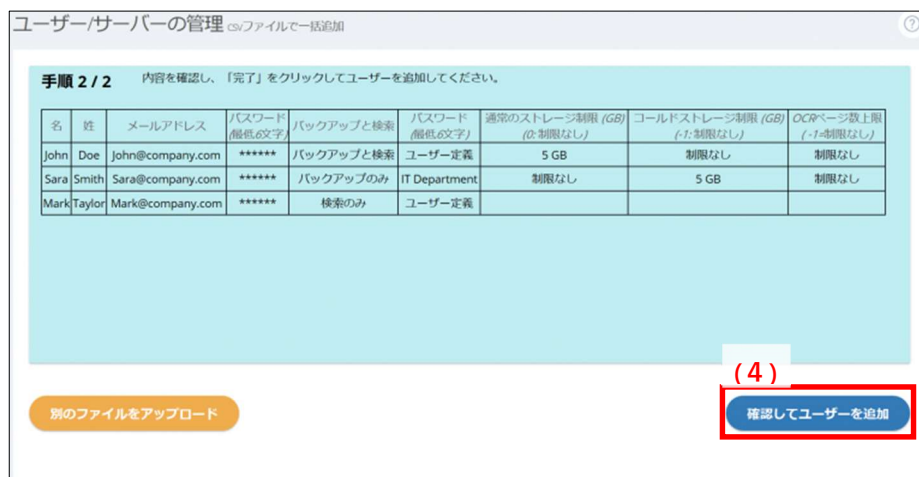


図 8-14

8-2-4 ユーザー情報

ユーザー情報では各ユーザーに連携された、各種設定情報の確認、変更をすることができます。

(1) ユーザーの設定情報

ユーザーの各種設定情報が表示されます。

(2) [動作] ボタン (ユーザー)

押下後に表示されるメニューでユーザーに対する設定の変更ができます。

変更可能な操作はユーザー一覧の[動作] ボタンと同様です。

詳細については「8-2-1-2 [動作] ボタン (ユーザー (96 ページ))」をご覧ください。

(3) 各種端末・サービス

該当のユーザーと連携済みの以下の端末・サービス等の情報が表示され、[+] ボタンを押下後に詳細表示・管理ができます。

- パソコン
- サーバー
- タブレットとモバイル (AOSBOX AI Plus では無効です)
- クラウドドライブ
- サービス
- インポート (現在は無効です)

(4) [動作] ボタン (各種端末・サービス)

端末・サービス等の設定を個別に変更可能です。

ユーザー/サーバーの管理

ユーザー > ユーザー情報

Tester 管理者

(1)

(2) [動作] ユーザーに戻る

作成日: 2022/10/21 ポリシー: ユーザー定義 コールドストレージ使用中: 5.02 GB 使用中的OCR: 13 ページ数 通常のストレージ使用中: 3.41 GB

前回の使用: 2023/4/27 状態: 有効 コールドストレージ制限: 制限なし OCRページ数: 制限なし 通常のストレージ制限: 制限なし

パソコン (2)

ユーザー名/コンピューター名	状態	前回のバックアップ	通常のストレージの使用量/最大	コールドストレージの使用量/最大	OCRの使用量/最大
teste/HV-WIN11	有効	2023/4/26	2023/2/6	1.03 GB / 制限なし	20 MB / 制限なし
teste/HV-WIN10	有効	2023/2/24	2023/2/24	0 bytes / 制限なし	5 GB / 制限なし

サーバー (2)

- タブレットとモバイル
- クラウドドライブ(1)
- サービス
- インポート

(3)

(4)

図 8-15

8-2-4-1 [動作] ボタン (パソコン)

[動作] ボタンを押下するとメニューが表示されます。詳しくは「8-3-2 [動作] ボタン (パソコン) (112 ページ)」をご覧ください。

8-2-4-2 [動作] ボタン (サーバー)

[動作] ボタンを押下するとメニューが表示されます。詳しくは「8-4-2 [動作] ボタン (サーバー) (115 ページ)」をご覧ください。

8-2-4-3 [動作] ボタン (クラウドドライブ)

[動作] ボタンを押下すると以下のメニューが表示されます。このメニューではクラウドドライブの設定を変更できます。

(1) ストレージ制限を設定

ストレージ容量の上限を変更できます。

クラウドドライブ名	最後の操作	最終アップロード	最終ダウンロード	ストレージ制限	使用済み容量
Cloud Drive	2019/3/7	2019/3/7	2019/3/4	制限なし	56 MB

(1) ストレージ制限を設定

図 8-16

8-2-4-4 [動作] ボタン (サービス)

[動作] ボタンを押下すると以下のメニューが表示されます。このメニューでは連携済みのストレージサービスの設定を変更できます。

(1) ストレージ制限を設定

ストレージ容量の上限を変更できます。

(2) リンクを解除

ストレージサービスとのリンク (連携) を解除できます。
既にバックアップ済のデータはアーカイブとして扱われます。

(3) 削除

ストレージサービスとのリンク (連携) を解除できます。
既にバックアップ済のデータは削除されます。

サービス名	メールアドレス/電話番号	最後の操作	最終アップロード	最終ダウンロード	ストレージ制限	使用済み容量
Dropbox		2020/6/17	2020/6/17	-	無制限	1.97 GB
box Box		2020/5/7	2020/5/7	-	無制限	

(1) ストレージ制限を設定

(2) Dropboxのリンクを解除

(3) Dropboxを削除

図 8-17

8-2-5 ラベル

ユーザーを任意のカテゴリに振り分けて管理する場合、ラベルを使用することによって、管理し易くなります。

ユーザー/サーバー画面にラベルのメニューが常時表示されています。

- (1) 「ラベルの追加」をクリックして、新たにラベルを登録することができます。
「8-2-5-1 ラベルの追加 (107 ページ)」をご覧ください。
- (2) ラベルの管理画面に移動します。「8-2-5-2 ラベルの管理 (108 ページ)」をご覧ください。
- (3) 登録してあるラベルを表示します。



図 8-18

8-2-5-1 ラベルの追加

「ラベルの追加」をクリックすると、以下ダイアログが表示されます。ラベル名、色を指定して新たにラベルを登録することができます。



ラベルの追加

ラベル名:

色:

☐ カスタムカラーを選択

OK キャンセル

図 8-19



補足

ラベルの管理をクリックし、右側ペインに表示されるラベル一覧上部のラベルの追加をクリックしても、同様の操作が行えます。

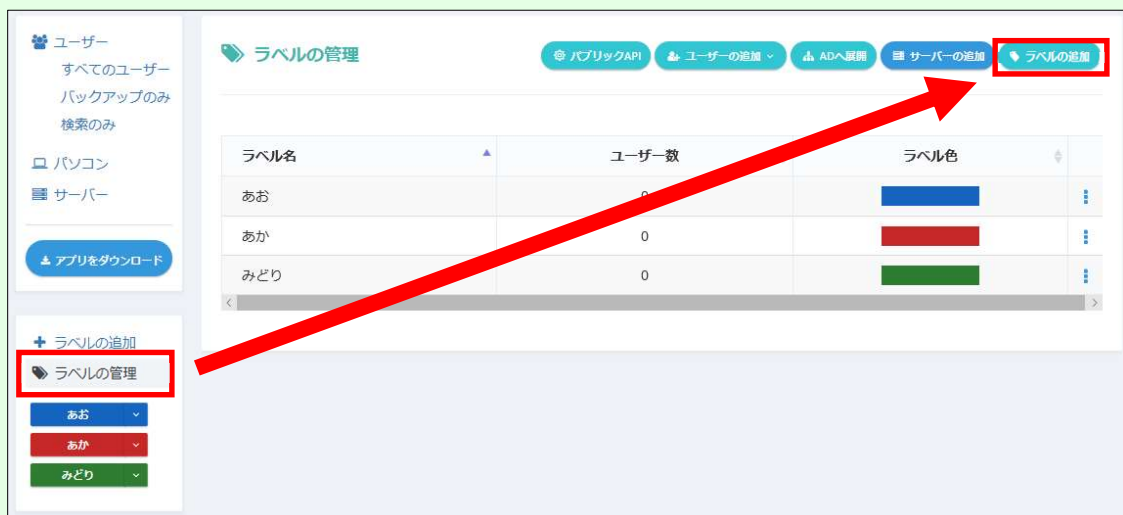


図 8-20

8-2-5-2 ラベルの管理

「ラベルの管理」をクリックすると、ラベルの管理画面に移動します。

ここでは、ラベルの編集または削除が行えます。

8-2-5-3 ラベルの編集

1 右側ペインに表示されるラベル一覧から、編集したいラベルの行の右にある操作アイコンをクリックし、[ラベルを管理]をクリックします。

2 ラベルの編集を行う場合は、ラベルの名前と色を指定して「OK」をクリックします。

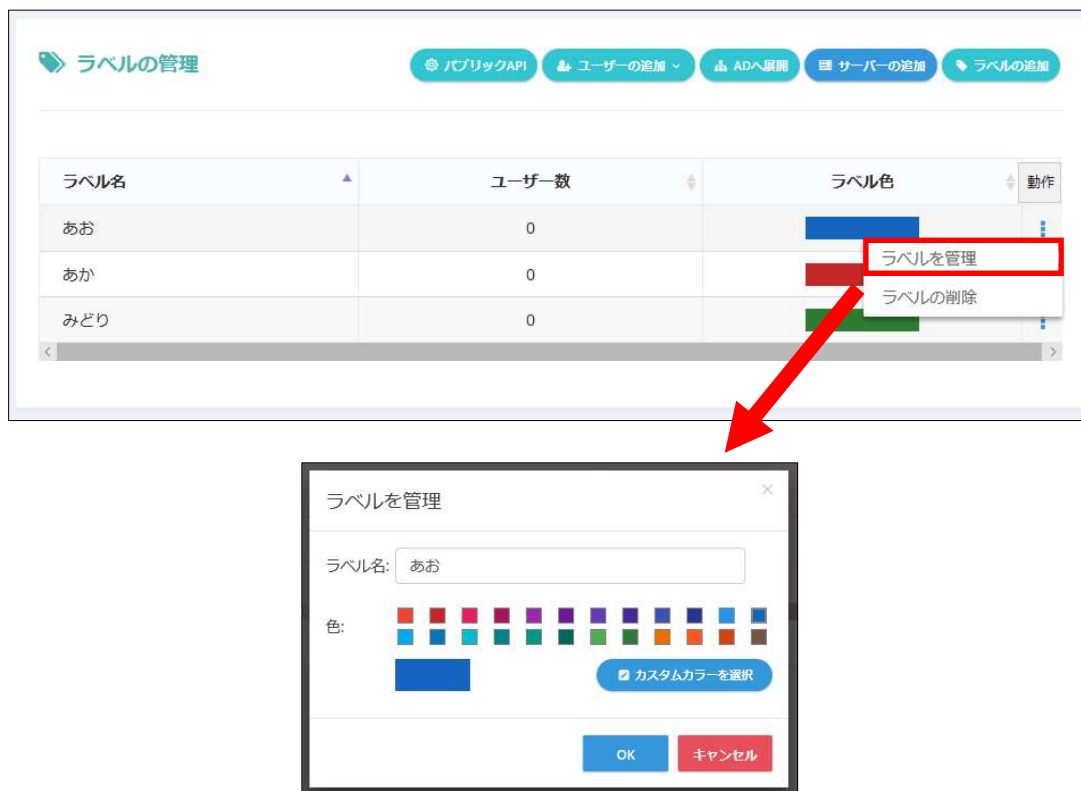


図 8-21



補足

ラベルを削除したい場合は、同様に右側ペインに表示されるラベル一覧から、削除したいラベルの行の右にある操作アイコンをクリックし、「ラベルの削除」をクリックし、削除してください。

8-2-5-4 ラベルをユーザーに割り当てる

1 「ユーザー/サーバー」の画面から、ラベルを割り当てたいユーザーにチェックを入れます。

2 上部のラベルメニューで適用したいラベルを選択します。

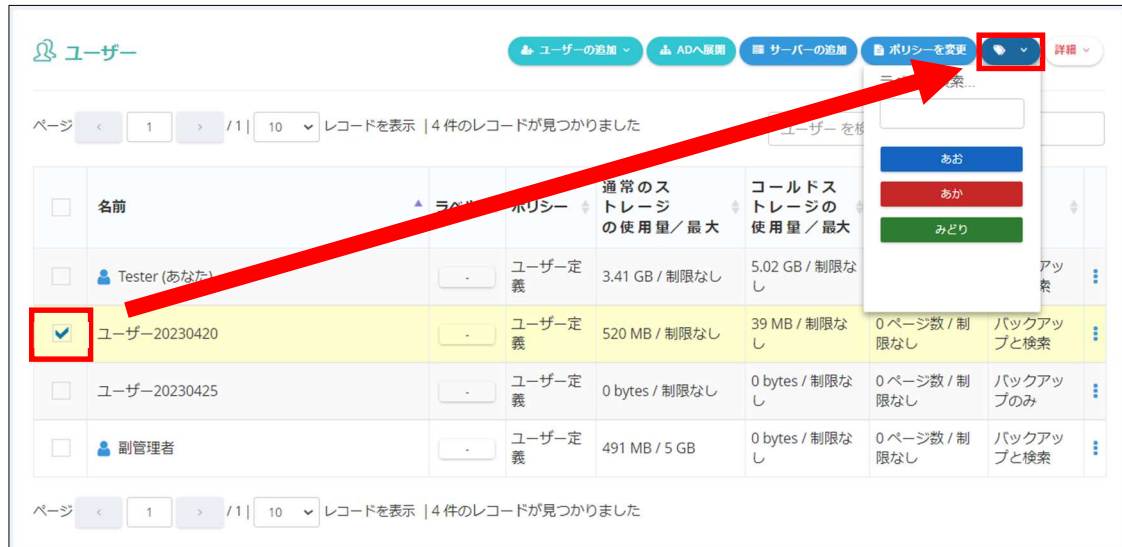


図 8-22

補足

ユーザーに割り当てたラベルを外すには、ラベルが割り当てられているユーザーを選択し、上部のメニューの「詳細」より、「ラベルを削除」を選択してください。

8-3 パソコン

AOSBOX オンラインアカウントの「ユーザー/サーバー」タブから、コンピューター（パソコン）をバックアップに追加したり、管理することができます。

「ユーザー/サーバー」タブを選択し、左端の「パソコン」を選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、パソコンの個別設定等を行います。

- (1) パソコンに対して様々な操作を行います。
[「8-3-1 \[詳細\] ボタン \(パソコン\) \(111 ページ\) 」](#)をご覧ください。
- (2) 任意の文字を入力してパソコンを検索します。
- (3) 管理しているパソコンを一覧で表示します。
- (4) パソコンに対して動作オプションを選択します。
[「8-3-2 \[動作\] ボタン \(パソコン\) \(112 ページ\) 」](#)をご覧ください。

ユーザー/サーバーの管理

パソコン

ユーザーの追加 ADへの接続 サーバーの管理 (1) 詳細

ページ < 1 / 10 > レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました (2) パソコンを検索...

ユーザー名/コンピューター名	状態	前回の使用	前回のバックアップ	通常のストレージの使用量 / 最大	コールドストレージの使用量 / 最大	OCRの使用量 / 最大
teste/HV-WIN11	有効	2023/4/26	2023/2/6	1.03 GB / 制限なし	20 MB / 制限なし	11 / 制限なし (4)
Main PC	有効	2023/4/27	2023/4/27	23 MB / 制限なし	39 MB / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
C	有効	2023/4/18	2023/4/18	0 bytes / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
B	アーカイブ	2023/4/18	2023/4/18	30 KB / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
A	有効	2023/4/25	2023/4/24	22 MB / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
teste/HV-WIN10	有効	2023/2/24	2023/2/24	0 bytes / 制限なし	5 GB / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし

ページ < 1 / 10 > レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました

図 8-23

8-3-1 [詳細] ボタン (パソコン)

「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 使用を一時停止していたパソコンを使用可能にします。
- (2) パソコンの使用を一時停止します。
- (3) パソコンをアーカイブします。アーカイブすると、バックアップ済みデータを残したうえでバックアップは恒久的に終了します。
- (4) パソコン (バックアップデータを含む) を削除します。
- (5) パソコンの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (6) パソコンのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (7) パソコンの OCR ページ数の上限を指定します。
- (8) パソコン一覧を CSV ファイルにしてダウンロードします。



図 8-24

8-3-2 [動作] ボタン (パソコン)

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 使用を一時停止していたパソコンを使用可能にします。
- (2) パソコンの使用を一時停止します。
- (3) パソコンをアーカイブします。アーカイブすると、バックアップ済みデータを残したうえでバックアップは恒久的に終了します。
- (4) パソコン (バックアップデータを含む) を削除します。
- (5) パソコンの名前を任意のものに変更します。
- (6) パソコンの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (7) パソコンのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (8) パソコンの OCR ページ数の上限を指定します。
- (9) パソコンのリモートバックアップを開始します。
「8-7 リモートバックアップ (122 ページ)」をご覧ください。



図 8-25

8-4 サーバー

「ユーザー/サーバー」タブを選択し、左端の「サーバー」を選択すると、以下画面が表示されます。この画面では、サーバーの追加、個別設定等を行います。

- (1) サーバーの追加を行います。
「8-4-3 サーバーの追加・インストール（116 ページ）」をご覧ください。
- (2) 「ポリシー」タブで作成したポリシーをサーバーごとに設定します。
「8-6 ポリシーを変更（120 ページ）」をご覧ください。
- (3) サーバーに対して様々な操作を行います。
「8-4-1 サーバー（114 ページ）」をご覧ください。
- (4) 任意の文字を入力してサーバーを検索します。
- (5) AOSBOX アプリのインストーラーをダウンロードします。
サーバーに AOSBOX をインストールしてバックアップを構成するには、「8-4-3 サーバーの追加・インストール（116 ページ）」をご覧ください。
- (6) 管理しているサーバーを一覧で表示します。
- (7) サーバーに対して動作オプションを選択します。
「8-4-2 [動作] ボタン（サーバー）（115 ページ）」をご覧ください。



図 8-26

8-4-1 [詳細] ボタン (サーバー)

「詳細」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 使用を一時停止していたサーバーを使用可能にします。
- (2) サーバーの使用を一時停止します。
- (3) サーバーをアーカイブします。アーカイブすると、バックアップ済みデータを残したうえでバックアップは恒久的に終了します。
- (4) サーバー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (5) サーバーの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (6) サーバーのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (7) サーバーの OCR ページ数の上限を指定します。
- (8) サーバー一覧を CSV ファイルにしてダウンロードします。

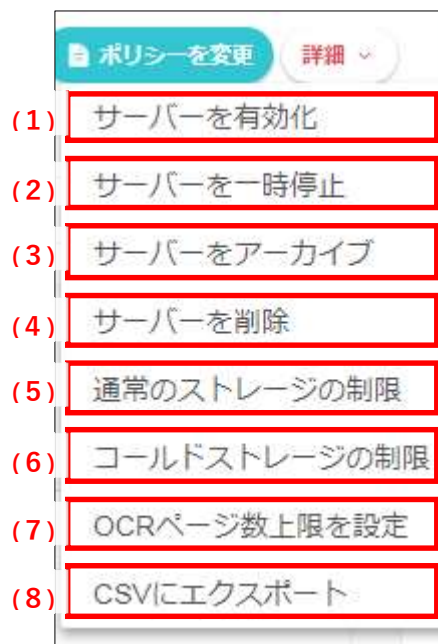


図 8-27

8-4-2 [動作] ボタン (サーバー)

「動作アイコン」をクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 使用を一時停止していたサーバーを使用可能にします。
- (2) サーバーの使用を一時停止します。
- (3) サーバーをアーカイブします。アーカイブすると、バックアップ済みデータを残したうえでバックアップは恒久的に終了します。
- (4) サーバー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (5) サーバーの名前を任意のものに変更します。
- (6) サーバーに割り当てたポリシーを削除します。
- (7) サーバーに割り当てたポリシーを変更します。
- (8) サーバーの通常ストレージ使用容量を制限します。
- (9) サーバーのコールドストレージ使用容量を制限します。
- (10) サーバーの OCR ページ数の上限を指定します。
- (11) サーバーのリモートバックアップを開始します。
[8-7 リモートバックアップ (122 ページ)] をご覧ください。



図 8-28

8-4-3 サーバーの追加・インストール

以下の手順に従って、サーバーを追加します。

- 1 「ユーザー/サーバー」の画面より、「サーバーの追加」をクリックします。
- 2 新しいサーバーを管理する管理者を選択し、サーバーのストレージ制限などの上限を設定し(任意)、サーバーに適用するポリシーを指定し(任意)、「サーバーの追加」ボタンをクリックします。



This screenshot shows the 'サーバーの追加' (Add Server) dialog box. The dialog is titled 'ユーザー/サーバーの管理' (User/Server Management) and 'サーバーの追加' (Add Server). It contains several fields and buttons:

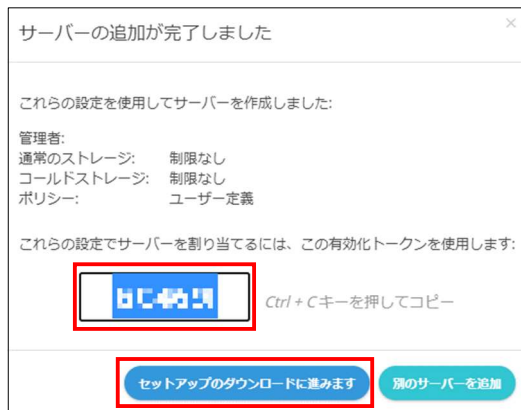
- 管理者** (Administrator): A dropdown menu.
- 通常ストレージ制限の設定: (GB)** (Normal Storage Limit Setting: (GB)): A text input field with a '通常ストレージの制限' (Normal Storage Limit) button and a checked '制限なし' (No Limit) checkbox.
- コールドストレージ制限: (GB)** (Cold Storage Limit: (GB)): A text input field with a 'コールドストレージ制限' (Cold Storage Limit) button and a checked '制限なし' (No Limit) checkbox.
- OCRページ数 (ページ)** (OCR Page Count (Page)): A text input field with an 'OCRページ数' (OCR Page Count) button and a checked '制限なし' (No Limit) checkbox.
- ポリシー:** (Policy): A dropdown menu set to 'ユーザー定義' (User Defined) and a '+ ポリシーの追加' (Add Policy) button.
- サーバーの追加** (Add Server): A blue button highlighted with a red box and labeled (2). A red arrow points to this button.
- キャンセル** (Cancel): A grey button.

図 8-29

- 3 「サーバーの追加完了」ダイアログで、有効化トークンをメモし、「セットアップのダウンロードに進む」ボタンをクリックします。

- 4 セットアップファイルのダウンロードが始まります。
ダウンロードしたセットアップをサーバーにコピーし、セットアップを起動しセットアップウィザードに従ってインストールを続行します。

(3)



(4)



図 8-30

**重要**

インストール中、下記のウィンドウが表示されましたら、Windows アカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。このアカウントは、サーバー上の管理者権限を持っている必要があります。このユーザーがドメインに参加している場合は、「ドメイン名¥ユーザー名」のようにドメインを含むユーザー名を入力してください。

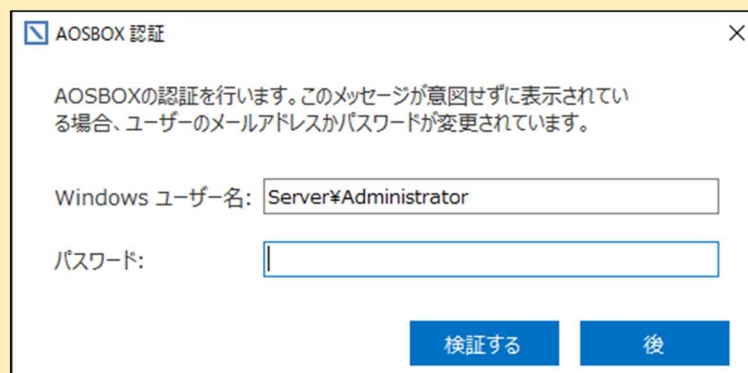


図 8-31

- 5 AOSBOX アプリがインストールされると、次のスクリーンショットのようにログインするように要求されます。このサーバーを管理するユーザーの資格情報を入力し、手順 4 でメモしたサーバーの有効化トークンを入力する必要があります。

6 バックアップするデータ、およびバックアップ設定を指定します。

以後の操作は「4-2 初期設定（18 ページ）」の手順 2 以降と同様です。

(5)

(6)

図 8-32

8-5 AD 展開

アクティブディレクトリーを介して、ドメインユーザーに AOSBOX アプリを展開できる機能です。

詳細についてはオンラインヘルプをご確認ください。

<https://helpintelligent.aosbox.com/?p=8922>

8-6 ポリシーを変更

「ユーザー、サーバー」のポリシーの割り当て、変更が可能です。

変更したい「ユーザー、サーバー」にチェックを入れ、「ポリシーを変更」をクリックして、ポリシーを変更します。

ポリシーを適用することによって、ユーザー自身でバックアップの設定を行わなくても、ポリシーに基づく設定を反映させることが可能です。ポリシーを適用していない場合は「ユーザー定義」と表示され、ユーザー自身がそれぞれバックアップの設定をする必要があります。

ポリシーの機能の詳細は、「[9 ポリシー（123 ページ）](#)」をご覧ください。

また、ポリシーを割り当てるには、事前にポリシーを作成しておく必要があります。ポリシーの作成については「[9-2 ポリシーの作成（124 ページ）](#)」をご覧ください。

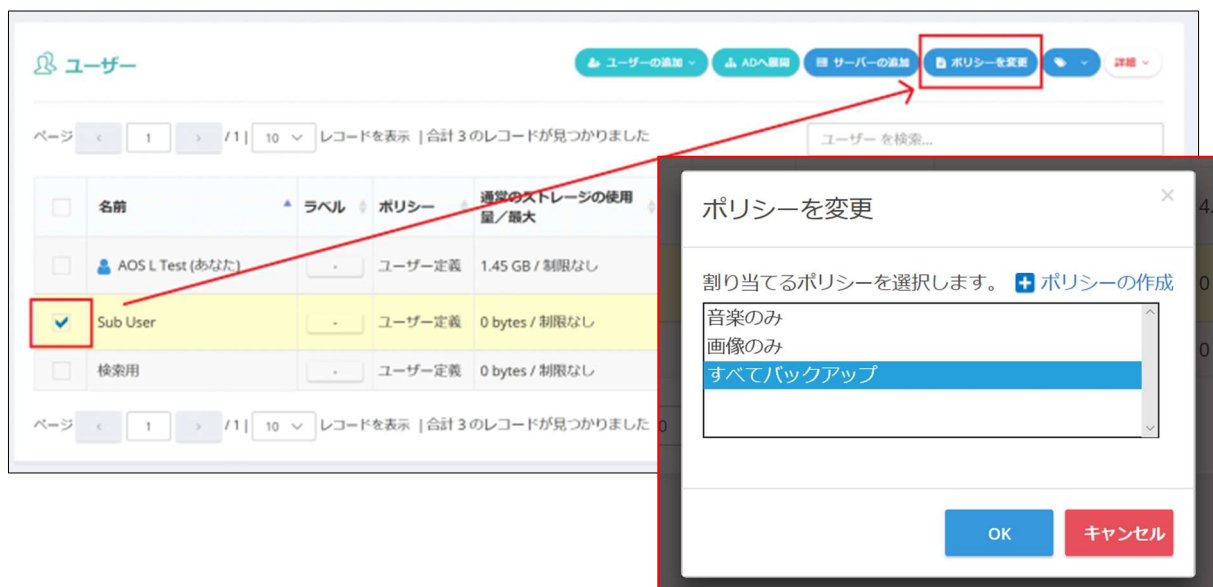


図 8-33



補足

ユーザーとサーバーには、それぞれ別のポリシーを割り当てられます。

ユーザーに割り当てられたポリシーは、そのユーザーが管理しているサーバーには適用されません。

**補足****ポリシーを削除するには**

一度割り当てたポリシーを削除するには、ポリシーが設定されているユーザーの「動作アイコン」から「ポリシーを削除」をクリックします。

ポリシーの指定が可能な項目について

ポリシーの指定は、ユーザー毎、またはサーバー毎となります（パソコン毎に個別のポリシーを指定することはできません）。

ポリシーの適用タイミング

ポリシーを割り当て、変更、または削除を行った後、実際のそれらがパソコンやサーバーに反映されるまで最大 15 分かかることがあります。

8-7 リモートバックアップ

Web 管理画面からパソコンやサーバーに対して、バックアップを任意で開始することができます。

パソコン、またはサーバー一覧から、バックアップを実行したいパソコン/サーバーの[動作]ボタンメニューから「バックアップを開始」を選択します。



図 8-34

補足

リモートバックアップは[OK]をクリックした後 15 分以内に開始されます。

また、リモートバックアップを行うパソコン/サーバーは、AOSBOX アプリが実行され、かつオンライン（インターネットに接続されている）状態になっている必要があります。



図 8-35

9-1 ポリシー

ポリシーとは、管理者があらかじめバックアップする項目や各ユーザーに制限する機能を定義し、ユーザーのバックアップ設定作業を軽減したり、機能の使用を制限させることができます。



注意

アクセス権限について

当画面にアクセスするには、管理者のユーザーでかつアクセス権限が有効である必要があります。また、一部または全ての設定操作が行えない権限設定の場合があります。

権限設定の詳細は「[14 管理者権限の設定（170 ページ）](#)」をご覧ください。

「ポリシー」タブを選択すると、ポリシーの管理画面が表示されます。この画面では、ユーザーに適用するバックアップポリシーの作成や、ポリシーの編集・削除が行えます。

- (1) ポリシーの作成を行います。「[9-2 ポリシーの作成（124 ページ）](#)」をご覧ください。
- (2) 該当するポリシーの編集を行います。「[9-2 ポリシーの作成（124 ページ）](#)」をご覧ください。
- (3) 該当するポリシーを削除します。どのユーザーやサーバーにも割り当てられていないポリシーが削除可能です。



図 9-1

9-2 ポリシーの作成

「ポリシーの作成」をクリックすると以下の画面へ移動します。

「通常のストレージ」「コールドストレージ」「OCR データ」「拡張子」「デュアルバックアップ」「設定」「権限」のそれぞれの設定を行い、最後にポリシー名をつけて「新しいポリシーを保存」をクリックします。

設定の内容に関しては、次のページ以降をご覧ください。



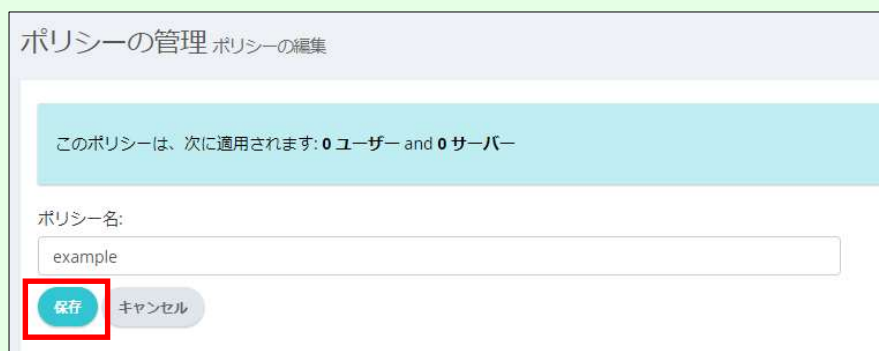
The screenshot shows the 'ポリシーの管理' (Policy Management) interface. At the top, there is a button labeled '+ ポリシーの作成' (Create Policy), which is highlighted with a red rectangular box. Below this button, there is a pagination control showing 'ページ < 1 > / 1 | 10' and a text 'レコードを表示 | 合計 3 のレコード'. Below the pagination, the breadcrumb 'ポリシーの管理 ポリシーの作成' is visible. The main form area has a label 'ポリシー名:' followed by an empty text input field. At the bottom of the form, there are two buttons: '新しいポリシーを保存' (Save New Policy), which is highlighted with a red rectangular box, and 'キャンセル' (Cancel).

図 9-2



補足

ポリシーの編集の場合も、作成の場合と同様にそれぞれの設定を行い、最後に「保存」をクリックします。



The screenshot shows the 'ポリシーの管理 ポリシーの編集' (Policy Management Policy Edit) interface. At the top, a light blue banner states 'このポリシーは、次に適用されます: 0 ユーザー and 0 サーバー'. Below this, the label 'ポリシー名:' is followed by a text input field containing the word 'example'. At the bottom of the form, there are two buttons: '保存' (Save), which is highlighted with a red rectangular box, and 'キャンセル' (Cancel).

図 9-3

9-2-1 通常のストレージのデータ

通常のストレージにおいて、バックアップする項目を設定することが可能です。



注意

コールドストレージのみのプランをご契約の場合、この項目は表示されません。

(1) 「おまかせバックアップ」

各カテゴリ、フォルダーごとにまとめてバックアップする場合に使用します。
バックアップ対象にチェックを入れて選択してください。

(2) 「ファイルを追加」「フォルダーの場所」

任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップする場合に使用します。

希望のファイル・フォルダーのアドレスを直接入力します。

また、各ユーザーそれぞれのマイドキュメントやデスクトップ等のフォルダーを一括指定する場合は、「変数を挿入」をクリックして設定します。

「変数を挿入」「フィルター」については「[9-2-6 変数を挿入/フィルター（130 ページ）](#)」をご覧ください。

図 9-4

9-2-2 コールドストレージのデータ

コールドストレージにおいて、バックアップする項目を設定することが可能です。
コールドストレージは、長期間アクセスしないデータを保存するのに適しています。

**注意**

通常のストレージのみのプランをご契約の場合、この項目は表示されません。

(1) 「おまかせバックアップ」

各カテゴリー、フォルダーごとにまとめてバックアップする場合に使用します。バックアップ対象にチェックを入れて選択してください。

(2) 「ファイルを追加」「フォルダーの場所」

任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップする場合に使用します。
希望のファイル・フォルダーのアドレスを直接入力します。また、各ユーザーそれぞれのマイドキュメントやデスクトップ等のフォルダーを一括指定する場合は、「変数を挿入」をクリックして設定します。
「変数を挿入」「フィルター」については「[9-2-6 変数を挿入/フィルター（130 ページ）](#)」をご覧ください。

図 9-5

9-2-3 OCR データ

OCR を使用してバックアップしたいファイル、およびファイルの言語を選択します。

OCR の機能についての詳細は「[5-4OCR（34 ページ）](#)」をご覧ください。

(1) 「ファイルを追加」「フォルダーの場所」

任意のファイル・フォルダーを個別に選択して OCR を使用してバックアップする場合に使用します。希望のファイル・フォルダーのアドレスを直接入力します。

また、各ユーザーそれぞれのマイドキュメントやデスクトップ等のフォルダーを一括指定する場合は、「変数を挿入」をクリックして設定します。

「変数を挿入」「フィルター」については「[9-2-6 変数を挿入/フィルター（130 ページ）](#)」をご覧ください。

通常のストレージのデータ クラウドストレージのデータ **TI OCRデータ** 拡張子 デュアルバックアップ 設定 権限

手動選択

日 ファイルを追加:

ファイルの場所: 言語: 日本語

フォルダー位置の指定は、下記の書式である必要があります:
Windowsの場合: C:\Users\ユーザー名\Desktop\
Mac OSの場合: /Users/ユーザー名/Desktop/

(1)

日 フォルダーの場所:

フォルダーの場所: 言語: 日本語

フォルダー位置の指定は、下記の書式である必要があります:
Windowsの場合: C:\Users\ユーザー名\Desktop\
Mac OSの場合: /Users/ユーザー名/Desktop/

図 9-6



補足

- OCR 可能なファイルの種類は、JPG、TIFF および PDF に限られます。ここでその他のファイルの種類を指定しても OCR の処理は行われません。
- フォルダーの場所を指定した場合、OCR 処理が行われるのはそのフォルダー内の JPG、TIFF および PDF 形式のファイルのみとなります。

9-2-4 拡張子

拡張子の指定による様々な設定、およびバックアップから除外するフォルダーを設定します。

(1) シャドウコピーを行う拡張子

指定した拡張子を持つファイルに、ボリュームシャドウコピー(VSS)を使用してのバックアップを強制します。

(2) ブロックレベルバックアップを行う拡張子

指定した拡張子のファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間を軽減することができます。

※ブロックレベルバックアップはサイズが 5MB を超えるファイルのみに適用されます。

(3) おまかせバックアップの拡張子

電子書籍と年賀状データ、Office ファイル、会計ファイルについて、おまかせバックアップでバックアップされるファイル拡張子の一覧を表示しています。また、直接入力することで新たに各カテゴリーへファイル拡張子を追加することが可能です。

(4) 全体の除外項目

このポリシーのすべてのバックアップにおいて、除外する拡張子を入力します。

(5) フォルダー単位で除外・除外ファイル

このポリシーのすべてのバックアップにおいて、除外するフォルダー・ファイルパスを入力します。変数を使用すると簡単にフォルダー・ファイルパスを指定することができます。

「変数を挿入」については「[9-2-6 変数を挿入/フィルター（130 ページ）](#)」をご覧ください。

通常のストレージのデータ コールドストレージのデータ TI OCRデータ **拡張子** デュアルバックアップ 設定 検索

シャドウコピーを行う拡張子
これらの拡張子を持つファイルは、ボリュームシャドウコピーサービスを利用してバックアップされます。

(1)

Note: 拡張子はセミコロンで区切ってください。例: *.doc;*.docx;*.pdf

ブロックレベルバックアップを行う拡張子
この拡張子を持つファイルは、ブロックレベルでの複製差分のみバックアップされます (5MB以上のファイルのみサポートされます)

(2)

Note: 拡張子はセミコロンで区切ってください。例: *.doc;*.docx;*.pdf

おまかせバックアップの拡張子

(3)

☐ 電子書籍と年賀状データ

☐ Officeファイル

☐ 会計ファイル

全体の除外項目
すべての場合でこの拡張子をバックアップしません

(4)

Note: 拡張子はセミコロンで区切ってください。例: (*.exe;*.html;*.doc)

フォルダー単位で除外:

(5)

☐ 除外ファイル:

図 9-7

9-2-5 デュアルバックアップ

クラウドへバックアップしたものと同一バックアップをローカル上のドライブにも取る場合の設定を行います。

デュアルバックアップ機能の詳細は「[5-5-4-1 デュアルバックアップの機能について（40 ページ）](#)」をご覧ください。

(1) 「デュアルバックアップを有効にする」

チェックを入れ、ローカルドライブの保存場所を指定すれば、設定が有効になります。「デュアルバックアップのサイズを制限」にチェックを入れ、サイズを指定することにより、ローカルドライブにバックアップする容量を制限することができます。

(2) ネットワークロケーション認証

デュアルバックアップ先としてネットワーク共有フォルダーを指定する場合、アクセス認証が必要であれば、ここでユーザー名とパスワードを指定します。

※ネットワーク共有フォルダーがアクセス認証を必要としない場合は、この設定は必ず無効にしてください。

(3) デュアルバックアップのサイズを制限

ドライブにバックアップするサイズを制限することができます。最小 100GB から指定する事ができます。

制限に達した際は、古いファイルから順にローカルストレージ削除されていきます（オンラインにバックアップしたファイルは削除されません）。

(4) フィルターを追加

特定のフォルダーのみをデュアルバックアップする場合は、フォルダーパスを入力してください。変数を使用すると簡単にフォルダーパスを指定することができます。

さらに「フィルター」で条件をより絞ることができます。

「変数を挿入」「フィルター」については「[9-2-6 変数を挿入/フィルター（130 ページ）](#)」をご覧ください。

図 9-8

9-2-6 変数を挿入/フィルター

9-2-6-1 変数を挿入

以下の変数を入力することによって、AOSBOX の標準のフォルダーパスとして識別され、ファイル・フォルダーを指定することが可能です。変数を入力するには、変数を選択して「変数を挿入」をクリックします。

変数を挿入

次の変数が、AOSBOX AI plusの標準のフォルダーパス（場所）として識別されます。変数をコピーするには、変数を選択して「変数を挿入」をクリックします。

変数	Mac OS X	Windows
☐ FOLDERID_Contacts	Not applicable	C:\Users\USERNAME\Contacts\
☐ FOLDERID_Desktop	/Users/USERNAME/Desktop/	C:\Users\USERNAME\Desktop\
☒ FOLDERID_Downloads	Not applicable	C:\Users\USERNAME\Downloads\
☐ FOLDERID_Favorites	/Users/USERNAME/Library/Favorites	C:\Users\USERNAME\Favorites\
☐ FOLDERID_Music	/Users/USERNAME/Music/	C:\Users\USERNAME\Music\
☐ FOLDERID_Pictures	/Users/USERNAME/Pictures/	C:\Users\USERNAME\Pictures\
☐ FOLDERID_Videos	/Users/USERNAME/Movies/	C:\Users\USERNAME\Videos\
☐ FOLDERID_Documents	/Users/USERNAME/Documents/	C:\Users\USERNAME\Documents\
☐ FOLDERID_USERPROFILE	/Users/USERNAME	C:\Users\USERNAME\

全 9 件中 1 から 9 を表示中

変数を挿入 閉じる

図 9-9

例えば、フォルダー指定時に「FOLDERID_Documents バックアップファイル」と入力すると、「C:¥Users¥USERNAME¥Documents¥バックアップファイル」のフォルダーが対象となります。

日 フォルダの場所:

フォルダの場所:

FOLDERID_Documents/バックアップファイル

変数を挿入 フィルター

図 9-10

9-2-6-2 フィルター追加

バックアップするフォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。

(1) 拡張子や条件式でフィルター

拡張子、または条件式に一致するファイルに対して動作を選択するには、ここにチェックを入れます。下記の二通りがあります：

- 以下のファイルタイプや条件式を含める
特定のファイルのみをバックアップする場合、チェックを入れて拡張子、表現式（正規表現）を入力します。
- 以下のファイルタイプや条件式を除外する
除外するファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、表現式（正規表現）を入力します。

(2) 大きいサイズのファイルをバックアップしない

ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

(3) 古い日付のファイルをバックアップしない

更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

図 9-11



補足

デュアルバックアップのフィルターでは、(2) および (3) の設定はありません。

**注意**

正規表現でフィルターを設定する際は、「正規表現」にチェックを入れてください。なお、これにチェックを入れた場合は拡張子のワイルドカードやセミコロンなどはすべて無効になり、正規表現の書式に沿ってフィルターが行われるようになります。

正規表現の使用例については、オンラインヘルプ（<https://helpintelligent.aosbox.com/?p=7981>）をご覧ください。

9-2-7 設定

設定に関するポリシーを設定します。

9-2-7-1 全般設定

「隠しファイルを含める」

隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「バッテリーモードを有効にする」

バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「プレゼンテーションモードを有効にする」

プレゼンテーション、フルスクリーンでゲームプレイなどの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「パソコン起動時に AOSBOX を起動」

パソコンを起動と同時に AOSBOX アプリも起動します。通常はチェックを入れておいてください。

「マルチスレッドでアップロードする（ネットワーク速度に影響を与えます）」

アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。すべてのネットワーク帯域を消費するため、通常はチェックを外しておいてください。

「アップロード時に使用する接続方法」

バックアップを行うタイミングを「有線 LAN」「無線 LAN(Wi-Fi)」「モバイルデータ通信(3G/LTE)」の接続方法の中から選択して、制限することができます。



図 9-12

9-2-7-2 バックアップのスケジュール

「等間隔で実行」

設定した時間間隔でバックアップを実行します。既定の設定では 2 時間になっています。

- 「バックアップデータ整合性チェックの実行間隔」
バックアップ対象になっているファイル・フォルダーの中で、バックアップ漏れがないかをスキャンするタイミングを設定します。
- 「ブロックレベルバックアップの実行間隔」
時間を定めてブロックレベル対象に設定したファイルのバックアップを行います。

「スケジュールで実行」

設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

- バックアップ終了後に実行する処理
スケジュールによるバックアップが完了した後、コンピューターが実行する処理を選択します。
- 「ユーザーに警告せず実行中アプリケーションを強制的に閉じる」
バックアップ終了後の処理を実行するときに開かれているアプリケーションがある場合に、それらを警告なく終了します。

バックアップのスケジュール:

☒ 等間隔で実行: 2時間

バックアップデータ整合性チェックの実行間隔: 24時間

ブロックレベルバックアップの実行間隔: 24時間

警告: 間隔を短くすると、コンピューターのパフォーマンスに影響を及ぼすことがあります。

☐ スケジュールで実行:

開始時刻: 5:30 PM

☐ 終了時刻: 5:30 PM

曜日: ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日

☐ バックアップ終了後に実行する処理: シャットダウン

☐ ユーザーに警告せず実行中アプリケーションを強制的に閉じる (保存されていない作業やデータが失われる可能性があります)

図 9-13

**補足**

スケジュールを設定する際、「終了時刻」にチェックを入れると、バックアップを停止する時刻を設定できます。日をまたぐ設定も可能です。

- 午後 10 時 00 分から翌日の午前 6 時 00 分までバックアップを行うように設定できます。
- 日をまたぐ設定を行うと、次の日がバックアップする曜日でなくてもその時間まではバックアップが継続されます。
(例：金曜日のみ、23 時から翌 1 時までをスケジュールとして設定した場合、翌 1 時までにはバックアップしない土曜日であってもバックアップが行われます)

バックアップ終了後に実行する処理について

- 「等間隔でバックアップする」を選択している場合、この処理は実行されません。
- コンピューターが休止状態をサポートしていない場合、「休止状態」を選択してバックアップを完了しても、休止状態には移行しません。
- バックアップ処理が終了した時点で、指定された処理を実行します。終了時刻を指定した場合、待機中ファイルが存在していても終了時刻に実行されることになります。

9-2-7-3 ネットワーク帯域調整

「ネットワーク帯域調整を有効にする」

このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「帯域調整のスケジュールを有効にする」

このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になるように設定することができます。

ネットワーク帯域調整:

☐ ネットワーク帯域調整を有効にする

アップロード速度を調整: 128 KBPS

☐ 帯域調整のスケジュールを有効にする 調整する時刻:

開始: 4:10 PM

終了: 4:10 PM

図 9-14

9-2-8 権限

ユーザーに付与する権限についてポリシーを設定します。

(1) Web 管理ページの権限

Web コンソール上で、ユーザーに付与する権限を設定します。

(2) クライアントの権限

クライアントアプリ上で、ユーザーに付与する権限を設定します。

「クライアントパスコードを追加」でパスコードを設定するか、
「AOSBOX 権限のカスタマイズ」で操作を個別に制限することが可能です。

通常のストレージのデータ コールドストレージのデータ TI OCRデータ 拡張子 デュアルバックアップ 設定 権限

Web管理ページの権限:

☒ データの削除を有効にする ☒ 共有を有効にする ☒ ログインに使用するメールアドレスの変更を許可する

☒ パスワードの変更を許可 ☒ ユーザー名の変更を許可

クライアントの権限:

☒ クライアントパスコードを設定
AOSBOX クライアントでバックアップされたデータを表示、または復元しようとしたときにパスワードの入力を必要とします。
□□□□
4桁のパスワードを入力してください

☐ AOSBOX 権限のカスタマイズ
☐ [今すぐバックアップ]を有効にする ☒ 一時停止と再開を有効にする ☒ AOSBOXの終了を許可
☒ AOSBOXのアンインストールを許可

図 9-15



補足

クライアントの全般設定「5-5-6-2 全般（46 ページ）」でクライアントパスコードを設定している場合、クライアントパスコードが設定されたポリシーを割り当てられたコンピューターでは、ポリシーで設定されたパスコードを入力することになります。

9-3 ポリシーの割り当て

作成したポリシーは、ユーザーまたはサーバーに割り当てて初めて有効になります。ユーザーやサーバーにポリシーを割り当てるには、「8-6 ポリシーを変更（120 ページ）」をご覧ください。

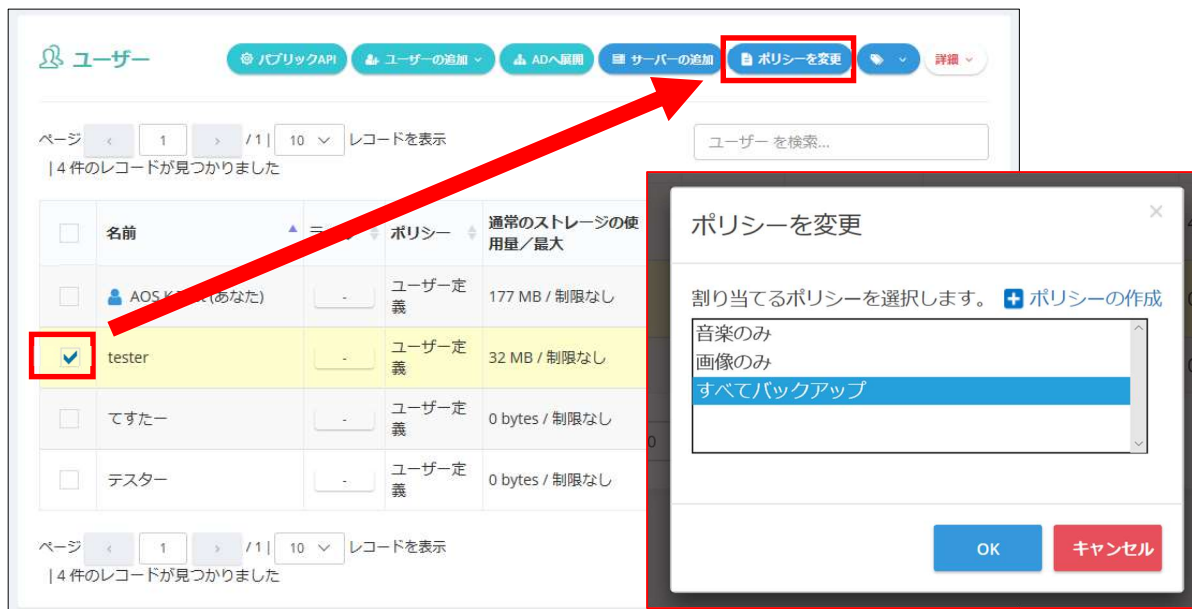


図 9-16

10-1 監査オプション

AOSBOX は、システム上（Web 管理画面）または AOSBOX アプリがインストールされているパソコン/サーバー上で行われる下記の各操作の記録を保持します。

- 任意のユーザーが Web 管理画面にログイン/ログアウトした
- 任意のユーザーが Web 管理画面上でユーザー、パソコン、サーバーの追加/一時停止/削除/有効化を行った
- 任意のユーザーが Web 管理画面上で、ファイルの検索/開く/ダウンロードを行った
- AOSBOX アプリがインストールされているパソコンからファイルがアップロード/名前変更/削除された

10-2 監査画面

左側のメニューから、「監査」を選択すると、「監査ビューアー」ページが開きます。

「監査ビューアー」ページでは、検索フィールドに入力し、「検索」ボタンをクリックすることによって、確認する必要がある内容についてより具体的に絞り込みできます。

より詳しい操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

<https://helpintelligent.aosbox.com/?p=10322>

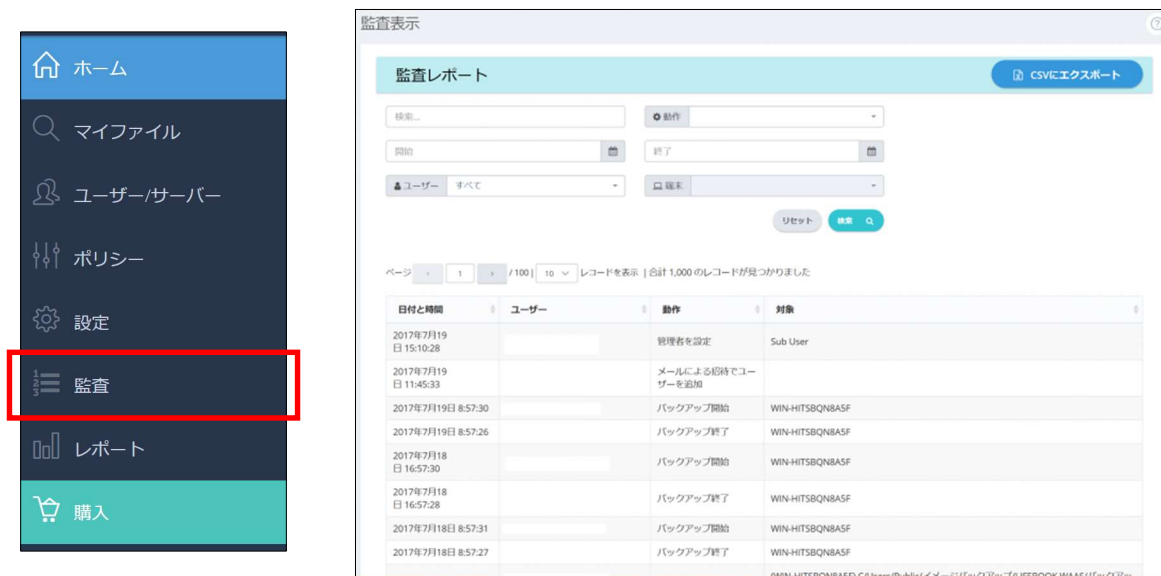


図 10-1

11

レポート



注意

アクセス権限について

当画面にアクセスするには、管理者のユーザーでかつアクセス権限が有効である必要があります。また、一部または全ての設定操作が行えない権限設定の場合があります。

権限設定の詳細は「[14 管理者権限の設定（170 ページ）](#)」をご覧ください。

11-1 レポート機能

AOSBOX の管理者は、AOSBOX 上のレポートを表示できます。

左側のメニューから、「レポート」を選択すると、「レポート」ページが開きます。

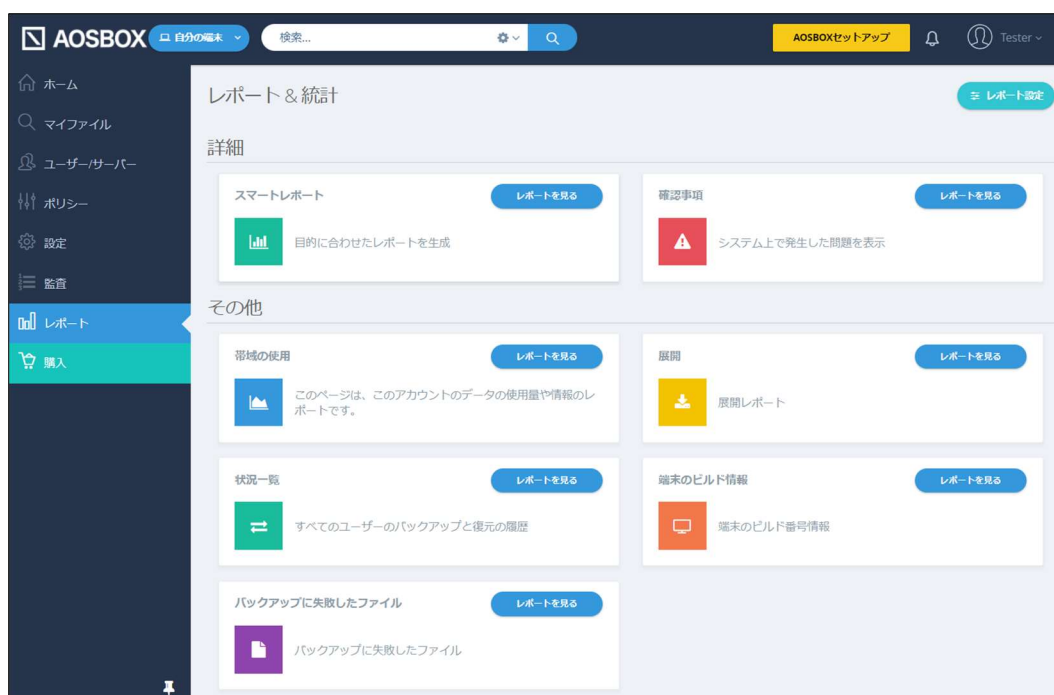


図 11-1

11-2 スマートレポート

スマートレポートは、ニーズに応じて特定のユーザーやストレージ使用量などで絞り込みを行った結果のレポートを生成します。また、このレポートをスケジュールに沿って定期的にメールで送信することも可能です。

レポート スマートレポート

▲ レポート管理

ユーザー: すべてのユーザー | 端末の種類: すべて選択

ビルドバージョン: すべて選択 | 前回のバックアップ: すべて選択

接続状況: すべて選択

☐ 通常のストレージの使用量（上限に対する割合）: 70 %

☐ コールドストレージの使用量（上限に対する割合）: 70 %

☐ OCRの使用量（上限に対する割合）: 70 %

表示詳細 | レポート生成

図 11-2

絞り込むユーザーやストレージの使用量を選択し、[レポート生成]ボタンをクリックすると、該当するパソコンやサーバーが一覧で表示されます。

ページ < 1 > / 1 | 50 レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました

一括操作

▲ このレポートを定期的に送信する

CSVにエクスポート

☐	端末名	ユーザー名	端末の種類	ビルド状態	前回のバックアップ	接続状況	使用中の通常のストレージ	使用中のコールドストレージ	使用中のOCRページ数
☐	A	副管理者	Windows	最新バージョン	2023/4/24	✖ オフライン	22 MB / 5 GB	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
☐	C	副管理者	Windows	最新バージョン	2023/4/18	✖ オフライン	0 bytes / 5 GB	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
☐	Main PC	ユーザー 20230420	Windows	古いバージョン	2023/4/27	✔ オンライン	23 MB / 制限なし	39 MB / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
☐	Server	Tester	Windows	古いバージョン	2022/12/1	✖ オフライン	2 MB / 1 GB	0 bytes / 2 GB	2 ページ数 / 10 ページ数
☐	teste/HV-WIN10	Tester	Windows	最新バージョン	2023/2/24	✖ オフライン	0 bytes / 制限なし	5 GB / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし
☐	teste/HV-WIN11	Tester	Windows	最新バージョン	2023/2/6	✖ オフライン	1.03 GB / 制限なし	20 MB / 制限なし	11 ページ数 / 制限なし

ページ < 1 > / 1 | 50 レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました

図 11-3

11-2-1 スマートレポートを定期的に送信する

11-2-1-1 スケジュールを登録する

生成したスマートレポートをスケジュールに沿って定期的にメールで送信するには、次の操作を行います。

- 1 一覧の上部にある **このレポートを定期的に送信する** ボタンをクリックします。
- 2 レポート名、送信先メールアドレス、メールの表題、および送信スケジュールを設定します。
- 3 レポート送信 をクリックしてスケジュールを登録します。

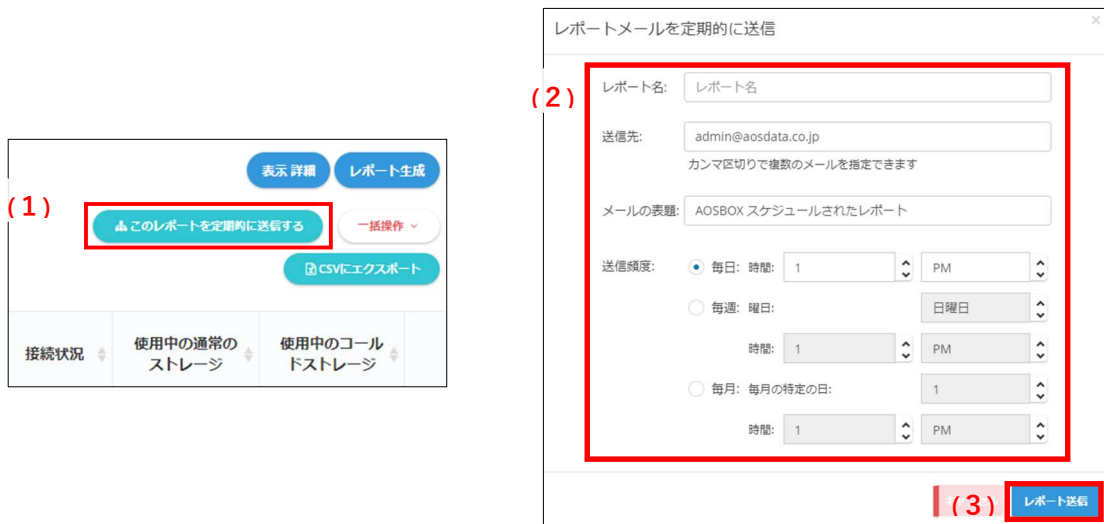


図 11-4

11-2-1-2 スケジュールを管理する

スケジュール登録されたスマートレポートは、レポート管理 ボタンから確認できます。



図 11-5

動作欄の各ボタンでレポートの操作を行います。

- (1) スマートレポートの内容を変更します。
- (2) スマートレポートのスケジュールを変更します。
- (3) スマートレポートを削除します。

レポート名	メールの送信期間	動作
PC一覧	毎日 送信 指定時間: 04:00 pm	(1) レポートの編集 (2) スケジュールの編集 削除
スマートレポート1	毎週 送信 指定曜日: 日曜日	レポートの編集 (3) スケジュールの編集 削除

図 11-6

11-2-2 [詳細] ボタン、[動作] ボタン

「詳細」ボタン、または一覧の「動作」ボタンをクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) パソコンやサーバーをアーカイブします。アーカイブすると、バックアップ済みデータを残したうえでバックアップは恒久的に終了します。
- (2) パソコンやサーバー（バックアップデータを含む）を削除します。
- (3) リモートバックアップを開始します。
「8-7 リモートバックアップ (122 ページ)」をご覧ください。



図 11-7

11-3 確認事項

一定期間バックアップされていない端末や、ストレージ不足などの問題点を表示します。



図 11-8

11-4 帯域の使用

バックアップ、または復元時のネットワークの使用状況を表示します。15 分/1 時間/1 日単位を選択できますが、実際にネットワーク使用があった場合にのみ表示されます。

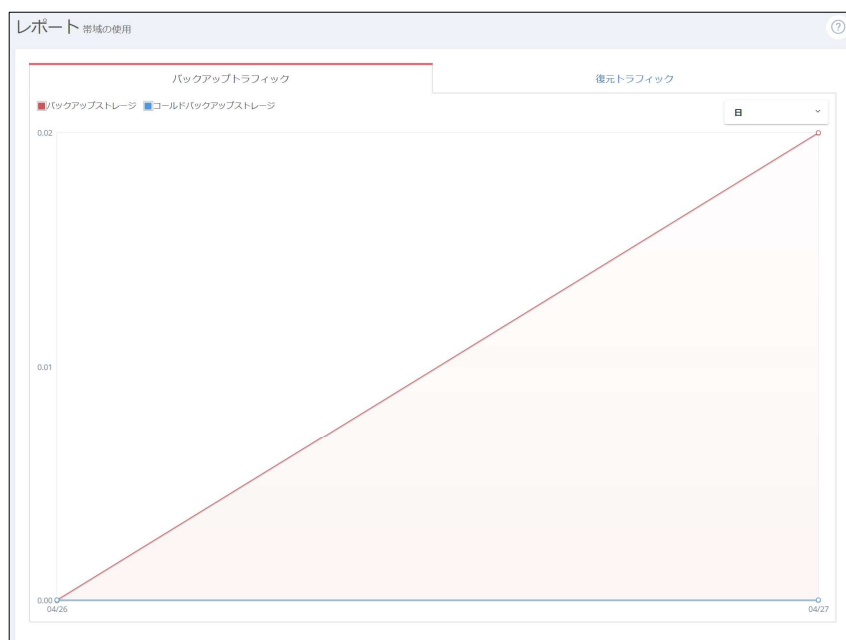


図 11-9

11-5 状況一覧

アカウント配下のすべてのユーザーの、バックアップと復元や帯域調整期間などの履歴を表示します。

レポート 状況一覧

状況一覧

Q 検索

状態: すべて

ユーザー: すべて

名前: すべて

開始: 終了

リセット 検索

ページ: 1 / 46 | レコードを表示 | 455 件のレコードが見つかりました

日付 & 時間	ユーザー	コンピューター名	状態
2018/5/1			
4:02 PM	副管理官	DESKTOP-JKTSOG	バックアップ完了
4:02 PM	副管理官	DESKTOP-JKTSOG	バックアップ開始
11:30 AM	副管理官	DESKTOP-JKTSOG	バックアップ 一時停止
2018/4/26			
11:25 AM	Sub User 2	DESKTOP-RINDSHV	バックアップ完了 (242.6 KB/1 項目)
11:25 AM	Sub User 2	DESKTOP-RINDSHV	バックアップ開始
10:58 AM	Sub User 2	DESKTOP-RINDSHV	バックアップ完了
10:58 AM	Sub User 2	DESKTOP-RINDSHV	バックアップ開始
2018/4/25			

ページ: 1 / 46 | レコードを表示 | 455 件のレコードが見つかりました

図 11-10

11-6 展開

展開エラーのレポートです。アクティブディレクトリ展開時に問題があった場合に記録されます。

レポート 展開

展開時エラーはありません

図 11-11

11-7 端末のビルド情報

それぞれの端末にインストールされているアプリのバージョン情報です。

レポート 端末のビルド情報

端末のビルド情報

Q 検索

ビルド番号 ユーザー

ページ / 1 | 50 レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました

端末	ビルド番号	種類	サブタイプ	最終アップロード日	最終ダウンロード日
副管理者/副管理者/HV-WIN11	2.2.13.900	Windows	デスクトップ	Apr 24, 2023	-
副管理者/副管理者/HV-WIN1064	2.2.13.900	Windows	デスクトップ	Apr 18, 2023	-
ユーザー20230420/ユーザー20230420/HV-WIN11	2.2.13.300	Windows	デスクトップ	今日	Apr 25, 2023
Tester/Tester/WIN-QASGKRLTOR4	2.2.9.700	Windows	サーバー	Dec 1, 2022	Apr 20, 2023
Tester/Tester/HV-WIN11	2.2.13.900	Windows	デスクトップ	Feb 6, 2023	Apr 25, 2023
Tester/Tester/HV-WIN10	2.2.13.900	Windows	デスクトップ	Feb 24, 2023	-

ページ / 1 | 50 レコードを表示 | 6 件のレコードが見つかりました

図 11-12

11-8 バックアップに失敗したファイル

バックアップに失敗したファイル レポートでは、何らかの理由によりバックアップに失敗したファイルが表示されます。それぞれの失敗したファイルについて、今後の振る舞いを選択することができます。



注意

記録される項目

- バックアップ対象になっているファイルの失敗がレポートに出力されます。バックアップ対象になっていないファイルはバックアップされなくてもレポートとして出力されません。
- 容量上限やファイルサイズ制限によってバックアップできなかったファイルは、レポートとして出力されません。
- コンピューターとオンラインの間で通信される情報を元に「失敗」を判断しているため、ネットワークの問題に起因するバックアップの失敗はレポートとして出力されません。
- アクセス権のないフォルダーは、OS の仕様上そのフォルダー内のファイルを参照できないため、アクセス拒否による失敗でもレポートとして出力されません。

レポート バックアップに失敗したファイル

バックアップに失敗したファイル

検索

ユーザー: すべてのユーザー 状態: 完了

リセット 検索

再実行 除外 CSVにエクスポート

ページ: 1 50 レコードを表示 | 1 件のレコードが見つかりました

ファイル名	状態	理由
locked.txt	失敗	アクセスが拒否されました

ページ: 1 50 レコードを表示 | 1 件のレコードが見つかりました

図 11-13

11-8-1 今後の振る舞いの選択

ファイルにチェックを入れ、「再試行」、または「除外」を選択することで、そのファイルの今後の振る舞いを選択できます。

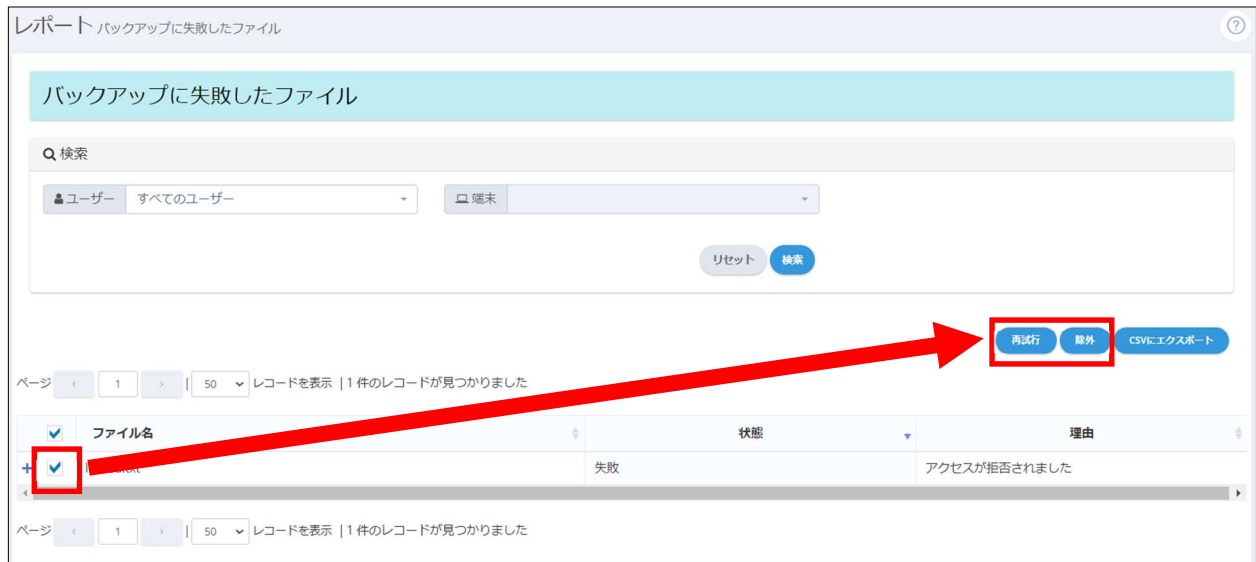


図 11-14

- **再試行**

下記の「除外」の状態が解除されます。ステータスは「バックアップを再試行」となり、次回のバックアップでバックアップが再度実行されます（再びバックアップに失敗すると、ステータスが「失敗」になります）。

- **除外**

ファイルは次回以降バックアップされなくなります。レポート一覧に、ステータス「除外(Web 経由)」として表示されたままになります。「再試行」することで、再びバックアップを試行できるようになります。

何も選択しなかった場合、次回バックアップ時に再試行されます。このバックアップで成功するとレポートからは表示されなくなります。再び失敗した場合は、ステータスが「失敗」になります。

11-9 レポート設定

「レポート設定」ボタンをクリックすると、各ユーザーの状況や確認事項などのレポートメールを受信するために、メール通知オプションを有効にすることができます。

11-9-1 使用状況のレポート

使用状況のレポートは、周期的に送信されるメールで、アカウントの現在の使用状況を知ることができるレポートです。

メールを周期的に送信

AOSBOX の使用状況レポートのメールを受信する頻度を選択します。

ストレージ警告のしきい値を設定する

使用状況レポート内のストレージの警告における、警告とみなすストレージ使用量を設定することができます。

一定期間以上バックアップが行われていない端末を含める

使用状況レポートに「バックアップの警告」が含まれるようになります。このレポートでは、一定期間バックアップが行われていないコンピューターを列挙します。また、警告とみなす期間を指定することができます。

送信先

使用状況レポートのメールの送信先を指定します。カンマ区切りで複数の送信先を指定可能です。

件名

使用状況レポートのメールの件名を指定します。

各項目を設定して最後に「保存」をクリックします。

図 11-15

11-9-2 警告レポート

警告レポートは、ストレージ使用率が一定量を超えたときに送信されるメールです。

既定の警告メールを送信

通常のストレージ、コールドストレージおよび OCR ページ数のいずれかの使用率が 75%を超えたときに、「容量が少なくなっている」旨を含む警告メールが送信されます。また、それらの使用率が 98%を超えたときには「空き容量がない」旨を含むメールが送信されます。

また、アカウントの更新案内メールは、期限日より 1 日前になった時に送信されます。

それぞれ、送信先は管理者アカウントのメールアドレスとなります。

警告メールをカスタマイズして送信

警告メールを送信するタイミングを指定します。通常のストレージ、コールドストレージ、または OCR ページの使用率、およびアカウントの更新案内の日数を指定します。

「既定の警告メールを送信」とは異なり、使用率が 98%を超えたときの「空き容量がない」旨を含むメールは送信されません。

送信先

使用状況レポートのメールの送信先を指定します。カンマ区切りで複数の送信先を指定可能です。

件名

使用状況レポートのメールの件名を指定します。

各項目を設定して最後に「保存」をクリックします。

警告レポートの設定

定期的なレポートメールを送信する

☒ 既定の警告メールを送信

☐ 警告メールをカスタマイズして送信

☐ 使用率が一定に達したときに警告メールを送信

☐ 使用中の通常のストレージ: 70 %

☐ 使用中のコールドストレージ: 70 %

☐ 使用中のOCRページ数: 70 %

☐ アカウントの更新が次の期間内にある場合に警告メールを送信: 1 日

送信先

カンマ区切りで複数のメールを指定できます

件名

AOSBOX 警告レポート

保存

図 11-16

11-9-3 大規模な復元発生時の警告

大規模な復元発生時の警告は、Web 管理画面から大容量の復元を試みた際に送信されるメールです。

大規模な復元リクエストが発生したときにメールを受信する

このオプションを有効にすると、管理者を含む各ユーザーが、全バックアップ総量の 60%を超える容量の復元リクエストを行った場合に、そのユーザーに対してメールで通知を行います。

設定して最後に「保存」をクリックします。

保存	
大規模な復元発生時の警告	☒ 大規模な復元リクエストが発生したときにメールを受信する このオプションを有効にすると、全データサイズの60%を超えるファイルの復元を試行したユーザーにメールが送信されます

図 11-17



補足

- 大規模復元アラートは、Web 管理画面からダウンロードする場合にのみ適用され、復元ユーティリティから復元する場合には適用されません。
- コールドストレージの場合でも、待機時間後にダウンロードされたときに、バックアップサイズの 60%を超える場合は大規模復元アラートとしてメールが発信されます。
- 通常のストレージとコールドストレージの容量は別扱いとなります。例えば、通常のストレージとコールドストレージにそれぞれ 1GB、計 2GB のファイルをバックアップし、どちらかのストレージから 700MB のファイルをダウンロードする際は、大規模復元アラートの対象となります。

11-9-4 バックアップ警告メール

バックアップ警告は、一定期間バックアップが実行されていないコンピューターがある場合に送信されるメールです。

AOSBOX デスクトップクライアントでバックアップを実行していない端末に、バックアップメールを送信する

チェックを入れることで、バックアップ警告メールが有効になります。

日数指定することで、この日数間バックアップされていない端末は「警告対象」になります。

下記の「メールを周期的に送信」の送信間隔と連動はしません。例えば、「7 日間バックアップされていない端末があることを毎日警告する」ことが可能です。

メールを周期的に送信

バックアップ警告メールの送信周期を指定します。

「1 日」、「1 週間」、「2 週間」、および「1 か月」から選択し、指定された周期ごとにバックアップ警告メールが送信されます。例えば、「1 日」を選択すると、毎日バックアップ警告メールが送信されます。

すべての管理者に警告を送信する

このオプションを有効にすると、バックアップ警告メールの送信先として、管理者ユーザー（通常はアカウント登録に使用したメールアドレス）が割り当てられます。ユーザー／サーバー セクションにおいて複数の管理者を設けている場合、管理者全員に送信されます。

このメールは、アカウント内の全ユーザーの「警告対象」となっている端末情報がすべて含まれています。

ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する

このオプションを有効にすると、アカウント内の全ユーザーの「警告対象」となっている端末情報が含まれるメールとは別に、「警告対象」となっている端末を持つユーザーごとに、個別のバックアップ警告メールが送信されます。なお、アカウント内の全ユーザーの「警告対象」となっている端末情報は送信されなくなります。

すべてのユーザーを含む警告メールを送信する

このオプションを有効にして、上の「ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する」オプションにて送信されなくなる、アカウント内の全ユーザーの「警告対象」となっている端末情報を送信するようにします。

エンドユーザーに警告を送信する

このオプションを有効にすると、バックアップ警告メールの送信先として、各ユーザーのメールアドレスが割り当てられます。バックアップ警告メールの内容は、それぞれのユーザーが持っている「警告対象」となっている端末情報です。

指定のメールアドレスに警告を送信する

このオプションを有効にすると、バックアップ警告メールの送信先として、下部にあるフォームで指定したメールアドレスが割り当てられます。

このメールは、アカウント内の全ユーザーの警告対象となっている端末情報がすべて含まれています。

ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する

上記「すべての管理者に警告を送信する」配下のオプションと同様の働きをします。その違いは、こちらのオプションは指定したメールアドレス宛にメールが送信されることです。

すべてのユーザーを含む警告メールを送信する

このオプションを有効にして、上の「ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する」オプションにて送信されなくなる、アカウント内の全ユーザーの「警告対象」となっている端末情報を送信するようにします。

件名

バックアップ警告メールの件名を指定します。指定しなかった場合、「バックアップ警告メール」がバックアップ警告メールの件名になります。

「ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する」オプションによって送信されるバックアップメールには、ここで“#USERNAME#”を指定することで、その部分がユーザー名に置き換わります。

設定して最後に「保存」をクリックします。

バックアップ警告メール

保存

☐ AOSBOXデスクトップクライアントでバックアップを実行していない端末に、バックアップ警告メールを送信する

7 日

メールを定期的に送信

1週間

☐ すべての管理者に警告を送信する

☐ ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する

☐ すべてのユーザーを含む警告メールを送信する

☐ エンドユーザーに警告を送信する

☐ 指定のメールアドレスに警告を送信する

☐ ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する

☐ すべてのユーザーを含む警告メールを送信する

email1@mail.com,email2@mail.com
複数のメールアドレスを指定できます（カンマ区切り）

件名

#USERNAME# や #USEREMAIL# を記入すると、件名にユーザー名やユーザーのメールアドレスを含めることができます。これは「ユーザーごとに識別子をつけて別個に送信する」オプションにより別個に送信されるメールのみに適用されます。

図 11-18

「設定」では、AOSBOX アカウント全体の設定を行います。



注意

アクセス権限について

当画面にアクセスするには、管理者のユーザーでかつアクセス権限が有効である必要があります。また、一部または全ての設定操作が行えない権限設定の場合があります。

権限設定の詳細は「[14 管理者権限の設定（170 ページ）](#)」をご覧ください。

12-1 保持設定

ファイルを無制限に保持することは、バックアップ済みであれば以前のどのような世代のファイルも復元可能であることを意味します。しかし、その分クラウドストレージの容量を消費し続けます。ファイル保持期間を指定することで、クラウドストレージの容量を調整可能です。ここでの設定は、アカウント内の全ユーザーに適用されます。

通常ストレージの保持

通常ストレージのファイルの保持期間を指定します。世代数または期間で指定します。

コールドストレージの保持

コールドストレージのファイルの保持期間を指定します。世代数または期間で指定します。

削除済みファイルの保持

パソコンやサーバーから削除されたファイル（「マイファイル」タブで赤字になっているファイル）の保持期間を指定します。

各項目を設定して最後に「**保存 設定**」をクリックします。

The screenshot shows the 'Settings' page with a 'Keep Settings' section. It contains three rows of settings:

設定項目	設定内容
通常ストレージの保持	各ファイルごとに維持 ● 10 世代 ○ ファイルの古い世代を削除: 10 日
コールドストレージの保持	各ファイルごとに維持 ● 10 世代 ○ ファイルの古い世代を削除: 10 日
削除済みファイルの保持	端末またはサービス側で削除済みの AOSBOX AI plus ストレージにあるファイルの保持期間 無期限

図 12-1

12-2 保持設定（詳細）

ここでは、パソコンやサーバーのファイル/フォルダーに対して個別の保持設定を行います。



補足

- アカウント内の全ユーザーの保持設定の競合が発生した場合、個別の保持設定が優先されます。
- 個別の設定で競合が発生した場合は、配下のファイル/フォルダーが優先されます。

12-2-1 保持設定の追加

1 保持設定の追加 をクリックします。



図 12-2

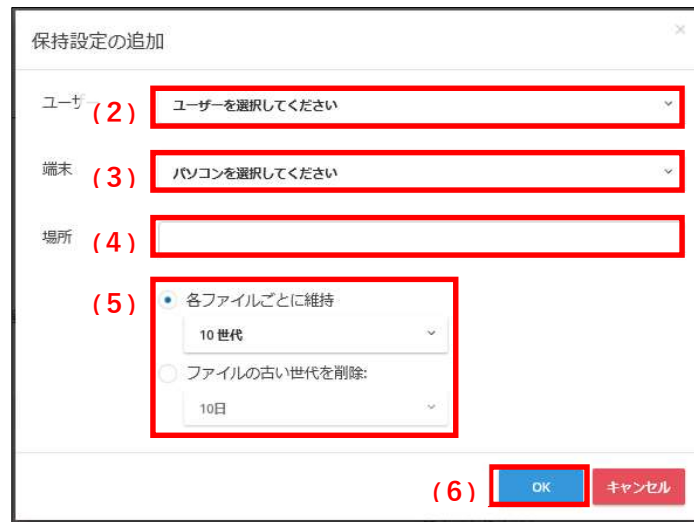
2 ユーザーを選択します。

3 端末（パソコンまたはサーバー）を選択します。

4 ファイル/フォルダーの場所を指定します。
ファイル/フォルダーの場所は完全パスで指定します。
※ポリシーとは異なり、変数は使用できません。

5 ファイルの保持期間を指定します。世代数または期間で指定します。

6 OK をクリックして個別の保持設定を保存します。



保持設定の追加

ユーザー (2) ユーザーを選択してください

端末 (3) パソコンを選択してください

場所 (4)

(5) ☒ 各ファイルごとに維持
 10 世代
☐ ファイルの古い世代を削除:
 10 日

(6) OK キャンセル

図 12-3

12-2-2 保持設定の操作

「動作」ボタンをクリックすると下図のメニューが表示されます。

- (1) 保持設定を削除します。
- (2) 保持設定を変更します。



保持設定 (詳細) + 保持設定の追加

ページ < 1 > / 1 | 10 レコードを表示 | 1 件のレコードが見つかりました

ユーザー	端末	場所	種類	値	日付	動作
AOS管理者	Main PC	C:\AOSBOX\	世代	10 世代	2022/10/18	(1) 削除 (2) 編集

ページ < 1 > / 1 | 10 レコードを表示 | 1 件のレコードが見つかりました

図 12-4

12-3 クライアントストレージ警告の設定

設定可能なオプションは 1 つのみになります。

このオプションを有効にすると、AOSBOX アプリでストレージ警告のポップアップメッセージが表示されなくなります。

設定して最後に「**保存 設定**」をクリックします。



クライアントストレージ警告の設定		保存 設定
クライアントストレージ警告の設定	☐ AOSBOX AI plus デスクトップクライアントでストレージアラートを非表示にする	

図 12-5

13

アカウント設定

右上のアカウントアイコンをマウスオーバーし、表示されるメニューから「アカウント設定」をクリックすると、名前・メールアドレスの更新、パスワードの変更、ライセンスの更新、二段階認証、および接続 IP 制限の設定を行うことができます。

13-1 名前・メールアドレスの更新

変更したい項目を入力して、「更新」をクリックします。

図 13-1



注意

メールアドレスの変更を行うと AOSBOX アプリでのバックアップが停止します。再開するには AOSBOX アプリを開いてログインし直してください。

13-1-1 アカウントの削除

「アカウントを削除する」をクリックすると、所定の手続きの後アカウントを削除できます。

アカウントを削除すると、**アカウント下のすべてのユーザー、パソコン、サーバーが削除され、それらの端末でバックアップしていたファイルはすべて削除されます。**

なお、アカウントを削除しても、ご契約は継続されたままになります。アカウント削除後の契約手続きについては、販売元までお問い合わせください。

13-2 パスワードの変更

「今までのパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワードの確認」すべてを入力して、「パスワードを変更」をクリックします。

パスワード	
今までのパスワード:	今までのパスワード
新しいパスワード:	新しいパスワード
パスワードの確認:	パスワードの確認

図 13-2

**注意**

パスワードの変更を行うと AOSBOX アプリでのバックアップが停止します。再開するには AOSBOX アプリを開いてログインし直してください。

13-3 ライセンス

アップグレード用のライセンスキーをお持ちであれば、弊社窓口を介さずにここからアカウントのアップグレードが可能です。ライセンスキーを入力し、「購入」ボタンをクリックします。

ライセンス	
以前のライセンスキー:	
新しいライセンスキー:	ライセンスの挿入

図 13-3

**補足**

ここでのライセンスキー操作によって追加の料金が発生することはありません。

13-4 二段階認証

二段階認証は任意ですが、推奨されるセキュリティ機能です。有効にすると、AOSBOX アカウントにログインしようとするたびに、パスワードに加えて 6 桁のセキュリティコードが必要になります。このセキュリティコードは「ワンタイムパスワード」とも呼ばれます。

13-4-1 二段階認証を設定する

二段階認証を有効にするには、次の操作を行います。

- 1 [アカウント設定]ページに、二段階認証の設定があります。チェックボックスをオンにして、二段階認証を有効にすると QR コードが表示されます。

The image shows two screenshots of the AOSBOX account settings page. The top screenshot shows the '二段階認証' (Two-step authentication) section with a checkbox labeled '二段階認証を有効にする' (Enable two-step authentication) which is currently unchecked. Below the checkbox is a description: 'これにより、あなたの AOSBOX アカウントにログインしようとするたびに、パスワードに加えて6桁のセキュリティコードが必要になります。' (This will require a 6-digit security code in addition to your password each time you log in to your AOSBOX account). The bottom screenshot shows the same section after the checkbox is checked. A QR code is displayed under the label 'バーコード:' (Barcode:). Below the QR code are two input fields: 'セットアップ キー:' (Setup key:) and 'コード:' (Code:), both with placeholder text 'コード' (Code).

図 13-4

- 2 お使いのスマートフォンに、ワンタイムパスワード生成アプリをインストールします。
お使いのスマートフォンに、ワンタイムパスワード生成アプリをインストールします。下記のアプリが利用可能で、これらはタイムベースのワンタイムパスワード (TOTP) プロトコルをサポートしています。

- [Google 認証システム](#)
- [Microsoft Authenticator](#)

- 3 インストールしたアプリを開き、生成された QR コードをスキャンします。スキャン後アプリは、6 桁のセキュリティコードを生成します。

Google 認証システムでの設定例

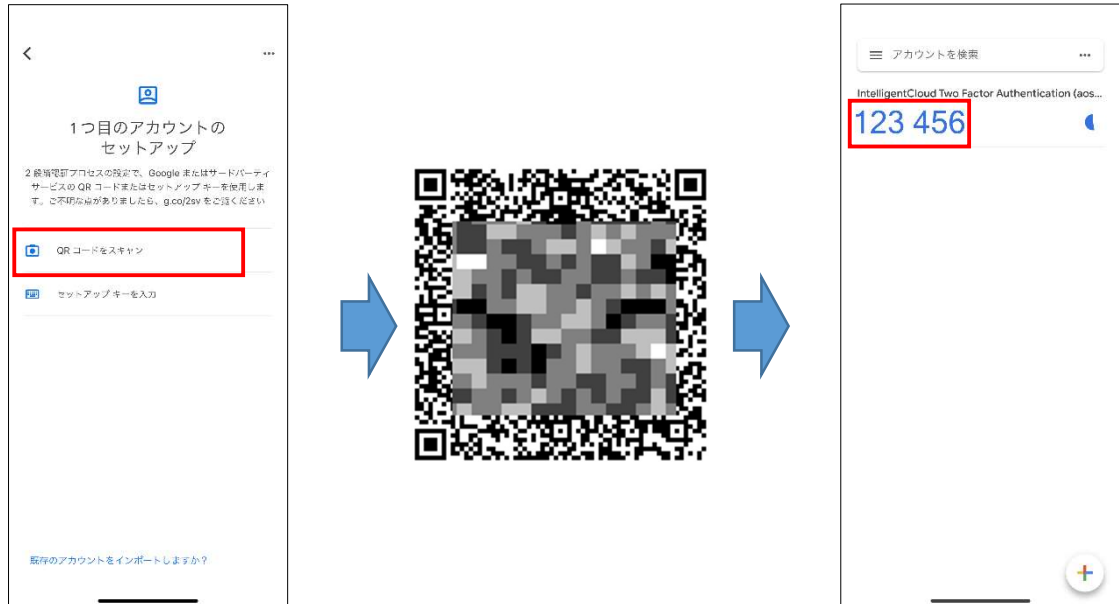


図 13-5

- 4 二段階認証の QR コードの下にある入力欄に 6 桁のセキュリティコードを入力し「更新」ボタンをクリックします。



図 13-6

**注意**

- セキュリティコードを生成するアプリは、スマートフォンから削除しないでください。セキュリティコードを生成する方法がなくなった場合、そのアカウントにログインすることができなくなります。
- 機種変更などでアプリを別のスマートフォンに移動したい場合は、一度二段階認証を無効にして、新しいスマートフォンでもう一度二段階認証の設定手順を行ってください。
- スマートフォンの故障などでアプリを実行できなくなった場合の二段階認証解除方法は、弊社までお問い合わせください。二段階認証解除方法以外のアプリに関するお問い合わせは、弊社ではお答えできません。

13-4-2 ログイン時にセキュリティコードを入力する

13-4-1 二段階認証を設定する (160 ページ) を行くと、Web 管理画面に AOSBOX アカウントでログインしようとするたびに、6 桁のセキュリティコードが要求されます。ログインごとに、この 6 桁のコード（ワンタイムパスワード）生成アプリを実行し、新しいコードを取得する必要があります。

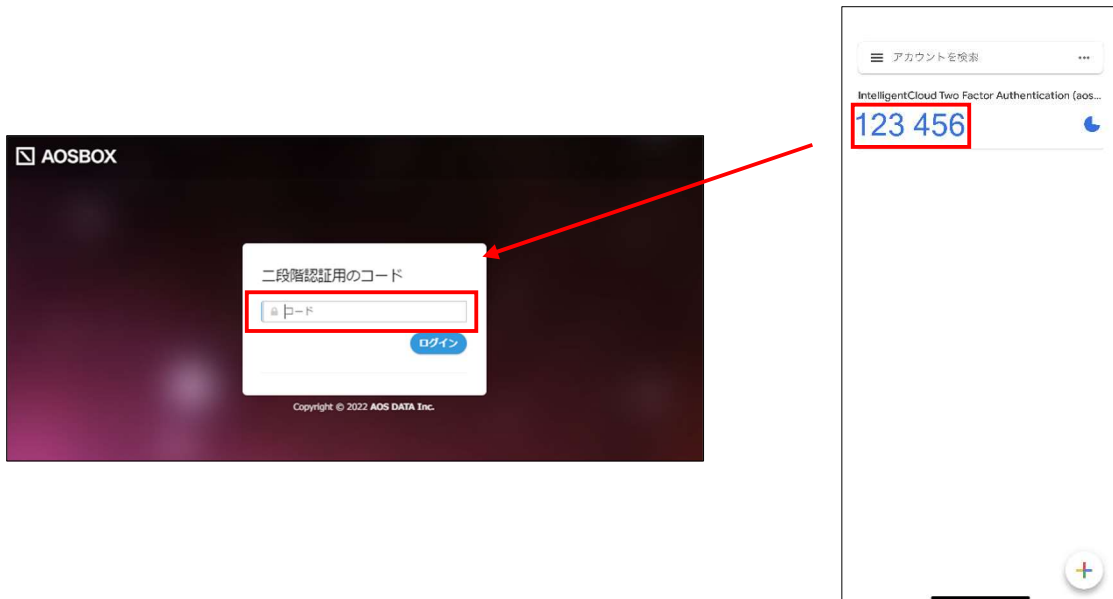


図 13-7

13-5 接続 IP 制限

接続 IP 制限機能は、AOSBOX アプリおよび Web 管理画面にアクセス可能な IP アドレスを制限（特定の IP アドレスからの接続をブロック）するものとなります。

アカウント設定画面にある接続の設定にて、許可されていない接続からのアクセスをブロックすることができます。



図 13-8



補足

- 管理者権限を持つユーザーのみ設定を行うことができます。接続 IP 制限は、管理者を含む配下の全ユーザーが対象となります。
- 制限する IP アドレスは、グローバル IP アドレスで指定します。ローカル IP アドレスを指定することはできません。
- ブロックされている IP アドレスの接続からは、クライアントプログラムへのログイン、バックアップと復元、および Web 管理画面へのログインができなくなります。



注意

- 接続 IP 制限は、IPv4 で指定する場合のみ対応します。
- 本機能の正常な利用のためには、固定のグローバル IP アドレスが必要になります。ご契約のインターネットプロバイダーが固定 IP アドレスを提供していることをご確認ください。なお、モバイル WiFi ルーターやスマートフォン等のテザリング経由でインターネットに接続している場合は IP アドレスが頻繁に更新されるため、本機能を使用しないことを推奨します。
- Web 管理画面でログイン中の IP アドレスをブロックした場合、ログインセッション中は Web 管理画面の操作が可能ですが、ログアウト後に再ログインができなくなります。

13-5-1 接続 IP 制限を設定する

接続 IP 制限の指定方法には二通りがあります。

特定の IP アドレスを持つ接続からのみアクセスを許可する

ホワイトリスト形式のように、指定された IP アドレスを持つ接続以外をすべてブロックします。

指定された IP アドレスを持つ接続からのアクセスを制限する

ブラックリスト形式のように、指定された IP アドレスを持つ接続のみをブロックします。

13-5-1-1 特定の IP アドレスを持つ接続からのみアクセスを許可する

ホワイトリスト形式のように、指定された IP アドレスを持つ接続以外をすべてブロックするには、下記のように設定を行います。

1 [アカウント設定]ページの接続 IP 制限の設定から、「特定の IP アドレスを持つ接続からのみ AOSBOX へのアクセスを許可する」を選択します。

2 「IP アドレスを追加」をクリックします。

図 13-9

3 [接続 IP 制限を追加]ウィンドウにて、IP アドレスを指定します。

- **特定の IP アドレスを指定**
個別の IP アドレスを指定します。[接続名]には任意の名前を入力し、IP アドレスは IPv4 の形式で入力します。
- **IP アドレスの範囲を指定**
複数の IP アドレスを指定する場合に選択します。[接続名]には任意の名前を入力し、IP アドレスは IPv4+CIDR の形式で入力します。例えば、192.168.2.xxx のホスト部を範囲として指定する場合は、「192.168.2.0/24」と入力します。

4 [OK]をクリックします。

5 確認メッセージで、再度[OK]をクリックします。



図 13-10

6 [保存]をクリックします。

さらに IP アドレスを追加する場合は、「IP アドレスを追加」をクリックし、手順 3 からの操作を繰り返します。



図 13-11

13-5-1-2 指定された IP アドレスを持つ接続からのアクセスを制限する

ブラックリスト形式のように、指定された IP アドレスを持つ接続のみをブロックするには、下記のように設定を行います。

1 [アカウント設定]ページの接続 IP 制限の設定から、「指定された IP アドレスを持つ接続から AOSBOX へのアクセスを制限する」を選択します。

2 「IP アドレスを追加」をクリックします。

図 13-12

3 [接続 IP 制限を追加]ウィンドウにて、IP アドレスを指定します。

- **特定の IP アドレスを指定**
個別の IP アドレスを指定します。[接続名]には任意の名前を入力し、IP アドレスは IPv4 の形式で入力します。
- **IP アドレスの範囲を指定**
複数の IP アドレスを指定する場合に選択します。[接続名]には任意の名前を入力し、IP アドレスは IPv4+CIDR の形式で入力します。例えば、192.168.2.xxx のホスト部を範囲として指定する場合は、「192.168.2.0/24」と入力します。

4 [OK]をクリックします。

5 確認メッセージで、再度[OK]をクリックします。

図 13-13

6 [保存]をクリックします。

さらに IP アドレスを追加する場合は、「IP アドレスを追加」をクリックし、手順 3 からの操作を繰り返します。

図 13-14

13-5-2 接続 IP 制限を解除しすべての接続を許可する

接続 IP 制限を解除しすべての IP アドレスからの接続を許可するには、下記のように設定を行います。

- 1 [アカウント設定]ページの接続 IP 制限の設定から、「既定の設定：すべての IP アドレスに対して AOSBOX へのアクセスを許可する」を選択します。
- 2 [保存]をクリックします。

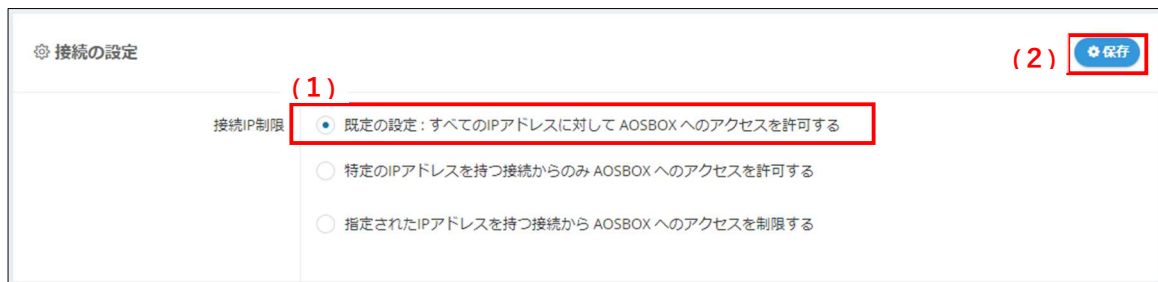


図 13-15

- 3 確認メッセージで、[はい]をクリックします。



図 13-16

13-6 自動ログアウト

一定時間 Web 管理画面での操作が行われていない場合に、自動的にログアウトするオプションを設定できます。これによって、ログイン状態のままで放置することによって発生するセキュリティリスクを軽減できます。

図 13-17



補足

自動ログアウトオプションは、ログインの際に「記録する」オプションを有効にしてからログインを行った場合に機能します（「記録する」オプションが無効の場合は、自動ログアウトオプションに関係なく、ブラウザセッション終了と同時にログアウトされます）。

14

管理者権限の設定

14-1 ユーザーと管理者の違い

AOSBOX では、追加したユーザーに管理者権限を付与することができます。また、管理者権限を持つユーザーに対して与えられる権限を編集することができます。

管理者権限の有無により、アクセスできる画面は下記の通りです。

管理者権限を有しており、画面へのアクセスが可能であっても、情報閲覧のみとして操作が行えない様に設定することも可能です。

詳細は「[14-2 管理者権限の設定（171 ページ）](#)」をご覧ください。

表 14-1

	管理者	ユーザー
ホーム画面へのアクセス	○	○
マイファイル画面へのアクセス	○	○
ユーザー/サーバー画面へのアクセス	権限によって変更可	×
ユーザー/サーバー画面での機能の操作	権限によって変更可	×
ユーザー/パソコン/サーバーの追加 管理者権限の追加	権限によって変更可	×
ポリシー画面へのアクセス	権限によって変更可	×
ポリシーの作成・変更	権限によって変更可	×
ポリシーの削除	権限によって変更可	×
設定画面へのアクセス	権限によって変更可	×
設定画面での機能の操作	権限によって変更可	×
監査画面へのアクセス	○	×
レポート画面へのアクセス	権限によって変更可	×
購入画面へのアクセス	権限によって変更可	×
検索許可の範囲を編集	権限によって変更可	×
管理者権限の変更画面へのアクセス	権限によって変更可	×
管理者権限の変更画面での機能の操作	権限によって変更可	×

14-2 管理者権限の設定



注意

アクセス権限について

当画面にアクセスするには、管理者のユーザーでかつアクセス権限が有効である必要があります。また、一部または全ての設定操作が行えない権限設定の場合があります。

権限設定の詳細は「[14 管理者権限の設定（170 ページ）](#)」をご覧ください。

アカウントアイコンをマウスオーバーし、表示されるメニューから「管理者の権限を変更」をクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面では、管理者権限を付与したユーザーに対して、権限変更の設定を行います。

- (1) 管理者を一覧で表示します。
- (2) 「編集」をクリックすると、該当する管理者の権限変更が可能です。



図 14-1

14-3 管理者権限を編集

管理者の以下の権限を変更することができます。
それぞれの変更を行い最後に「保存」をクリックします。

管理者の権限を変更	
	副管理者の権限を編集
ユーザー	☐ なし ☐ 表示 ☐ 変更 ☒ 完全
ポリシー	☐ なし ☐ 表示 ☐ 変更 ☒ 完全
設定	☐ なし ☐ 表示 ☒ 完全
レポート	☐ なし ☒ 完全
購入	☐ なし ☒ 完全
検索	☐ なし ☒ 完全
管理者の権限を変更	☐ なし ☐ 表示 ☒ 完全
保存 キャンセル	

図 14-2

ユーザー：ユーザー/サーバー画面へのアクセス

表 14-2

なし	「ユーザー／サーバー」がメニューバーから表示されなくなる（ユーザー／サーバー画面にアクセスできなくなる）
表示	ユーザー／サーバー画面内で、閲覧以外のことができなくなる（変更不可）
変更	ユーザー／サーバー画面内で、ユーザー／パソコン／サーバーの削除と管理者権限の追加ができなくなる
完全	ユーザー／サーバー画面内のすべての操作が行える

ポリシー：ポリシー画面へのアクセス

表 14-3

なし	「ポリシー」がメニューバーから表示されなくなる（ポリシー画面にアクセスできなくなる）
表示	ポリシー画面内で、ポリシーの作成、編集、削除ができなくなる（変更不可）
変更	ポリシー画面内で、ポリシー削除ができなくなる
完全	ポリシーの作成、編集、削除できる

設定：設定画面へのアクセス

表 14-4

なし	「設定」がメニューバーから表示されなくなる（設定画面にアクセスできなくなる）
表示	設定画面内の「保存」をクリックするとメッセージが表示される（変更不可）
完全	設定を変更できる

レポート：レポート画面へのアクセス

表 14-5

なし	「レポート」がメニューバーから表示されなくなる（レポート画面にアクセスできなくなる）
完全	メニューバーに「レポート」が表示される

購入：購入画面へのアクセス

表 14-6

なし	「購入」がメニューバーから表示されなくなる（購入画面にアクセスできなくなる）
完全	メニューバーに「購入」が表示される

検索：ユーザーの検索範囲の変更を許可

検索範囲の指定については、オンラインヘルプをご覧ください：

<http://helpintelligent.aosbox.com/?p=11810>

表 14-7

なし	ユーザーの検索範囲の変更が行えない
完全	ユーザーの検索範囲の変更が行える ※実際に変更するには、「ユーザー／サーバー画面」へのアクセス権を持っている必要があります。

管理者の権限を変更：権限設定の変更

※現在ログイン中の管理者については、この権限を変更できません。

表 14-8

なし	アカウントメニューに「管理者の設定」が表示されなくなる
表示	管理者の設定にある「編集」をクリックするとメッセージが表示される（変更不可）
完全	管理者の権限を変更できる

15

アプリのアンインストール

15-1 アンインストール

以下の手順に従って、AOSBOX アプリをアンインストールします。アンインストールは、必ず管理者アカウントを削除する前に行ってください。



注意

アカウントの削除について

アカウントの削除については、事前に販売店へご連絡の上、指示に従ってください。

- 1 Windows 設定の「アプリと機能」を開きます。
- 2 アプリ一覧から AOSBOX を選択し「アンインストール」をクリックします。
- 3 「AOSBOX アンインストール」ダイアログが表示されます。「AOSBOX の設定を保持する」のチェックボックスを選択してから、「アンインストール(U)」をクリックします。

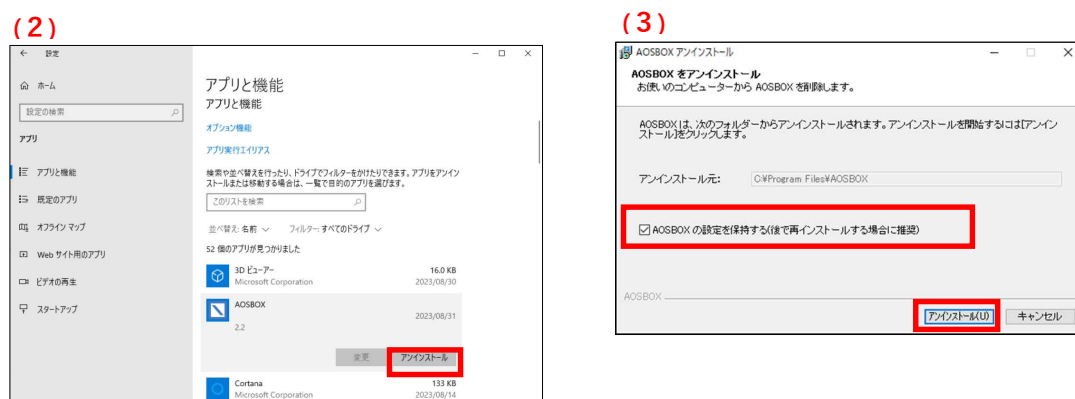


図 15-1



補足

「AOSBOX の設定を保持する」のチェックボックスは、再インストール時に同じ設定で AOSBOX を使用する場合はチェックを入れてください。

以後ご利用にならない場合や、アプリの不具合により再インストールする場合は、チェックを外してください。

4 アンインストールが開始します。しばらくするとアンインストールが終了します。

5 アンインストールが完了しました。「閉じる(C)」をクリックします。

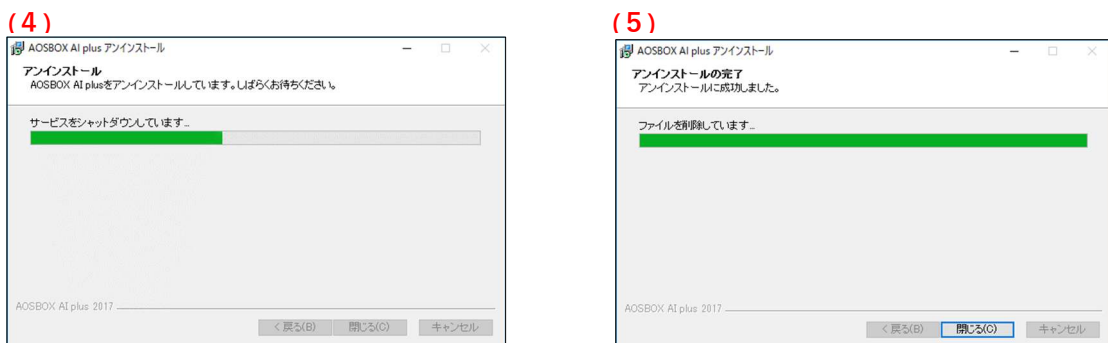


図 15-2

16-1 よくある質問

コールドストレージからファイルを復元するには？

コールドストレージから復元する場合も、通常のストレージのファイルと同様の手順を実施します。

詳細は「[7 復元（80 ページ）](#)」をご覧ください。

コールドストレージからの復元には、3～5 時間以上の待機時間が発生します。

AOSBOX の他のエディションとの同時インストールは可能ですか？

AOSBOX AI Plus は、AOSBOX Business 版や Cool 版と同時にインストールして両方のストレージにバックアップすることはできません。

AOSBOX Business 版や Cool 版がインストールされているパソコンに AOSBOX AI Plus をインストールすると、AOSBOX Business 版や Cool 版のバックアップは停止し、AOSBOX AI Plus のログイン画面が表示されます。また、AOSBOX AI Plus がインストールされているパソコンに AOSBOX Business 版や Cool 版インストールする場合でも同様です。

契約アカウントの容量を減らすことはできますか？

いいえ、できません。

アカウントの容量は、増加のみ可能となっております（契約更新時に容量据え置きにすることは可能です）。

また、契約期間を短くすることもできません。

AOSBOX のアカウントをアップグレードするには？

担当営業にお問い合わせください。

おまかせバックアップの各カテゴリーは、何をバックアップしますか？

詳細は「[1-2-2 おまかせバックアップ対象ファイル（7 ページ）](#)」をご覧ください。

バックアップする項目を選択するには？

バックアップする項目を選択するには、3 つの方法があります：

- 初回バックアップの設定中に、バックアップする項目を選択します。
「[4-1 インストール（16 ページ）](#)」をご覧ください。
- 初回バックアップ設定後は、バックアップデータの選択画面からバックアップする項目を選択します。
「[5-3 バックアップデータの選択（27 ページ）](#)」をご覧ください。
- ポリシーでバックアップする項目を定義し、そのポリシーをユーザーに割り当てます。
「[9 ポリシー（123 ページ）](#)」・「[8-6 ポリシーを変更（120 ページ）](#)」をご覧ください。

AOSBOX を実行するためのシステム要件は？

詳細は「[1-1 動作環境について（6 ページ）](#)」をご覧ください。

パスワードを忘れてしまいました。

パスワードを忘れてしまった場合、以下の操作を行ってパスワードをリセットします。

1. Web 管理画面、またはアプリのログイン画面で「パスワードを忘れた場合」をクリックします。
2. パスワードリセットの Web ページが開きます。アカウントのメールアドレスを入力します。入力後「送信」をクリックします。
3. パスワードをリセットするためのリンクを含むメールが到着します。リンクをクリックして、新しいパスワードを指定します。

図 16-1

対応するお支払い方法は何がありますか？

担当営業にお問い合わせください。

どのようにしてストレージ容量を追加することができますか？

担当営業にお問い合わせください。

価格にはすべての利用するための料金が含まれていますか？

はい。示されている料金がすべてで、別途手数料などは発生しません。

料金には、Amazon S3 ストレージ使用料、AOSBOX サービス、ソフトウェアおよびそれに関連するものが含まれています。

AOSBOX 起動時に「ユーザー アカウント制御」画面(UAC)が表示されるようになりました。

Windows 10 環境で次の条件の両方を満たすと、発生することがあります。

- Windows のビルド番号が変わるような大きなアップデートがあった場合
- Windows のアップデート前にデュアルバックアップが設定されていて、アップデート後にデュアルバックアップ先にアクセスできない場合

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、Windows の仕様上、許可を与えるまでバックアップが開始されません。

改善するには以下の方法をお試しください。

- デュアルバックアップ先にアクセスできる状態にした上で AOSBOX を起動し、UAC に許可を与える。
- AOSBOX をアンインストール後、再インストールする。
※アンインストール時に「AOSBOX の設定を保存する」にチェックを入れたままにしてください。

アカウントがロックされてログインができません。

Web 管理画面にログインする際に、パスワードの一定回数誤入力を行うと、セキュリティ保持のためログインはロックされます。

ログインがロックされたアカウントやユーザーは、登録されたメールアドレス宛にロック解除（再有効化）を行うための手続き方法が含まれるメールが送信されます。メールの指示通り操作を行ってロックを解除すると、再びログインが可能になります。

「保留中」となっているファイルがいつまでたってもバックアップされません。

下記の事項をご確認ください。

- ブロックレベルバックアップ対象となっているファイルは、等間隔バックアップを選択している場合は、通常 24 時間ごとにバックアップが行われます（スケジュールによるバックアップを選択している場合はスケジュール通りに行われます）。そのため、他のファイルのバックアップが完了した後でも、ブロックレベルでバックアップするファイルは保留中として残り続けます。
これは仕様となります。

- 開かれていて Windows からロックされているファイルは、自動的にボリュームシャドウコピーサービスを利用してバックアップが行われますが、ファイルのロック状態を判定する処理をスキップすると改善が見込まれます。AOSBOX アプリ設定画面から VSS 対象の拡張子に保留中ファイルの拡張子を追加してください。

AOSBOX の解約方法

販売店様により異なります。詳しくはご購入時の販売店様へお問い合わせください。

AOSBOX を解約した場合

定められた利用停止日になるとログインができなくなり、バックアップは停止します。
利用停止日前に、お客様においてデータの保全・移動をお願いします。

解約後のデータの扱い

1 か月のデータ保存をした後、規約に基づき、データはクラウド上から完全に削除されます。

16-2 困ったときは

16-2-1 パソコン/サーバーの入れ替え時の対処

パソコン/サーバー（以下、端末）を入れ替える際、最初に、古い端末でバックアップしていたデータを、新しい端末に復元するか、復元せずにアーカイブとして残しておくか、または復元せずに削除するかを、目的に応じて選択します。その後、新しい端末の AOSBOX にログインを行います。

次の 3 つのセクションを順番に操作します。

16-2-1-1 古い端末でバックアップしていたデータを新しい端末に復元する

新しい端末に AOSBOX アプリをインストールし、AOSBOX にログインする前に復元ユーティリティを実行して古い端末のデータを新しい端末に復元します。

- 1 新しい端末に AOSBOX アプリをインストールします。
インストールの手順は「[4-1 インストール（16 ページ）](#)」の通りです。
- 2 「AOSBOX にログインする」画面にて、左下の「復元」をクリックします。
復元ユーティリティが立ち上がります。
- 3 メールアドレス、パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



図 16-2

- 4 古い端末の端末を、プルダウンメニューから選択します。
以後の操作は、「[7-2 アプリからの復元](#)」の手順 3（81 ページ）をご覧ください。

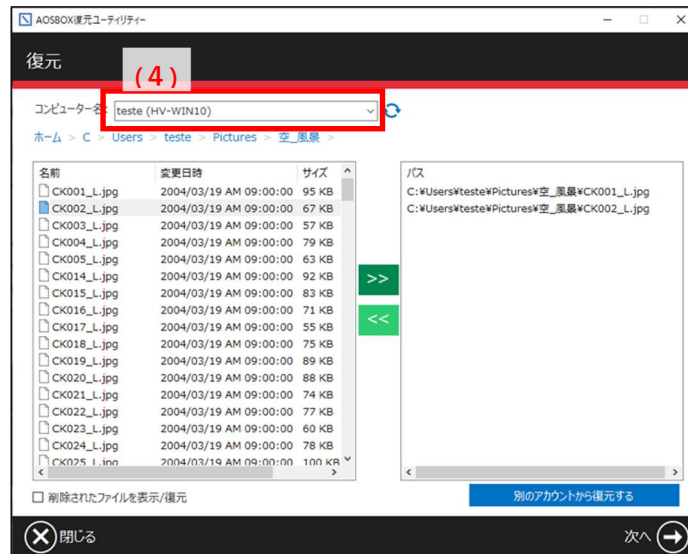


図 16-3

5 復元完了まで待ちます。

復元完了後、古い端末のアーカイブまたは削除を行います。(次のセクションを参照)

16-2-1-2 古い端末をアーカイブまたは削除する

新しい端末で引き続き AOSBOX を使用するにあたり、Web 管理画面から古い端末のアーカイブまたは削除を行います。

アーカイブ

以後運用するバックアップからは切り離しますが、これまでのバックアップデータをクラウドに残します（ストレージ使用量は維持されます）。

削除

該当端末上でこれまでバックアップしたデータすべてが恒久的に削除されます（ストレージ使用量が削除された端末の使用量分軽減されます）。

アーカイブするか削除するかは、ご契約容量の残容量等よりよく検討してから操作をお願いします。



ご注意

一度「削除」を選択するとバックアップデータは復元できなくなりますので、選択に注意してください。

1 Web 管理画面にログインします。

2 「ユーザー/サーバー」タブを選択します。

3 パソコンまたはサーバーをクリックして、アーカイブまたは削除したい端末を表示します。

4 アーカイブしたい端末の「動作アイコン」をクリックします。



図 16-4

5 [動作]メニューから、アーカイブまたは削除をクリックします。

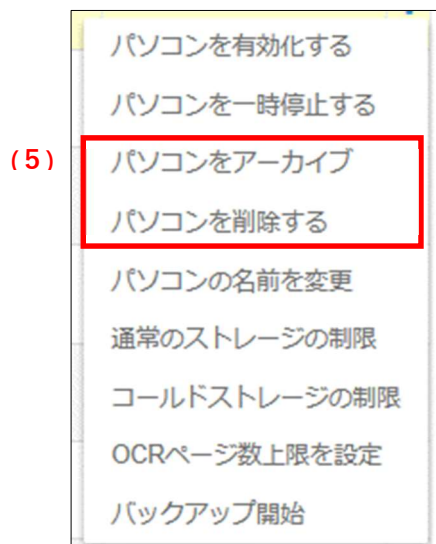
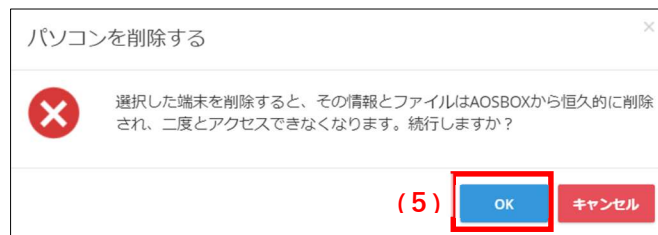


図 16-5

6 確認メッセージで「OK」をクリックします。

削除する場合



アーカイブする場合

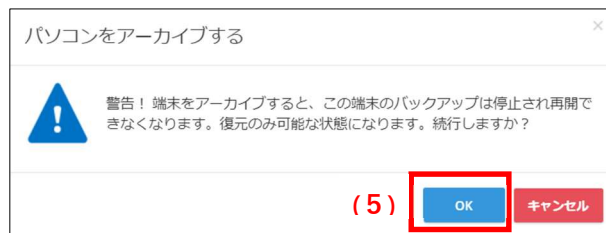


図 16-6

上記操作完了後、インストールの続きを行います。(次のセクションを参照)

16-2-1-3 新しい端末でのインストールを完了する

古い端末のバックアップデータの整理が済んだら、新しい端末で AOSBOX のインストールを完了させます。

パソコンの場合

「[4-2 初期設定（18 ページ）](#)」の操作を行い、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」、「設定」の設定を行います。

サーバーの場合

「[8-4-3 サーバーの追加・インストール（116 ページ）](#)」の操作を行います。この操作でダウンロードされるインストーラーは使用しないので破棄してください。

以上で操作は完了です。

16-2-2 残りのストレージ容量が少なくなった場合

パソコンやサーバーでファイルを削除しても、オンラインストレージ上のファイルは削除されません。

空き容量を確保するには、次の操作のいずれかを行います。

16-2-2-1 保持設定を変更する

保持設定の変更を行い、自動的に古い世代のファイルを削除できるようにします。

通常の/コールドストレージの保持：

バックアップの世代をどれだけ保つかを設定する項目です。初期設定は「10 世代」に設定されています。最小「2 世代」まで変更する事が可能です。

削除されたファイルの保持：

バックアップしている端末(ローカル)上で削除したファイルの、AOSBOX オンライン上での扱いを設定する項目です。初期設定は「無期限」(※ローカルで削除したファイルを AOSBOX オンラインでは必ず残す)に設定されています。最短「3 日」でローカルから削除されたファイルを AOSBOX オンラインからも削除するように変更する事が可能です。



補足

- ファイルやフォルダーごとに個別に世代数の上限を指定することも可能です。
- 変更した設定は 24 時間以内に反映されます。

詳しい操作方法は、「[12-1 保持設定（154 ページ）](#)」、または「[12-2 保持設定（詳細）（155 ページ）](#)」をご覧ください。

図 16-7

16-2-2-2 必要のないバックアップデータを削除

バックアップ済みファイルの削除は Web 管理画面から行います。



ご注意

バックアップ済みのファイルを削除すると、削除されたファイルの全世代が削除され復元・ダウンロードができなくなります。また、Web から削除されたファイルと同じパス（フォルダー階層）にある同名ファイルはバックアップ対象から除外され、再バックアップはされません。

- 1 Web 管理画面にログインします。
- 2 「マイファイル」タブを選択します。
- 3 バックアップファイルメニューから、削除したいデータのある端末を選択します。
端末を選択するほか、検索バーからファイルを検索することも可能です。
- 4 削除したいファイル/フォルダーにチェックします。
- 5 「削除」アイコンをクリックします。

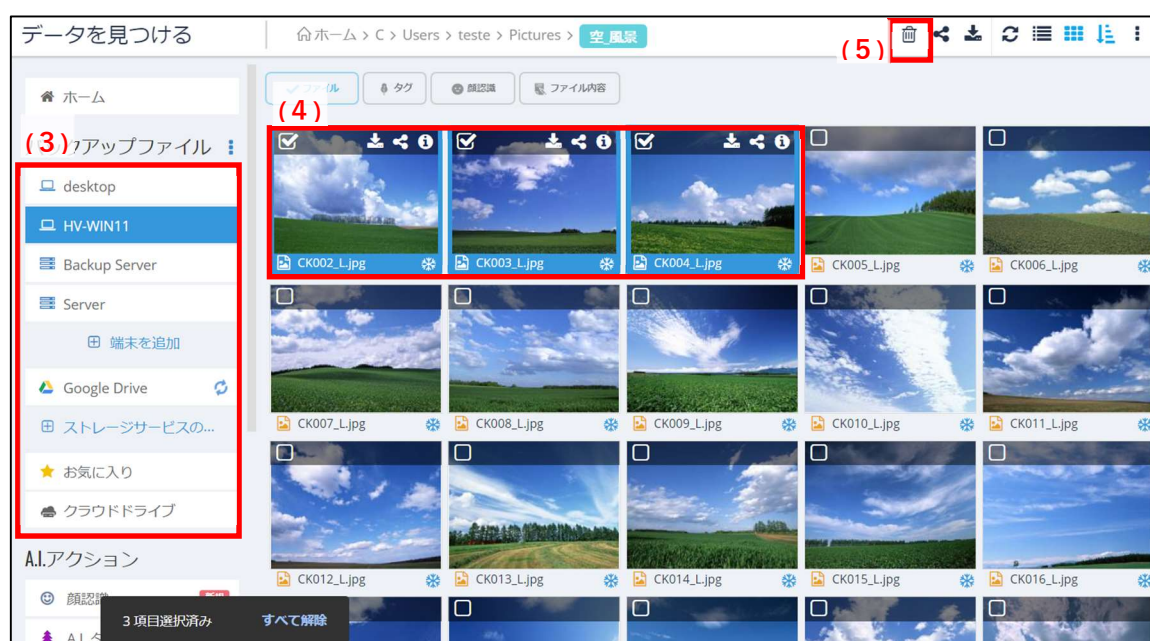


図 16-8



ご注意

削除したファイルは二度と復元できなくなりますので、選択内容をご確認の上実行してください。



補足

既にパソコンから削除されているファイルをバックアップからも削除したい場合は、[詳細]メニューから [削除したファイルを表示]をクリックします。パソコンから削除されているファイルが赤色で表示されるようになります。



図 16-9

16-2-2-3 不要なファイルの世代を削除

世代の削除は Web 管理画面から行います。

- 1 Web 管理画面にログインします。
- 2 「マイファイル」タブを選択します。
- 3 バックアップファイルメニューから、削除したい世代のファイルがある端末を選択します。
端末を選択するほか、検索バーからファイルを検索することも可能です。
- 4 ファイルを右クリックし、[世代を表示]をクリックします。



図 16-10

5 表示されるウィンドウから、削除したい世代の[削除]をクリックしてください。



図 16-11

16-2-2-4 不要なパソコン/サーバーの削除

パソコン/サーバー（以下、端末）を削除するには、次の操作を行ってください（アーカイブされたパソコンも同じ手順で削除できます）



ご注意

端末を削除した時点で、その端末からバックアップされたデータはすべて消去され、一切アクセスできなくなりますので、選択内容にご注意の上操作を進めてください。

1 Web 管理画面にログインします。

2 「ユーザー/サーバー」タブを選択します。

3 ユーザー一覧から削除したい端末を持つユーザーを選択します。
ユーザー情報画面に移動します。

ユーザー/サーバーの管理

ユーザー

すべてのユーザー
バックアップのみ
検索のみ

パソコン
サーバー

アプリをダウンロード

ラベルの追加
ラベルの管理
あか
あか
みどり

ユーザーの新規追加 ADへ追加 サーバーの新規追加 ポリシーを変更 詳細

ページ 1 / 10 レコードを表示 | 8 件のレコードが見つかりました ユーザーを検索...

名前	ラベル	ポリシー	通常のストレージの使用量 / 最大	コールドストレージの使用量 / 最大	OCRの使用量 / 最大	種類
☐ Tester (あなた)		ユーザー定義	4.27 GB / 制限なし	2.04 GB / 制限なし	14 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索
☐ ユーザー-20230614		ユーザー定義	0 bytes / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索
☐ ユーザー-20230615		ユーザー定義	0 bytes / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索
☐ ユーザー-20230621		ユーザー定義	0 bytes / 制限なし	0 bytes / 制限なし	0 ページ数 / 制限なし	バックアップと検索

図 16-12

4 削除したい端末を開き、「動作アイコン」をクリックします。



図 16-13

5 [動作]メニューから、削除をクリックします

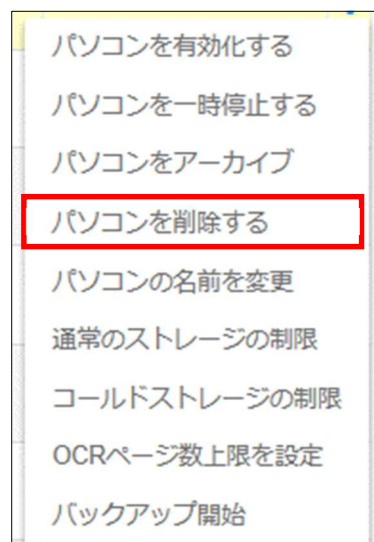


図 16-14

6 確認メッセージで「OK」をクリックします。

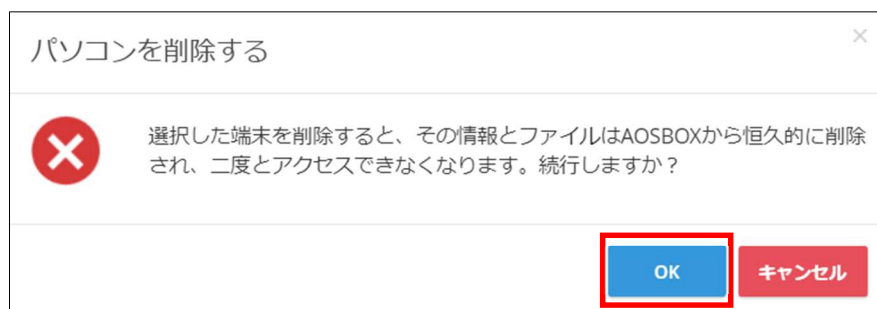


図 16-15

16-2-3 ストレージ間の移行について

既にバックアップされているファイルのストレージ間移動はできません。バックアップ済みファイルを別のストレージ（通常のストレージ⇄コールドストレージ）に移動したい場合、バックアップのやり直しが必要になります。

次の4つのセクションを順番に操作します。

16-2-3-1 ファイルの復元（必要な場合）

バックアップをやり直すため、ローカルコンピューター/サーバーにファイルが必要になります。

ローカルコンピューター/サーバーに目的のファイルがない場合、クライアントアプリを用いてファイルの復元を行います。



補足

ローカルにファイルがある場合、この手順をスキップできます。次のセクション「[16-2-3-2 現在の端末を削除する（191 ページ）](#)」に進みます。

ファイルの復元手順については、「[7-2 アプリからの復元（81 ページ）](#)」をご覧ください。

復元完了後、現在の端末の削除を行います。（次のセクションを参照）

16-2-3-2 現在の端末を削除する



ご注意

端末を削除した時点で、その端末からバックアップされたデータはすべて消去され、一切アクセスできなくなりますので、選択内容にご注意の上操作を進めてください。端末を削除する前に、ローカルコンピューター/サーバーに目的のファイルがあるかどうかをもう一度ご確認ください。

1

Web 管理画面にログインします。

2

「ユーザー/サーバー」タブを選択します。

3

ユーザー一覧から削除したい端末を持つユーザーを選択します。

ユーザー情報画面に移動します。



図 16-16

4 削除したい端末を開き、「動作アイコン」をクリックします。



図 16-17

5 [動作]メニューから、削除をクリックします

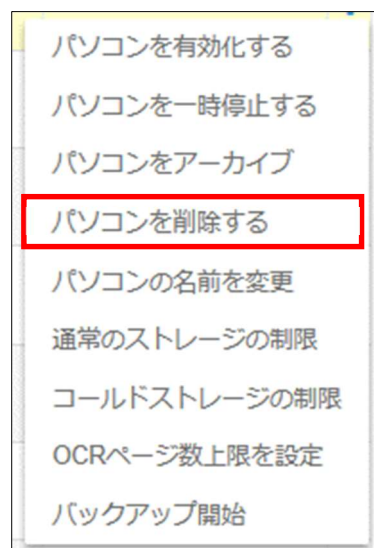


図 16-18

6 確認メッセージで「OK」をクリックします。

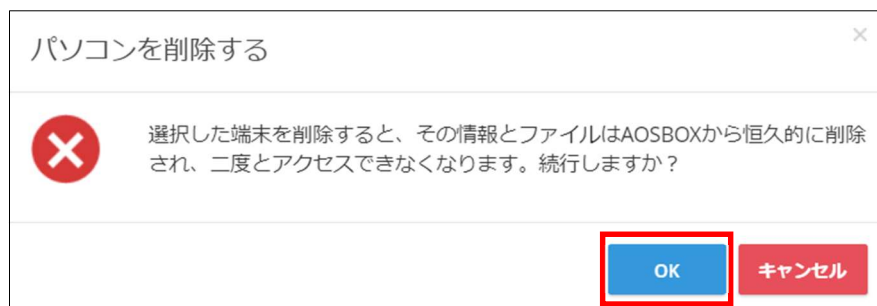


図 16-19

上記操作完了後、一度アプリのアンインストールを行います。(次のセクションを参照)

16-2-3-3 アプリを一度アンインストール（設定は残さず削除）する

インストールをし直すため、端末から現在動作している AOSBOX のアンインストールを行います。

1 Windows 設定の「アプリと機能」を開きます。

2 アプリ一覧から AOSBOX を選択し「アンインストール」をクリックします。

- 3 「AOSBOX アンインストール」ダイアログが表示されます。「AOSBOX の設定を保持する」のチェックボックスを選択してから、「アンインストール(U)」をクリックします。

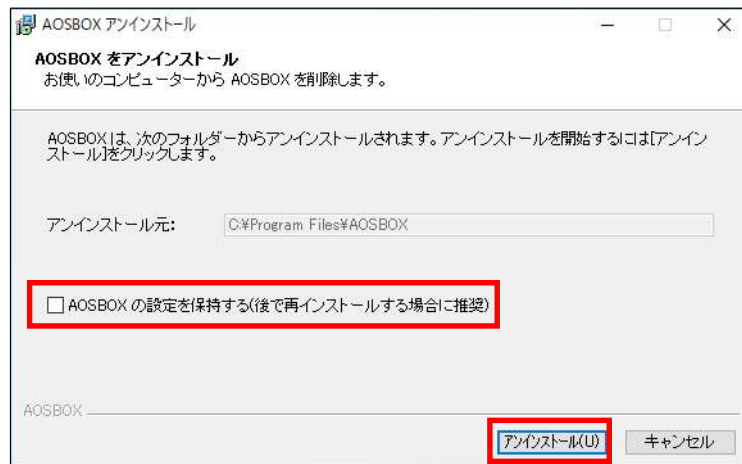


図 16-20

- 4 アンインストールが開始します。しばらくするとアンインストールが終了します。
上記操作完了後、アプリの再インストールとバックアップの構成を行います。(次のセクションを参照)

16-2-3-4 再インストールおよびバックアップ構成を行う

アンインストール後、改めて端末で AOSBOX のインストールとバックアップ項目の選択を行います。

- 1 AOSBOX アプリをインストールします。
インストールの手順は「[4-1 インストール \(16 ページ\)](#)」の通りです。
- 2 バックアップの構成を行います。
 - パソコンの場合
「[4-2 初期設定 \(18 ページ\)](#)」の操作を行い、インストールを完了させます。適宜「バックアップ項目の選択」、「設定」の設定を行います。
 - サーバーの場合
「[8-4-3 サーバーの追加・インストール \(116 ページ\)](#)」の操作を行います。この操作でダウンロードされるインストーラーは使用しないので破棄してください。

以上で操作は完了です。